

昭和五十三年九月

史料館所藏史料目錄

第二十九集

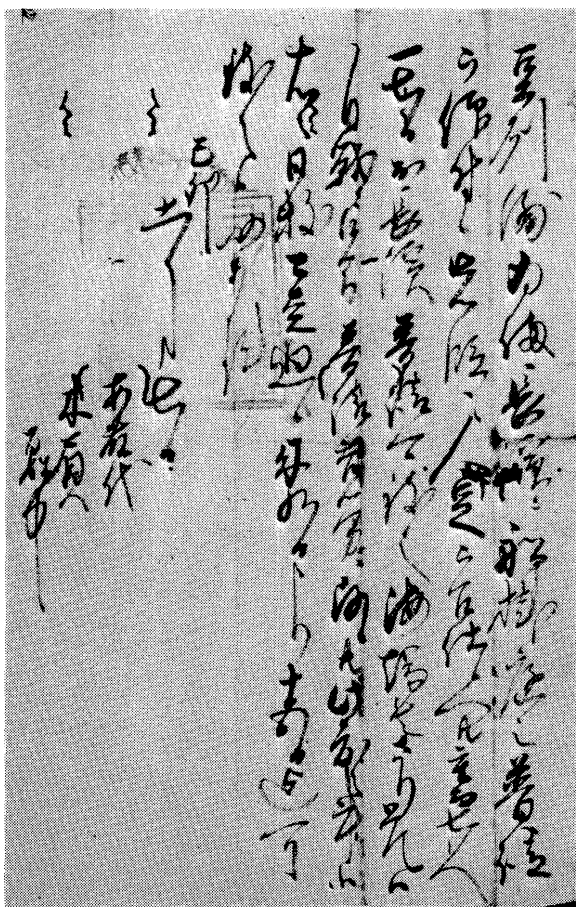
史
料
館

史料館所藏史料目錄

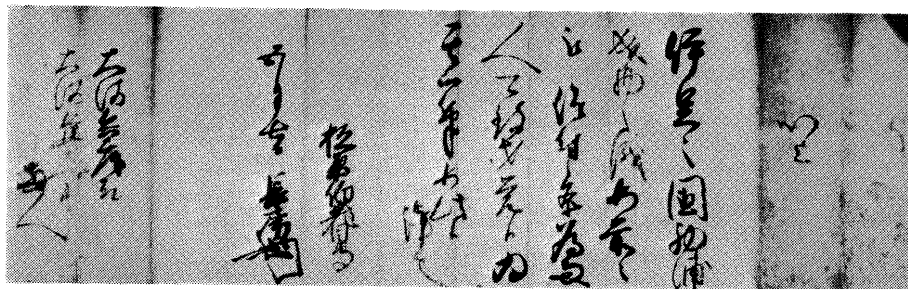
第二十九集



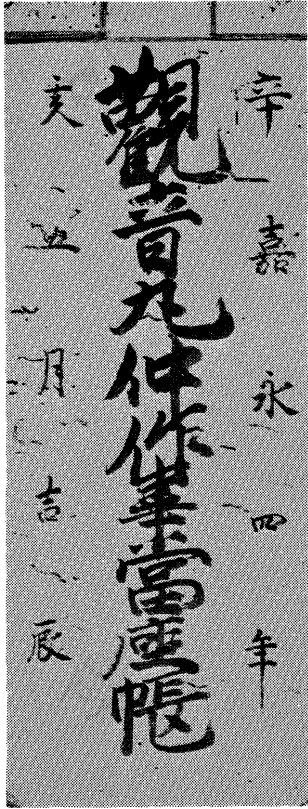
生魚駄賃帳 天保4年〔キ4〕



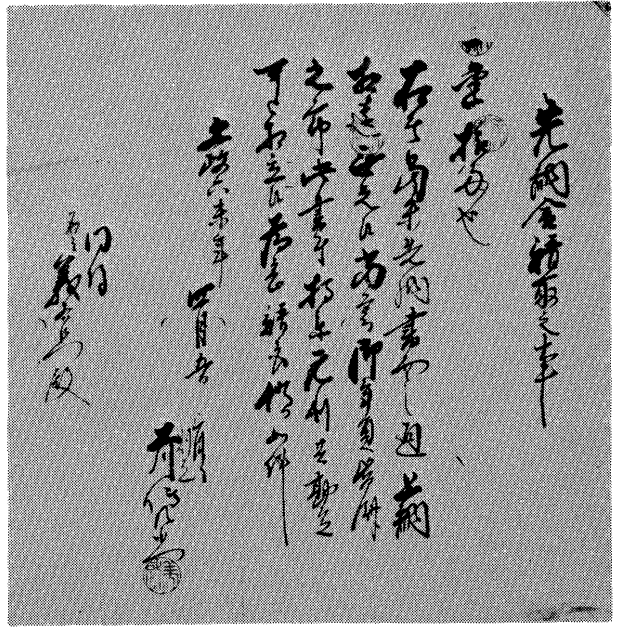
虎印判帳 天正7年〔シ1〕



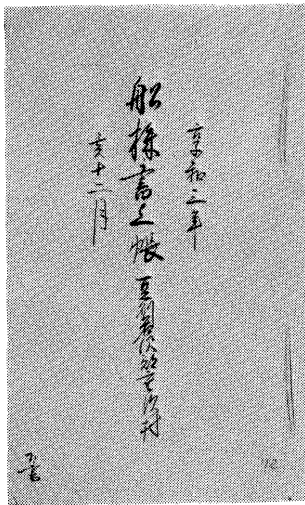
杉原伯耆守長房書状 5月7日〔オ4〕



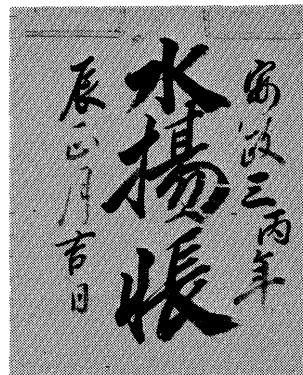
観音丸仲作事当座帳
嘉永4年〔ス45〕



先納金請取証文 文政6年〔カ9〕



船株書上帳 享和3年〔サ44〕



水揚帳 安政3年〔イ5〕

凡 例

一 本目録は『史料館所蔵史料目録』第二十九集として伊豆国君沢郡内浦史料を収めた。内訳は重寺村秋山家文書・加藤家文書、小海村増田家文書・大沼家文書、三津村大川家文書・金指家文書・松本家文書、長浜村大川家(屋号大屋)文書・大川家(屋号北方)文書・小川家文書、重須村土屋家文書、木負村相磯家書、久料村久保田家文書、立保村文書、所屬不明文書からなる。なお、『史料館所蔵史料目録』第二十二集として長浜村大川家(屋号大屋)文書目録が既に刊行されており、本目録には、それ以外のすべての内浦史料を収めた。

一 史料は家別にまとめ、内容に応じて分類し、各家文書の点数により大・中・小・小小の項目中のいくつかを適宜立てて配列した。大項目は○ポイント・ゴチック活字、中項目は九ポイント・ゴチック活字、小項目は九ポイント活字で示し、小小項目は○印で示した。但し、内容が多岐にわたっているものは他の項目中にも、また絵図で所蔵の家の属している以外の村が描かれているものは、その村に属している家にも*印を付して重出した。

一 史料目録の記載欄は、原則として(一)表題 (二)作成者または差出人 (三)宛名 (四)作成年月日 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。

一 表題は原則として原表題を採ったが、適宜改変を加えたものもある。原表題の無いものは仮に命名して掲げ、原表題を改変したものの共々(一)を付して原表題と区別した。また書状など一部の史料は「」を付して内容を摘記し、前欠・後欠などは(一)を付して記した。

一 作成年次は、年月日・干支を採り、推定年次には(一)を付した。

一 史料の形態は、簿冊類では半(半紙判)、美(美濃判)、美大(美濃大判)、半半(半紙半截判)、横長半(半紙横長判)、横長美(美濃横長判)、横長美大(美濃大横長判)、横半半(半紙半截横長判)などによって原書の大きさの大概を示し、一紙書付類は通を以って数量を示し、紙形の大小・寸法は省略した。また絵図類は縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。

一 巻末に簡単な解題を付した。

目次

口繪	
凡例	
伊豆国君沢郡内浦史料目錄	一
目次	二
目錄	五
解題	三

伊豆国君沢郡内浦史料目錄

伊豆国君沢郡内浦史料目録 目次

重寺村秋山家文書	頁	五
貢租、漁稼方、土地売買・質入、米金借用、山林、絵図、その他		
重寺村加藤家文書	頁	八
小海村増田家文書	頁	八
小海村大沼家文書	頁	一〇
三津村大川家文書	頁	二
支配	頁	二
御北条氏	頁	二
達書	頁	二
触書	頁	二
廻船条目		
高札	頁	三
貢租	頁	三
書上	頁	三
年貢免除	頁	三
検見	頁	三
割付	頁	三
割付状		
取立納入	頁	三
取立帳、請取手形、勘定目録、皆済状、皆済目録請取書、未進、藏納入用		
浮役	頁	三
書上、請取手形、赦免		
分一	頁	三
船役	頁	三
国役	頁	三
郡中入用	頁	三
伝馬・助郷	頁	三
漁稼方	頁	三
浦法	頁	三
漁業取決、漁業組合規約、漁割約定、漁業免許願書		
網度	頁	三
書上、網度日繰、網度質入・売買		
船	頁	三
魚売買	頁	三
魚出入	頁	三
村	頁	三
村況	頁	三
村明細書上、家数人別書上、絵図		
書留	頁	三
村役人	頁	三
土地	頁	三
米金借用	頁	三
山野	頁	三
普請	頁	三

銀山……………	三	諸入用・人足……………	三	地震……………	三
神社……………	三	分一……………	三	寺社……………	三
学校……………	三	漁稼方……………	三	金子出入……………	三
その他……………	三	浦法……………	三	犯罪……………	三
家……………	三	津元……………	三	酒造……………	三
三津村金指家文書……………	三	網度……………	三	家……………	三
三津村松本家文書……………	三	船・漁具……………	三	長浜村小川家文書……………	三
長浜村大川家(屋号大屋)文書……………	三	漁割……………	三	重須村土屋家文書……………	三
長浜村大川家(屋号北方)文書……………	三	魚売買……………	三	支配……………	三
貢租……………	三	漁出入……………	三	土地……………	三
割付……………	三	廻船……………	三	貢租……………	三
取立納入……………	三	村……………	三	分一……………	三
諸役……………	三	村況……………	三	漁稼方……………	三
		村法……………	三	浦法……………	三
		土地……………	三	津元……………	三
		屋敷……………	三		
		村役人……………	三		
		山林……………	三		
		拝借米金……………	三		

網子……………	三	田畑・山売買……………	三
船・船具……………	三	久料村久保田家文書……………	三
網度仕立……………	三	立保村文書……………	七
魚売買……………	三	所属不明文書……………	六
漁出入……………	三		
漁業……………	三		
村……………	三		
村差出帳……………	三		
村政……………	三		
拝借金……………	三		
災害……………	三		
出入……………	三		
絵図……………	三		
寺社……………	三		
その他……………	三		
家……………	三		
金子借用……………	三		
質地……………	三		
木負村相磯家文書……………	三		
支配……………	三		
貢租……………	三		
割付……………	三		
分一運上……………	三		
漁稼方……………	三		
浦法・漁業法……………	三		
網度……………	三		
舟・漁具……………	三		
魚仕切状……………	三		
漁出入……………	三		
絵図……………	三		
村……………	三		
家……………	三		
無尽……………	三		
金子借用……………	三		

伊豆国君沢郡内浦史料目録

(文書記号 23Z5)

重寺村秋山家文書目録 (文書記号 23Z57)

貢租

申年重寺村御年貢可納割付状 市川喜三郎 庄屋 ・百姓中宛 寛永九年二月一日	一通ア	三
重寺村酉歲御成ケ可納割付状 八木次郎右衛門 床屋・惣百姓中宛 寛永一〇年二月一〇日	一通ア	六
卯歳重寺村御年貢可納割付 小林彦五郎 名主・ 百姓中宛 寛永一六年二月一日	一通ア	一
(明曆二年重寺村年貢割付状并宝永七年網子相 勤証文写) (明治初年の海面拝借一件の際、作成力)	一綴ア	二
未年免定 富沢市郎左衛門・森下八郎兵衛 寛延四 年一〇月	一通ア	三
○		
(まぐろ立漁三ヶ一年貢金請取手形) 榊原喜兵 衛 重寺村津本忠右衛門宛 寛永二〇年三月二四日	一通ア	四
漁稼方		
(鮪鯨漁例式手形) (後欠) 四津元忠右衛門・惣右 衛門他二名 元禄六年八月八日	一通ア	五
(定置漁業及特別漁業免許申請追申書) (証拠書 類添) 申請人加藤三郎左衛門他三名代表者静岡県田方 郡内浦村重寺秋山六右衛門 静岡県知事山田春三宛 明治三十六年九月一七日	一綴ア	六

内浦史料目録 重寺村秋山家文書

静岡県田方郡内浦村重寺漁業調査表 明治三十六 年一月一日	39x65	一通ア	七
(内浦村重須ノ地先ニ於ケル漁業権契約書案)		一通ア	八
立網漁業歎願書 (明治)		一通ア	九
(篝火捧浮漁業期節ニ関スル覚書) (明治)		一通ア	一〇

○			
(網戸・網屋・杉等品々質入証文) 重寺村三郎 右衛門・六兵衛・忠右衛門 六右衛門・久左衛門宛 宝曆七年一二月		一通ア	二
(網戸質入証文) 六兵衛 重寺村六右衛門宛 宝 曆一〇年一二月		一通ア	三
(網戸諸道具完渡証文)		一通ア	三
(重寺村儀三郎先祖江預ケ置候網戸株不差戻ニ 付訴状下書)		一通ア	四
(辰ノ年重寺村網戸入目目録)		一通ア	一五
(丑ノ年重寺村網戸入目目録) 子二月二八日		一通ア	一六
(酉年重寺村網戸入目目録) 申二月二三日		一通ア	一七

○			
大鰯諸割勘定帳 津元秋山六右衛門 明治五 明治一四年	横長半	一冊ア	一八
四組合割合帳 津元番淨富方組 明治二八年	横長半	二冊ア	一九
魚漁合併立所徳配当契約証 重寺村津元 明 治二二年三月二日	半	一綴ア	二〇

五

(魚商売定書) 治郎右衛門・甚蔵 新蔵宛 寛政九年一二月

一通ア 三

(魚代金借用証文) 沼津下町庄兵衛・九右衛門 重寺村新蔵宛 享和二年七月

一通ア 三

(髪長売捌通知書) 沼津古谷 重寺村津元衆中宛 酉八月二日

一通ア 三

(キハタ売付通知書) 沼津魚問屋古屋宇右衛門 重寺村津元衆中宛 八月六日

一通ア 三

(キハタ売付通知書) 沼津魚問屋古屋宇右衛門 津元衆中宛 八月八日

一通ア 三

(生鯛釣差止訴状) (前欠) 万治三年一〇月三日

一通ア 三

(獅子浜村長繩釣差留願書写) 何村某 水野出羽守役人衆中宛 文化一三年五月写

一通ア 三

(網子説諭願書下書) 内浦村重寺漁業免許申請人代表秋山六右衛門 内浦村長土屋敏夫・内浦村巡查駐在所巡查中村良明宛 明治三七年四月一九日

一通ア 三

(重寺村津元徳用出入ニ付上申書下書) (前欠)

一通ア 三

(重寺村と平沢村釣漁出入内濟ニ付入置申一札) (後欠)

一通ア 三

(魚代金割合出入濟口証文差上書控) 重寺村漁業津元原告加藤賛一郎・秋山治郎右衛門代人三津村大川伝十郎・漁師惣代八木与右衛門・青木勇蔵・小笹五郎右衛門・日吉忠五郎 足柄裁判所長山田権少判事宛 (明治)

一通ア 三

(重寺地先海面ニ於ケル漁業権出入仲裁案) (明治)

一通ア 三

* (明治二年重寺村年貢割付状并宝永七年網子相勤証文写)

半

一綴ア 二

土地売買・質入

(田地質入証文) 本立野村喜八 重寺村新蔵宛 文化一二年三月

一通ア 三

(質地証文) 仁田村次兵衛 重寺村新蔵宛 文化一四年一二月

一通ア 三

(屋敷売渡証文) 伝助 新蔵宛

一通ア 三

米金借用

(米借用証文) 上せん方組代七郎兵衛・弥左衛門 重寺村六右衛門宛 未一二月二日

一通ア 三

(金子借用証文) 木負村八右衛門 重寺村六右衛門宛 天明二年九月

一通ア 三

(金子借用証文) 助七親類市右衛門・甚左衛門 重寺村新蔵・次郎右衛門宛 寛政九年一二月

一通ア 三

(村入用ニ付金子借用証文) 北条中条村名主金助・重寺村証人源三郎 重寺村新蔵宛 文化二年五月八日

一通ア 三

(村入用ニ付金子借用証文) 神益村平右衛門 重寺村新蔵宛 文化八年四月

一通ア 三

(村入用ニ付金子借用証文) 神益村平右衛門 重
寺邑新藏宛 文化八年四月 一通ア 四

(村入用ニ付金子借用証文) 仁田村名主次兵衛
重寺村新藏宛 文化一〇年四月 一通ア 四

(金子借用証文) 三津村助七 重寺村新藏宛 丑
一二月 一通ア 三

(商売入用金残金借用証文) 三津邑治郎左衛門
重寺村新藏宛 一通ア 四

山林

(山壳渡証文) 清治郎 新藏宛 文化九年一二月 一通ア 四

(山壳渡証文) 伝十郎 新藏宛 文化一二年一二月 一通ア 四

(山出入内済証文) 三津村訴訟方百姓惣代久左衛
門他四名・同村相手方重次郎他三名・同村名主伝左
衛門・扱入重寺村他五ヶ村各名主 文化一二年一〇月
河内村御林木出人足寛 重寺村名主次郎右衛門
安政三年八月 横長半 一冊ア 四

絵 図

(重寺村絵図) 宝曆七年 29×35 一鋪ア 四

重寺村絵図 30×40 一鋪ア 五〇

* (重寺村略絵図) 28×37 一鋪ク 二六

(知行所絵図) 津田鉄太郎知行所重寺村百姓代佐
四郎・与頭儀三郎・名主三郎左衛門 享永二年一〇 41×27 一鋪ア 五

(重寺村・小海村・三津村山野田畑略絵図) 34×45 一鋪ア 五

(戸沢村の口野へ之通路絵図) 33×46 一鋪ア 五

*重寺字嶋合定置漁場絵図 秋山六右衛門・加藤
三郎左衛門・室伏嘉六・大川重藏 27×38 一鋪ク 三〇

その他

(石屋衆宿願番定一札) 重寺村忠左衛門・团右衛
門・六兵衛 重寺村六右衛門宛 宝永七年三月九日 一通ア 五

志下荷物証文 弥惣右衛門 新藏宛 文化元年一二
月 一通ア 五

加助合諸入用書上帳 東海道三島宿加助合伊豆国
君沢郡重寺村 天保三・四・一〇・一一・一二年分 半 一冊ア 五

(穢多下之者書上) 博徒之類等取締之口達請書控 江川太郎左衛門手
代前田源之丞宛 一通ア 五

(村方喰統明細書上) (下部破損) 半 一冊ア 五

(訴訟費用計算書控) 原告代瀬戸留吉 沼津裁判
所宛 明治三七年四月一六日 一通ア 六

(名簿表) (明治) 一通ア 六

第一会社法案 (明治) 一通ア 三

重寺村加藤家文書目録 (文書記号 23Z51)

御条目御仕置帳写 江川太郎左衛門 重寺村宛 文化五年三月、文政五年写	美	一冊イ	一
豆州重須村一件魚漁出入書類扣 重寺村名主三郎左衛門 天保一五年	半	一冊イ	二
平沢村新規網魚業出入留書 重寺村 嘉永二年	半	一冊イ	三
海面争論并規定書濟口書之写 重寺村加藤 嘉永七年六月	半	一冊イ	四
水揚帳 三人方津元 安政三年一月	横半半	一冊イ	五
水揚帳 津元三郎左衛門 万延二年一月	横半半	一冊イ	六
水揚帳 津元三郎左衛門 文久三年一月	横半半	一冊イ	七
水揚帳 津元三郎左衛門 文久四年一月	横半半	一冊イ	八
水揚帳 津元三郎左衛門 元治二年一月	横半半	一冊イ	九
水揚帳 三人方組津元加藤三郎左衛門 明治一年一月一日	横半半	一冊イ	一〇
伊豆国海岸六拾七ヶ村江漁舟五拾艘御用被仰付候ニ付駿州富士川船橋願書其外相記 内浦拾三ヶ村惣代重寺村三郎左衛門・三津村儀右衛門 明治元年九月		一冊イ	一一
捕魚記帳 重寺邑三人方網組津元加藤三郎左衛門 明治一三年一月	横半半	一冊イ	一二
(金子預り証文) 駿州下石田村平左衛門 久保倉留兵衛宛 元禄一五年一月		一通イ	一三
(兵粮借用証文) おむす源十郎 大川又右衛門宛 卯四月九日		一通イ	一四

小海村増田家文書目録 (文書記号 23Z57)

(浦法規定書) 駿州駿東郡七ヶ村各名主、豆州君沢郡内浦一ヶ村各名主・津本 弘化二年八月		一通ウ	一
浦手形 (後欠)		一通ウ	二
上下方々請取申候網戸日廻り之書付写 小海村網戸持久左衛門・伊兵衛・伝左衛門、小海村網子彦兵衛・新太郎・三津村証人八兵衛・甚兵衛 小海村八郎左衛門・三津村網戸持七郎左衛門・伝左衛門宛 延宝九年三月一日 明治七年小海村上方津元増田七兵衛・日吉友右衛門写		一通ウ	三
(五十集道具壳渡証文) 三津村七右衛門 小海村七兵衛宛 文政二年一〇月		一通ウ	四
(廻船壳渡証文) 戸田村松城兵作 安良里村小兵衛宛 嘉永元年九月		一通ウ	五
(鰯網壳渡証文) 小海村孝兵衛 小海村七兵衛宛 文久二年一二月		一通ウ	六
(鰯網壳渡証文) 三津村仁右衛門 小海村七兵衛宛 慶応二年九月		一通ウ	七
船取調書上帳下書 小海村百姓代増田彦五郎・組頭日吉友左衛門・名主増田七兵衛 葦山県役所宛 明治四年一〇月四日		一冊ウ	八
(於駿州富士郡小須浦新規鯨魚差止願書控) 豆州君沢郡一九ヶ村各名主 寛政六年		一通ウ	九

重寺村加藤家文書目録 (文書記号 23Z51)

御条目御仕置帳写 江川太郎左衛門 重寺村宛 文化五年三月、文政五年写	美	一冊イ	一
豆州重須村一件魚漁出入書類扣 重寺村名主三郎左衛門 天保一五年	半	一冊イ	二
平沢村新規網魚業出入留書 重寺村 嘉永二年	半	一冊イ	三
海面争論并規定書濟口書之写 重寺村加藤 嘉永七年六月	半	一冊イ	四
水揚帳 三人方津元 安政三年一月	横半半	一冊イ	五
水揚帳 津元三郎左衛門 万延二年一月	横半半	一冊イ	六
水揚帳 津元三郎左衛門 文久三年一月	横半半	一冊イ	七
水揚帳 津元三郎左衛門 文久四年一月	横半半	一冊イ	八
水揚帳 津元三郎左衛門 元治二年一月	横半半	一冊イ	九
水揚帳 三人方組津元加藤三郎左衛門 明治一年一月一日	横半半	一冊イ	一〇
伊豆国海岸六拾七ヶ村江漁舟五拾艘御用被仰付候ニ付駿州富士川船橋願書其外相記 内浦拾三ヶ村惣代重寺村三郎左衛門・三津村儀右衛門 明治元年九月		一冊イ	一一
捕魚記帳 重寺邑三人方網組津元加藤三郎左衛門 明治一三年一月	横半半	一冊イ	一二
(金子預り証文) 駿州下石田村平左衛門 久保倉留兵衛宛 元禄一五年一月		一通イ	一三
(兵粮借用証文) おむす源十郎 大川又右衛門宛 卯四月九日		一通イ	一四

小海村増田家文書目録 (文書記号 23Z57)

(浦法規定書) 駿州駿東郡七ヶ村各名主、豆州君沢郡内浦一ヶ村各名主・津本 弘化二年八月		一通ウ	一
浦手形 (後欠)		一通ウ	二
上下方々請取申候網戸日廻り之書付写 小海村網戸持久左衛門・伊兵衛・伝左衛門、小海村網子彦兵衛・新太郎・三津村証人八兵衛・甚兵衛 小海村八郎左衛門・三津村網戸持七郎左衛門・伝左衛門宛 延宝九年三月一日 明治七年小海村上方津元増田七兵衛・日吉友右衛門写		一通ウ	三
(五十集道具壳渡証文) 三津村七右衛門 小海村七兵衛宛 文政二年一〇月		一通ウ	四
(廻船壳渡証文) 戸田村松城兵作 安良里村小兵衛宛 嘉永元年九月		一通ウ	五
(鰯網壳渡証文) 小海村孝兵衛 小海村七兵衛宛 文久二年一二月		一通ウ	六
(鰯網壳渡証文) 三津村仁右衛門 小海村七兵衛宛 慶応二年九月		一通ウ	七
船取調書上帳下書 小海村百姓代増田彦五郎・組頭日吉友左衛門・名主増田七兵衛 葦山県役所宛 明治四年一〇月四日		一冊ウ	八
(於駿州富士郡小須浦新規鯨魚差止願書控) 豆州君沢郡一九ヶ村各名主 寛政六年		一通ウ	九

(駿州焼津湊) 沼津宿海手并豆州海面沖合ニ而
新規鯨漁差止願書控) 駿州駿東・富士兩郡二四ヶ
宿村惣代原宿問屋常次郎、豆州君沢郡二三ヶ村惣代三
津村魚漁分一請負人伝左衛門・重寺村三郎左衛門 蕪
山役所宛 (元治元年)

(焼津湊之者新規鯨漁願反对同意依頼状控)
豆州君沢郡重寺村江梨村迄十一ヶ村代兼三津村伝
左衛門 駿州駿東郡村々名主・津元宛 元治元年九月

(焼津湊之者新規鯨漁願反对同意依頼状控)
内浦組一ヶ村惣代三津村津元伝左衛門 井田村他一
二ヶ村名主 元治元年一〇月

万塩売買扣帳 小海村増田七兵衛 安政二年一月

横長美

(沼津魚問屋口銭増出入示談ニ付為取替一札控)
駿州駿東郡志下村 豆州君沢郡雲見村迄二八ヶ村惣
代 慶応三年五月

(畑壳渡証文) 小海村八郎治 八右衛門宛 享保一
七年一二月二六日

(畑山壳渡証文) 八郎次 八右衛門宛 享保二〇年
八月

(畑山壳渡証文) 小海村平次郎 八右衛門宛元文四
年一〇月

(畑永代壳渡証文) 小海村平次郎 八右衛門宛 寛
保二年一二月

(畑壳渡証文) 平二郎 八右衛門宛 寛保三年一二
月

(山壳渡証文) 小海村吉三郎 小海邑治右衛門宛
明和五年二月

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一冊ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

(山壳渡証文) 小海村彦兵衛 小海村平左衛門宛
文化一〇年一二月

(山壳渡証文) 小海村平七 小海村七兵衛宛 明治
四年一二月二〇日

(畑屋敷質入証文) 小海村増田七兵衛 重寺村秋
山六右衛門宛 明治九年一二月一三日

(山壳渡証文) 増田七兵衛 瀬川与兵衛宛 明治
一七年六月二二日

拾ヶ年季壳渡山林之証 小海村増田七兵衛 三津
村瀬川与兵衛宛 明治一七年一二月

壳渡申山林之証 小海村増田七兵衛 三津村瀬川
与兵衛 明治一七年一二月二〇日

(貨物送り券) 出貨主内浦村小海増田七兵衛 神田
区増田 孝宛 (明治)

短刀請取証 羽田襄虎 増田半太郎宛 明治一九年
二月八日

(抵当品讓渡証文) 小海村増田七兵衛彦五郎 三
津村瀬川与兵衛宛 明治一七年六月一〇日

(抵当品讓証返却約定書写)

借用金之証 小海村増田七兵衛 重寺村秋山六右衛
門宛 明治一六年六月二八日

(金子請取証文) 三津村羽田彦三郎 小海村増田
七兵衛宛 明治一六年七月二八日

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

一通ウ

為替金之証 沼津西宮ノ後町長谷川作太郎 小海村増田七兵衛宛 (明治) 一七年八月十日 一通ウ 三

(小海村七兵衛払米値段落札ニ付引請一札) 城下本町之内仲町伊豆屋又次郎・魚町近江屋半平 地方役所宛 弘化三年一月 一通ウ 三

(払米代金受取状) 鈴木勘左衛門他三名 小海村納人七兵衛宛 弘化三年一月二十九日 一通ウ 三

米売切手 田方郡年川村名主嘉平次 小海村増田七兵衛宛 明治三年一〇月 一通ウ 三

積金請取証 報徳純善社安田忠三郎 小海増田宛 (明治) 一二年 二月二〇日 一通ウ 三

(純善社株金預証文) 明治二年一月二〇日 一通ウ 三

(諸品代金寛) 日吉半蔵 名主増田七兵衛宛 申一月晦日 一通ウ 三

海防策 木曾秀次郎著 嘉永二年五月 一冊ウ 三

(関所通行手形) 小海村名主七兵衛 箱根関所番衆中宛 文久四年二月 一通ウ 三

小海村大沼家文書目録 (文書記号 23Z5H)

上方 売券証写 半 一綴エ 一

1 (網戸売渡証文) 小海村友衛門 三津村彦三郎宛 弘化二年二月 一通 一

2 (網戸売渡証文) 三津村惣左衛門 三津村清助宛 享和二年二月 一通 一

3 (網戸開発金受取証文) 小海村久保浜下方網戸持津元平兵衛・彦兵衛・七兵衛 三津村彦三郎宛 弘化三年六月 一通 一

鰯水揚扣帳 小海村大沼彦兵衛 明治六年三月 横長半 一通エ 二

鰯割帳 小海村大沼徳平 明治八年一月 横長半 一冊エ 三

諸勘定差引揚帳 小海村大沼徳平 明治一四年二月一日 横長半 一冊エ 四

鰯割帳 小海村大沼徳平 明治一六年一月 横長半 一冊エ 五

内浦村小海立舗大帳 当番下方 明治二四年三月二八日 横長半 一冊エ 六

三津 小海合併立水揚帳 小海下方当番 明治二五年五月四日 横長半 一冊エ 七

大鮫 三津割帳 小海区上方当番 明治二六年三月三日 横長半 一冊エ 八

為替金之証 沼津西宮ノ後町長谷川作太郎 小海村増田七兵衛宛 (明治)一七年八月十日 一通ウ 三

(小海村七兵衛払米値段落札ニ付引請一札) 城下本町之内仲町伊豆屋又次郎・魚町近江屋半平 地方役所宛 弘化三年一月 一通ウ 三

(払米代金受取状) 鈴木勘左衛門他三名 小海村納人七兵衛宛 弘化三年一月二十九日 一通ウ 三

米売切手 田方郡年川村名主嘉平次 小海村増田七兵衛宛 明治三年一〇月 一通ウ 三

積金請取証 報徳純善社安田忠三郎 小海増田宛 (明治)二年二月二〇日 一通ウ 三

(純善社株金預証文) 明治二年一月二〇日 一通ウ 三

(諸品代金寛) 日吉半蔵 名主増田七兵衛宛 申一月晦日 一通ウ 三

海防策 木曾秀次郎著 嘉永二年五月 一冊ウ 三

(関所通行手形) 小海村名主七兵衛 箱根関所番衆中宛 文久四年二月 一通ウ 三

小海村大沼家文書目録 (文書記号 23Z5H)

上方 売券証写 半 一綴エ 一

1 (網戸売渡証文) 小海村友衛門 三津村彦三郎宛 弘化二年二月 一通 一

2 (網戸売渡証文) 三津村惣左衛門 三津村清助宛 享和二年二月 一通 一

3 (網戸開発金受取証文) 小海村久保浜下方 網戸持津元平兵衛・彦兵衛・七兵衛 三津村彦三郎宛 弘化三年六月 一通 一

鯛水揚扣帳 小海村大沼彦兵衛 明治六年三月 横長半 一通エ 二

鯛割帳 小海村大沼徳平 明治八年一月 横長半 一冊エ 三

諸勘定差引揚帳 小海村大沼徳平 明治一四年二月一日 横長半 一冊エ 四

鯛割帳 小海村大沼徳平 明治一六年一月 横長半 一冊エ 五

内浦村小海立舗大帳 当番下方 明治二四年三月二八日 横長半 一冊エ 六

三津 合併立水揚帳 小海下方当番 明治二五年五月四日 横長半 一冊エ 七

大鯛 三津割帳 小海区上方当番 明治二六年三月三日 横長半 一冊エ 八

漁業事件書類繰込 明治一六年七月

一通五九

○ 小海村未之わり付状(写共) 彦坂小刑部 小海村
名主・御繩除寺中宛(慶長一二年カ) 未九月一日

一通五〇

○ 戊御年貢小海村可納割付状 市川喜三郎 庄屋・
百姓中宛 天和八年二月一日

一通五七

○ 豆州内浦組小海村辰御成ケ割付状 五味小左衛門
名主・惣百姓宛 元禄元年一月

一通五二

○ 豆州内浦組小海村巳御成ケ割付状 五味小左衛門
名主・惣百姓宛 元禄二年一月

一通五三

○ 戊御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 小海村名
主・与組・百姓宛 明和三年二月

一通五三

○ 豆州君沢郡小海村分一帳 享保一八年

二冊五二

○ 豆州君沢郡小海村魚獵分一帳 元文六年一月

横長半
横長半

一冊五五

○ 豆州君沢郡小海村浪除普請連判帳控 小海村名
主・年寄・百姓 江川太郎左衛門役所宛

半

一冊五六

三津村大川家文書目録

(文書記号 23Z54)

支配

御北条氏

北条氏政書状写(長浜城其他之軍備ニ付訓令) 美濃守宛 二月二八日

一通才一

北条家朱印状(鯉急用ニ付) 安藤豊前代 渡辺・大河宛 六月六日

一通才二

弾正少弼書状写(三津七郷魚年貢取立申付) 大川兵庫・大川隼人宛 五月二日

二通才三

杉原伯耆守長房書状(写共)(西浦物成才覚申付) 大河兵庫・大河隼人宛 五月七日

二通才四

達書

(田地開発ニ付伊奈熊蔵達書) 三津之郷百姓中宛(天正一八年カ) 寅五月一四日

一通才五

彦坂九兵衛書状写(造船依頼) 大川四郎左衛門宛(慶長) 一月二七日

一通才六

触書

(火事ニ付定写) 奉行 正徳元年五月

一通才七

漁業事件書類繰込 明治一六年七月

一通五九

○ 小海村未之わり付状(写共) 彦坂小刑部 小海村
名主・御繩除寺中宛(慶長一二年カ) 未九月一日

一通五〇

戌御年貢小海村可納割付状 市川喜三郎 庄屋・
百姓中宛 天和八年二月一日

一通五七

豆州内浦組小海村辰御成ケ割付状 五味小左衛門
名主・惣百姓宛 元禄元年一月

一通五二

豆州内浦組小海村巳御成ケ割付状 五味小左衛門
名主・惣百姓宛 元禄二年一月

一通五三

戌御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 小海村名
主・与組・百姓宛 明和三年二月

一通五三

○ 豆州君沢郡小海村分一帳 享保一八年

横長半

二冊五二

豆州君沢郡小海村魚獵分一帳 元文六年一月

横長半

一冊五五

○ 豆州君沢郡小海村浪除普請連判帳控
主・年寄・百姓 江川太郎左衛門役所宛

小海村名

半

一冊五六

三津村大川家文書目録

(文書記号 23Z54)

支配

御北条氏

北条氏政書状写(長浜城其他之軍備ニ付訓令) 美濃守宛 二月二八日

一通才一

北条家朱印状(鯉急用ニ付) 安藤豊前代 渡辺・大河宛 六月六日

一通才二

弾正少弼書状写(三津七郷魚年貢取立申付) 大川兵庫・大川隼人宛 五月二日

二通才三

杉原伯耆守長房書状(写共)(西浦物成才覚申付) 大河兵庫・大河隼人宛 五月七日

二通才四

達書

(田地開発ニ付伊奈熊蔵達書) 三津之郷百姓中宛(天正一八年カ) 寅五月一四日

一通才五

彦坂九兵衛書状写(造船依頼) 大川四郎左衛門宛(慶長) 一月二七日

一通才六

触書

(火事ニ付定写) 奉行 正徳元年五月

一通才七

(水帳本紙急御用ニ候間持致様廻状控) 日野
小左衛門 御蔭村・三津村・小海村宛 (享保一五年
カ) 戌一月四日

条々書留 加藤専六 宝曆一一年三月

(殿様御帰館ニ付村々三嶋宿迄罷出候様廻状)
三津村割元大川伝左衛門 三津村・小坂村・大沢村
・長浜村・江梨村・重寺村各名主・組頭衆中宛 九
月二〇日

廻船条目

(廻船条目写) 奉行 貞享二年二月

(廻船条目写) 奉行 正徳元年五月

廻船大法御定写帳 三津村大川氏 寛延四年

(廻船条目写) 辰八月

(廻船条目写) 辰八月

(入津致居戸田村船頭御尋ニ付御役所へ可差出
様申渡状) 葦山役所 三津村名主・組頭宛 巳一
二月八日

(流船引渡之義ニ付申渡之義有之間村役人可罷
出書付) 津田彈正三津役所 江梨村名主・組頭・
百姓代宛 八月一二日

高札

御高札之写 正徳元年三月

伊豆国海辺通御料私領寺社領添御高札并御廻状
駿河国 覚通 正徳二年九月

(浦高札由来書下書) 三津村名主武左衛門 山本
平八郎宛 宝曆四年五月

新規高札之儀被仰渡御請書 三津村惣百姓 江川
太郎左衛門役所宛 明和七年四月

(三津村浦高札場普請願書控) 三津村以下一四ヶ
村名主 葦山役所宛 寛政二年一月

(浦高札場普請願書控) 三津村名主伝左衛門・組
頭基右衛門・百姓代又右衛門 葦山役所宛 寛政二
年一〇月

貢租

書上

(前々西浦七ヶ村御納所大方覚)

御定免辻田米畑米反取書上帳 三津村名主武左衛
門・組頭市左衛門・百姓代又右衛門・久左衛門 三嶋
役所宛 元文三年八月

年貢免除

三津村高役引ケ石書上ケ証文 名主伝左衛門・彦
左衛門・年寄弥左衛門・市郎左衛門 代官宛 寛文
八年二月一日

(番所屋敷年貢免許覚書) 小長谷勘左衛門三津村
以下一ヶ村各名主・組頭宛 元禄一四年七月

検見

檢見仕立方并反取之仕法 三津村名主伝左衛門
文化八年二月

半

一册才 六

(檢見廻村ニ付廻狀) 江川太郎左衛門 松崎村・
三津村他六ヶ村各名主・組頭宛 寅八月

一通才 元

割付

(当寅御取箇田畑反取并石代直段覺) 齋藤喜六
郎 名主・組頭・惣百姓宛 延享三年二月

一通才 三

割付狀

三津村寅御年貢可納割付狀 市川喜三郎 庄屋・
百姓中宛 寛永三年一月

一通才 三

申年三津村御年貢可納割付狀 市川喜三郎 庄屋
・百姓中宛 寛永九年二月一日

一通才 三

亥歳三津村御年貢可納割付狀 小林彦五郎 左衛門
名主・百姓中宛 寛永十二年二月九日

一通才 三

子年三津村御年貢可納割付狀 小林彦五郎 名主
・百姓中宛 寛永十三年一月三日

一通才 三

丑ノ年三津村御年貢可納割付狀 小林彦五郎 名主
・百姓中宛 寛永十四年一月晦日

一通才 三

巳年三津村御年貢可納割付狀 小林彦五郎 名主
・百姓中宛 寛永十八年二月三日

一通才 三

午之歳三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 寛永十九年一月二十七日

一通才 三

申之歳三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 寛永二十一年一月二十五日

一通才 三

酉年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主・
百姓中宛 正保二年一月二十八日

一通才 三

戌年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主・
百姓中宛 正保三年一月八日

一通才 三

亥ノ年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 正保四年一月六日

一通才 三

子ノ年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 慶安元年一月三日

一通才 三

寅歳三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主・
百姓中宛 慶安三年一月三日

一通才 三

辰之歳三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 承応元年一月二日

一通才 三

申之年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 明暦二年一月一日

一通才 三

酉年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主・
百姓中宛 明暦三年一月二日

一通才 三

戌之年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 万治元年一月五日

一通才 三

亥之年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 万治二年一月五日

一通才 三

子歳三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主・
百姓中宛 万治三年一月五日

一通才 三

丑年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主・
百姓中宛 寛文元年一月一日

一通才 三

寅之年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 寛文二年一月五日

一通才 三

卯之年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 寛文三年一月三日

一通才 三

辰之年三津村御年貢可納割付狀 伊奈兵藏 名主
・百姓中宛 寛文四年一月一日

一通才 三

巳之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 寛文五年一月一五日	一通才	𠄎	未之歳三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 延宝七年一月二三日	一通才	𠄎
午ノ年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 寛文六年一月一五日	一通才	𠄎	申之歳三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 延宝八年一月二五日	一通才	𠄎
未之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 寛文七年一月一五日	一通才	𠄎	酉之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 天和元年二月	一通才	𠄎
申之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 寛文八年一月一五日	一通才	𠄎	戌之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 天和二年一月一〇日	一通才	𠄎
酉之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 寛文九年一月三日	一通才	𠄎	亥之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛	一通才	𠄎
戌之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 寛文一〇年一月一五日	一通才	𠄎	豆州内浦組之内三津村子御年貢可納割付状 竹内三郎兵衛 名主・惣百姓宛 貞享元年一月	一通才	𠄎
亥之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 寛文一一年二月二〇日	一通才	𠄎	豆州内浦組三津村丑御年貢可納割付状 竹内三郎兵衛 名主・惣百姓宛 貞享二年一月	一通才	𠄎
子年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 寛文一二年二月一五日	一通才	𠄎	豆州内浦組三津村寅御年貢可納割付状 竹内三郎兵衛 貞享三年一月	一通才	𠄎
丑ノ年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 延宝元年	一通才	𠄎	豆州内浦組三津村卯之御成ケ割付状 五味小左衛門 名主・惣百姓宛 貞享四年一月	一通才	𠄎
寅之歳三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 延宝二年一月二〇日	一通才	𠄎	豆州内浦組三津村辰御成ケ割付状 五味小左衛門 名主・惣百姓宛 元禄元年一月	一通才	𠄎
卯年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 延宝三年一月一五日	一通才	𠄎	豆州内浦組三津村巳御成ケ割付状 五味小左衛門 名主・惣百姓宛 元禄二年一月	一通才	𠄎
辰年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 延宝四年一月一五日	一通才	𠄎	豆州内浦組三津村午御成ケ割付状 五味小左衛門 名主・惣百姓宛 元禄三年一月	一通才	𠄎
巳之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 延宝五年二月三日	一通才	𠄎	豆州内浦組三津村未御成ケ割付状 五味小左衛門 名主・惣百姓宛 元禄四年一〇月	一通才	𠄎
午之年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵右衛門 名主・百姓中宛 延宝六年一月六日	一通才	𠄎	豆州内浦組三津村申ノ御成ケ割付状 五味小左衛門 名主・惣百姓宛 元禄五年二月	一通才	𠄎

豆州内浦組三津村酉御成ヶ割付状 名主・惣百姓宛 元禄六年二月	五味小左衛門	一通才	六	豆州君沢郡三津村御年貢割付状 名主・惣百姓宛 宝永四年一月	小長谷勘左衛門	一通才	六
豆州内浦組三津村戌御成ヶ割付状 名主・惣百姓宛 元禄七年二月	設楽喜兵衛	一通才	六	豆州君沢郡三津村子御年貢可納割付状 真知田理右衛門他五名 名主・百姓宛 宝永五年一月	真知田理	一通才	六
豆州内浦組三津村亥御成ヶ割付状 名主・惣百姓宛 元禄八年二月	設楽喜兵衛	一通才	六	丑年貢可納割付状 川崎九郎他五名 名主・百姓宛 宝永六年一月	川崎九郎	一通才	六
豆州内浦組三津村子御成ヶ割付状 名主・惣百姓宛 元禄九年二月	設楽喜兵衛	一通才	六	寅年貢可納割付状 葛岡斎藤次他四名 名主・百姓宛 宝永七年一月	葛岡斎藤次	一通才	六
豆州内浦組三津村丑御成ヶ割付状 名主・惣百姓宛 元禄一〇年二月	設楽喜兵衛	一通才	六	卯年貢可納割付状 葛岡斎藤次他四名 名主・惣百姓宛 正徳元年一月	葛岡斎藤次	一通才	六
豆州内浦組三津村寅御成ヶ割付状 名主・惣百姓宛 元禄一一年二月	設楽喜兵衛	一通才	七	巳御年貢可納割付状 川島安五郎他四名 名主・惣百姓宛 正徳三年一月	川島安五郎	一通才	七
豆州内浦組三津村卯御成ヶ割付状 名主・惣百姓宛 元禄一二年一月	設楽喜兵衛	一通才	八	午御年貢可納割付状 川島安五郎他四名 名主・惣百姓宛 正徳四年一月	川島安五郎	一通才	八
豆州君沢郡三津村辰ノ御年貢割付状 名主・惣百姓宛 元禄一三年一月	小長谷勘左衛門	一通才	八	未御年貢割付状 川島安五郎四名 名主・惣百姓宛 正徳五年一月	川島安五郎	一通才	八
豆州君沢郡三津村巳御年貢割付状 名主・惣百姓宛 元禄一四年一月	小長谷勘左衛門	一通才	九	申御年貢可納割付状 川島安五郎他四名 名主・惣百姓宛 享保元年一月	川島安五郎	一通才	九
豆州君沢郡三津村午御年貢割付状 名主・惣百姓宛 元禄一五年一月	小長谷勘左衛門	一通才	九	酉年三津村御成箇可納割付状 江川太郎左衛門 名主・百姓中宛 享保二年一月	江川太郎	一通才	九
豆州君沢郡三津村未御年貢割付状 名主・惣百姓宛 元禄一六年一月	小長谷勘左衛門	一通才	九	戌年三津村御成箇可納割付状 江川太郎左衛門 名主・百姓宛 享保三年一月	江川太郎	一通才	九
豆州君沢郡三津村申御年貢割付状 名主・惣百姓宛 宝永元年一月	小長谷勘左衛門	一通才	九	亥年三津村御成箇可納割付状 江川太郎左衛門 名主・百姓宛	江川太郎	一通才	九
豆州君沢郡三津村酉御年貢割付状 名主・惣百姓宛 宝永二年一月	小長谷勘左衛門	一通才	九	子歳三津村御成箇可納割付状 江川太郎左衛門 名主・百姓宛 享保五年一月	江川太郎	一通才	九
豆州君沢郡三津村戌御年貢割付状 名主・惣百姓宛 宝永三年二月	小長谷勘左衛門	一通才	九	丑之年三津村御成箇可納割付状 江川太郎左衛門 名主・百姓宛 享保六年一月	江川太郎	一通才	九

寅年三津村御成箇可納割付状 江川太郎左衛門
名主・百姓宛 享保七年一月 一通才二〇

卯御年貢可納割付状 河原清兵衛 名主・百姓宛
享保八年一〇月 一通才二二

辰御年貢可納割付状 日野小左衛門 名主・惣百姓
宛 享保九年一〇月 一通才二三

巳未迄三ヶ年定免割付状 日野小左衛門 名主
組頭・百姓宛 享保一〇年一〇月 一通才二三

申未迄拾ヶ年定免御年貢可納割付状 日野小
左衛門 名主・惣百姓宛 享保一三年一〇月 一通才二四

戌御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 享保一五年一月 一通才二五

亥御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 享保一六年一月 一通才二六

子御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 享保一七年一〇月 一通才二七

丑御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 享保一八年一〇月 一通才二八

寅御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 享保一九年一月 一通才二九

卯御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 享保二〇年一〇月 一通才三〇

辰御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 元文元年一〇月 一通才三一

巳御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 元文二年一〇月 一通才三三

午御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 元文三年一〇月 一通才三三

未御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 元文四年一〇月 一通才三三

申御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・
惣百姓宛 元文五年一〇月 一通才三五

酉御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 寛保元年一〇月 一通才三六

戌御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 寛保二年一〇月 一通才三七

亥御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 寛保三年一〇月 一通才三六

子御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 延享元年一〇月 一通才三六

丑御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 延享二年一〇月 一通才三三

寅御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・蓋頭・惣
百姓宛 延享三年一〇月 一通才三三

卯御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 延享四年一〇月 一通才三三

辰御年貢可納割付状 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣
百姓宛 寛延元年一〇月 一通才三三

巳御年貢可納割付状 山本平八郎 名主・組頭・惣
百姓宛 寛延二年一〇月 一通才三五

午御年貢可納割付状 山本平八郎 名主・組頭・惣
百姓宛 寛延三年一〇月 一通才三五

未御年貢可納割付状 山本平八郎 名主・組頭・惣
百姓宛 寛延四年一〇月 一通才三五

申御年貢可納割付状 山本平八郎 名主・組頭・惣
百姓宛 宝曆二年一〇月 一通才三五

酉御年貢可納割付状 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆三年一〇月 一通才一三

戌御年貢可納割付状 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆四年一〇月 一通才一三

亥御年貢可納割付状 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆五年一〇月 一通才一四〇

子御年貢可納割付状 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆六年一〇月 一通才一四

丑御年貢可納割付状 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆七年一〇月 一通才一四三

寅御年貢可納割付状 伊奈半左衛門 名主・百姓宛 宝曆八年一二月五日 一通才一四三

卯御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆九年一〇月 一通才一四

辰御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆一〇年一〇月 一通才一四

巳御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆一一年一〇月 一通才一四

午御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆一二年一〇月 一通才一四

未御年貢可納割付状 江川太郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆一三年一〇月 一通才一四

申御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和元年一〇月 一通才一四

酉御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和二年一〇月 一通才一五〇

戌御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和三年一月 一通才一五

亥御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和四年一月 一通才一三

子御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和五年一月 一通才一三

丑御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和六年一月 一通才一四〇

寅御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和七年一〇月 一通才一四

卯御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和八年一月 一通才一四三

辰御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永元年一〇月 一通才一四三

巳御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永二年一〇月 一通才一四

午御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永三年一〇月 一通才一四

未御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永四年一〇月 一通才一四

申御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永五年一〇月 一通才一四

酉御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永六年一〇月 一通才一四

戌御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永七年一〇月 一通才一四

亥御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永八年一〇月 一通才一四〇

子御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永九年一〇月 一通才一四

丑御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 天明元年一〇月 一通才一六
 寅御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 天明二年一〇月 一通才一六
 卯御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 天明三年一〇月 一通才一六
 辰御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 天明四年一〇月 一通才一七
 巳御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 天明五年一〇月 一通才一七
 午御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 天明六年一〇月 一通才一七
 未御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 天明七年一〇月 一通才一七
 申御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 天明八年一〇月 一通才一七
 酉御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政元年一月 一通才一七
 戌御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政二年一〇月 一通才一七
 亥御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政三年一月 一通才一七
 子御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政四年一〇月 一通才一七
 丑御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政五年一〇月 一通才一七
 寅御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政六年一〇月 一通才一七

卯御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政七年一〇月 一通才一八
 辰御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政八年一〇月 一通才一八
 巳御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政九年一〇月 一通才一八
 午御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政一〇年一〇月 一通才一八
 未御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政一一年一〇月 一通才一八
 申御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 寛政一二年一〇月 一通才一八
 戌御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 享和二年一〇月 一通才一八
 亥御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 享和三年一〇月 一通才一八
 子御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 文化元年一〇月 一通才一八
 丑御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 文化二年一〇月 一通才一八
 寅御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 文化三年一〇月 一通才一八
 卯御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 文化四年一〇月 一通才一八
 巳御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組頭
 ・惣百姓宛 文化六年一〇月 一通才一八

取立納入

(米永上納其外取引之節以來請取書連印ニ而差遣申旨申渡書) 出役渡辺清藏・荻野源之進 三津村伝左衛門宛 寅二月

一通才 一五〇

取立帳

御年貢取立覚 嘉永元年

横長半

一綴才 一五五

請取手形

(寅御年貢并般役請取証文) 小海村名主 三津村伝左衛門宛

一通才 一六六

(年貢銭残り請取覚) 小海村名主 三津村覚右衛門宛 戌十一月二十六日

一通才 一七〇

(不熟米石代金江戸下シ才料賃請取覚) 安永九年六月二十四日

一通才 一六九

(年貢金子請取覚) 小海村名主 三津村覚右衛門宛 戌二月一四日

一通才 一〇三

勘定目録

内浦組三津村去寅之御年貢浮役勘定目録 名主八左衛門・組頭市郎右衛門 代官宛 貞享四年八月

一通才 一六九

元禄式巳年内浦組三津村御成ケ御勘定目録 三津村名主八左衛門・組頭市郎右衛門 代官宛 元禄三年

一通才 一〇〇

子歳三津村御年貢納目録 三津村名主・組頭中・惣百姓 矢嶋定右衛門宛 元禄一二年二月

一通才 一〇二

内浦組三津村午之御年貢米金納勘定目録 名主覚右衛門・組頭市郎右衛門 代官宛 元禄一六年三月

一通才 一〇三

内浦組三津村未之御年貢米金納勘定目録 名主覚右衛門・組頭市郎右衛門 代官宛 宝永元年三月

一通才 一〇三

内浦組三津村申之御年貢米金納勘定目録 名主覚右衛門・組頭市郎右衛門 代官宛 宝永二年三月

一通才 一〇四

内浦組三津村酉之御年貢米金勘定目録 名主覚右衛門・組頭市郎右衛門 代官宛 宝永三年三月

一通才 一〇五

戌之年三津村御年貢納勘定目録 名主武左衛門安井平治兵衛宛 享保四年八月

一通才 一〇六

(戌御年貢勘定目録) 名主武左衛門・組頭市郎左衛門・百姓七七名 享保一六年四月

一通才 一〇六

皆済状

(納三津村戌亥兩年御年貢米皆済状) 田波十右衛門他三名 名主・百姓中宛 寛永一五年三月一九日

一通才 一〇七

(午之御年貢皆済状) 山崎多左衛門・三浦平兵衛名主・百姓中宛 寛文七年六月三日

一通才 一〇八

(未之年三津村御成ケ皆済状) 山崎多左衛門・三浦平兵衛 名主・百姓中宛 寛文八年八月

一通才 一〇九

(申之年三津村御成ケ皆済状) 山崎多左衛門・三浦平兵衛 名主・百姓中宛 寛文九年八月

一通才 一〇〇

(酉之年三津村御年貢浮役皆済状) 山崎多左衛門・三浦平兵衛 名主・百姓中宛 寛文一〇年八月

一通才 一〇一

(戌之年三津村御年貢浮役皆済状) 山崎多左衛門・三浦平兵衛 名主・百姓中宛 寛文一二年七月六日

一通才 一〇三

(亥之年三津村御年貢并浮役皆済状) 山崎多左衛門・三浦平兵衛 名主・百姓中宛 寛文一三年五月一日

一通才 一〇三

(子之三津村御年貢并浮役皆済状) 山崎多左衛門・三浦平兵衛 名主・百姓中宛 延宝元年七月晦日

一通才 一〇四

(丑之年三津村御年貢并浮役皆済状) 三浦平兵衛・山崎多左衛門 名主・百姓中宛 延宝二年五月一日

一通才三五

内浦組三津村丑歲御年貢皆済目録 設楽喜兵衛代 柴田庄大夫 名主・百姓中宛 元禄一年三月

一通才三七

(子御年貢皆済目録) 真知田理左衛門他二名 名主・百姓中宛 宝永六年六月

一通才三八

丑年皆済目録 葛岡齋藤次他三名 名主・百姓中宛 宝永七年二月

一通才三九

寅年皆済目録 葛岡齋藤次他三名 名主・百姓中宛 正徳二年一月

一通才三〇

卯年皆済目録 葛岡才藤次他三名 名主・百姓宛 正徳二年二月

一通才三一

辰年皆済目録 葛岡齋藤治他三名 名主・百姓中宛 正徳三年二月

一通才三二

巳年皆済目録 川島安五郎他三名 名主・惣百姓宛 正徳四年八月

一通才三三

戌御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 享保一六年三月

一通才三四

亥御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 享保一七年六月

一通才三五

子御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 享保一八年六月

一通才三六

丑御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 享保一九年七月

一通才三七

寅御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 享保二〇年六月

一通才三六

卯御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 享保二一年五月

一通才三九

辰御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 元文二年六月

一通才三〇

巳御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 元文三年三月

一通才三一

午御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 元文四年三月

一通才三二

未御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 元文五年五月

一通才三三

申御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 寛保元年六月

一通才三四

酉御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 寛保二年六月

一通才三五

戌御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 寛保三年六月

一通才三六

亥御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 延享元年七月

一通才三七

子御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 延享二年

一通才三八

丑御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 延享三年七月

一通才三九

寅御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 延享四年三月

一通才四〇

卯御年貢皆済目録 齋藤喜六郎 名主・組頭・惣百姓宛 延享五年三月

一通才四一

辰御年貢皆済目録 大屋李之助 名主・組頭・惣百姓宛 寛延二年六月

一通才四二

巳御年貢皆濟目錄 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 寬延三年五月 一通才二四三

午御年貢皆濟目錄 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 寬延四年五月 一通才二四四

未御年貢皆濟目錄 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆二年四月 一通才二四五

申御年貢皆濟目錄 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆三年五月 一通才二四六

酉御年貢皆濟目錄 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆四年六月 一通才二四七

戌御年貢皆濟目錄 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆五年五月 一通才二四八

亥御年貢皆濟目錄 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆六年六月 一通才二四九

子御年貢皆濟目錄 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆七年三月 一通才二五〇

丑御年貢皆濟目錄 山本平八郎 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆八年六月 一通才二五一

卯御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆一〇年三月 一通才二五二

辰御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆十一年三月 一通才二五三

巳御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆十二年三月 一通才二五四

午御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆十三年三月 一通才二五五

未御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 宝曆十四年三月 一通才二五六

申御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和二年三月 一通才二五七

酉御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和三年三月 一通才二五八

戌御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和四年三月 一通才二五九

亥御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和五年三月 一通才二六〇

子御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和六年三月 一通才二六一

丑御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和七年三月 一通才二六二

寅御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和八年三月 一通才二六三

卯御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 明和九年三月 一通才二六四

辰御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永二年三月 一通才二六五

巳御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永三年三月 一通才二六六

午御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永四年三月 一通才二六七

未御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永五年三月 一通才二六八

申御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永六年三月 一通才二六九

酉御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 安永七年三月 一通才二七〇

戊御年貢皆濟目録 惣百姓宛 安永八年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
亥御年貢皆濟目録 惣百姓宛 安永九年六月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
子御年貢皆濟目録 惣百姓宛 安永一〇年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
(丑年貢皆濟目録) 惣百姓宛 天明二年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
寅御年貢皆濟目録 惣百姓宛 天明三年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
卯御年貢皆濟目録 惣百姓宛 天明四年六月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
辰御年貢皆濟目録 惣百姓宛 天明五年六月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
巳御年貢皆濟目録 惣百姓宛 天明六年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
午御年貢皆濟目録 惣百姓宛 天明七年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
未御年貢皆濟目録 惣百姓宛 天明八年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二七
申御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政元年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
酉御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政二年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
戌御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政三年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
亥御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政四年二月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六

子御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政五年二月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
丑御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政六年二月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
寅御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政七年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
卯御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政八年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
辰御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政九年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
巳御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政一〇年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
午御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政一一年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
未御年貢皆濟目録 惣百姓宛 寛政一二年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
酉御年貢皆濟目録 惣百姓宛 享和二年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
戌御年貢皆濟目録 惣百姓宛 享和三年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
亥御年貢皆濟目録 惣百姓宛 文化元年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
子御年貢皆濟目録 惣百姓宛 文化二年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
丑御年貢皆濟目録 惣百姓宛 文化三年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六
寅御年貢皆濟目録 惣百姓宛 文化四年三月	江川太郎左衛門 名主・組頭	一通才二六

卯御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・百姓代宛 文化五年三月 一通才 二九

辰御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・百姓代宛 文化六年三月 一通才 二九

巳御年貢皆濟目錄 江川太郎左衛門 名主・組頭・百姓代宛 文化七年三月 一通才 三〇

(酉御年貢皆濟目錄) 佐藤利右衛門 他三名 名主・組頭・惣百姓宛 一通才 三二

皆濟目錄請取書

(子年御取箇御割付并皆濟目錄奉請取二付一札) 名主伝左衛門・組頭市郎右衛門・百姓九七名 江川太郎左衛門宛 明和六年三月 一通才 三三

(丑年御取箇御割付并皆濟目錄奉請取二付一札) 名主伝左衛門・組頭甚右衛門・百姓九八名 天明二年一月 一通才 三四

(辰御取箇御割付并皆濟目錄奉請取二付一札) 名主伝左衛門・組頭甚右衛門・百姓一〇一名 葦山役所宛 天明五年 一通才 三五

(巳御取箇御割付并皆濟目錄奉請取二付一札) 名主伝左衛門・組頭甚右衛門・百姓一〇二名 葦山役所宛 天明六年 一通才 三六

(午御取箇御割付并皆濟目錄奉請取二付一札) 名主伝左衛門・組頭甚右衛門・百姓一〇〇名 葦山役所宛 天明七年 一通才 三七

(未年御取箇御割付并皆濟目錄奉受取二付一札) 名主伝左衛門・組頭甚右衛門・百姓一〇二名 葦山役所宛 天明八年一月 一通才 三八

未進

内浦組三津村未進米金勘定指引目錄 名主八郎右衛門・組頭市郎右衛門 伊奈兵右衛門内大和七郎右衛門・新庄森右衛門宛 貞享五年三月 一通才 三九

内浦組三津村未進米金指引勘定目錄 伊奈兵右衛門内石井角右衛門・新庄森右衛門 名主・百姓中宛 元禄六年二月 一通才 三〇

貢租諸稅費未納調 三津村戸長役場 明治一七年五月 三綴才 五五

藏納入用

豆州去々寅御年貢外摺立米御藏納諸入用帳 納名主角右衛門 江川太郎左衛門役所宛 寛政八年二月 一冊才 三三

浮役

書上

(三津村・小海村浮役米之訳書上控) 三津村・小海村各名主・組頭 斎藤喜六郎宛 享保一八年五月 一通才 三三

請取手形

(浮役金請取手形) 持福庄太夫 三津村名主・百姓中宛 万治三年二月一八日 一通才 三四

(浮役金請取手形) 持福庄太夫 三津村名主・百姓中宛 寛文元年二月二三日 一通才 三五

(浮役金請取手形) 持福庄太夫 三津村名主・百姓中宛 寛文二年二月二二日 一通才 三六

(浮役金請取手形) 持福庄太夫 三津村名主・百姓中宛 寛文三年二月二五日 一通才 三七

赦免

(三津村以下六ヶ村浮役米赦免訴訟關係証文之留写) 三津村名主・百姓 元禄二年 一冊才 三八

(三津村以下六ヶ村浮役米赦免願ニ付御伺書写) 五味小左衛門 勘定所宛 元禄二年六月 一冊才 三九

三津村浮役米三分二御赦免御書出(写共) 五味小左衛門 名主・百姓宛 元禄二年七月 三通才 三〇

(浮役米赦免願書) 三津村名主武左衛門 斎藤喜六郎役所宛 元文二年二月 一通才 三二

(浮役米赦免願書控) 三津村津元久左衛門・又右衛門・弥七、名主佐左衛門 伊奈半左衛門宛 宝曆八年一〇月 一通才 三三

分 一

(立物金請取証文) 代官手代 三津村・小海村宛 寛永二〇一慶安二年 二七通才 三三

御分一請負金請取書 三津村分一改所安田重次郎 長浜村津元宛 三一通才 三四

(分一金納願書控) 新藤庄右衛門他二名 右衛門・播磨宛 寛永二年五月一五日 一通才 三五

(重須村魚漁分一請負出入内済ニ付差上申熟談書写) 重須村分一請負人津元伊左衛門・津元名主喜藤治他葦山役所宛 安政四年五月 一通才 三六

(大川伝左衛門三ヶ村分一請負之處当西村請ニ致度ニ付為取替証文) 重寺村・三津村・長浜村各小前惣代、三津村・長浜村各戸長・副戸長 三津村大川伝左衛門宛 (明治六年力) 一通才 三七

船 役

舟役覚 明和五年 一通才 三六

船株御運上書上帳下書 三津村名主寛右衛門 葦山役所宛 寛政一二年二月 一冊才 三九

船株御運上書上帳 三津村名主寛右衛門 葦山役所宛 享和二年一二月 一冊才 三〇

船株御運上書上帳下書 三津村名主 葦山役所宛 文化二年二月 一冊才 三二

船株御運上書上帳下書 三津村名主佐左衛門 葦山役所宛 文化三年一二月 一冊才 三三

船株御運上書上帳下書 三津村名主佐左衛門 葦山役所宛 文化四年一二月 一冊才 三三

国 役

(国役金請取状) 江川太郎左衛門手代八田兵助 三津村名主宛 安永九年一二月一三日 一冊才 三四

(川々御普請国役金請取証文) 江川太郎左衛門手代 三津村名主宛 寛政九・一〇年 四通才 三五

郡 中 入 用

(郡中諸入用請取証文) 郡中惣代半左衛門・茂右衛門 三津村名主宛 寛政九・一〇年 二通才 三六

(郡中入用相済覚) 丑六月五日 一通才 三七

伝馬・助郷

(銀子駿河分江戸江御下ニ付御伝馬割書付) 田頭七右衛門他二名 伊豆七代官手代衆宛 午八月一四日 一通才 三九

増助合内浦拾四ヶ村割帳 金指氏 天保九年三月
二二日 横長半 一冊才 三〇〇

漁稼方

浦法

漁業取決

(魚漁取決一札断簡)

漁業取扱方書上写 重寺村 明治七年

漁業組合規約

伊豆国内浦漁業組合規約 組合惣代人三津村金指
弥左衛門他一名 明治二三年三月二七日

(内浦漁業組合規約第三拾六条改正決議書)
秋山六右衛門他七名 明治二五年五月一五日

漁割約定

漁業捕魚分合割約定之証 津元金指儀右衛門他
明治二三年三月

漁業免許願書

慣行ニ因ル入会専用漁業免許願書控(漁場図一枚
添)内浦村漁業人一三二名代表金指弥左衛門 農商務
大臣平田東照宛 明治三六年六月二九日

定置漁業免許願書(漁場図一枚添) 三津浜漁業組
合理事金指弥左衛門 静岡県知事亀井美三郎宛 明治
三七年五月一四日

特別漁業免許願書(漁場図一枚添) 三津浜漁業組
合理事金指弥左衛門 静岡県知事亀井美三郎宛 明
治三七年五月一四日 半 一綴才 三〇六

網度

書上

魚獵場海上間数書上帳 三津村名主武左衛門 三
鳴役所宛 宝曆三年九月 半 一冊才 三〇九

網度日線

網戸日操帳 明治一〇年 横半半 一冊才 三五〇

網戸質入・売買

(網度売渡証文) 植田伊賀 大河はやと宛 (文祿
四年九)未一二月一日 一通才 三五二

(網度売渡証文) 内記 隼人宛 文祿五年一月一
日 一通才 三五六

(魚立場譲渡状) 松下三郎左衛門 大河隼人宛
一月 一通才 三五三

(網度預ヶ証文) 惣左衛門 覚右衛門宛 享和元
年一二月 一通才 三五三

(網戸売渡証文) 三津村伝左衛門 小海村七兵衛
宛 文政二年一二月 一通才 三五四

(網戸売渡証文) 伝左衛門 三津村忠助宛 文政
三年一二月 一通才 三五五

(網戸質入証文) 伝左衛門 儀右衛門宛 嘉永三
年八月 一通才 三五五

(二人衆網戸半帖并取網舟壳渡ニ付内務省工書面差上依頼状) 惣代中小川喜助他二名宛(明治)

一通才 三三

船

丑之年三津村与五兵衛方網舟造作入用覚 御網戸之分七郎兵衛・弥兵衛・伝左衛門 代官宛 嘉永元年三月十五日

一通才 三三

寅之年三津村与五兵衛方網舟造作入用覚 代官宛 寛文二年四月二日

一通才 三三

三津村与五兵衛方網舟入目覚 三津村伝左衛門代官宛 寛文三年四月二日

一通才 三〇

三津村与五兵衛方網舟入目之覚 御網戸分七郎兵衛・佐助 一一月二八日

一通才 三二

(三津村舟差出控) 名主伝左衛門 葦山役所宛 明和五年二月

一通才 三三

隼人他四名書状(舟方老人やとい入二付) 大谷内膳宛 二月二八日

一通才 三五

魚売買

(鮪代金納覚) 沼津平田屋 新藏・藤兵衛宛 辰二月

一通才 三三

(魚行商出入内済証文控) 訴訟方沼津宿五十集商人組合惣代役七兵衛・相手方三津村伊兵衛・勘七・助七・取喰人三嶋宿間屋茂兵衛 葦山役所宛 寛政一二年二月

一通才 三三

(沼津宿魚問屋口錢歩増之義申付ニ付魚不壳規定書) 豆州君次郎二三ヶ村各名主・駿州駿東郡一三ヶ村各名主 慶応三年四月

一通才 三五

魚出入

(獅子浜村对小海村外五ヶ村魚猟出入裁決請書控) 小海村惣代・三津村名主・獅子浜村名主他 評定所宛 明和二年二月五日

半

一冊才 三六

(小海願之新規立漁場差止出入御吟味中婦村願書断簡) 重寺村婦村願人三郎次・三津村代引請人伝左衛門他 寺社奉行所宛 文政元年八月

一通才 三三

(平治右衛門不法漁業差止願書) 重寺津元三郎治・嘉・六右衛門 三津役所宛 文政四年三月

一通才 三六

(駿州蒲原宿外八ヶ村ヲ相手取任網濟口証文写) 訴訟方惣代獅子浜村名主七右衛門・木負村名主見習半左衛門・相手蒲原組頭喜兵衛他 評定所宛 安政四年一二月

半

一冊才 三九

(釣漁差縄一件濟口証文写) 訴訟人三津村・長浜村・重寺村各名主・相手駿東郡志下村・馬込村名主・獅子浜村組頭 沼津郡方役所宛 元治元年五月

美

一冊才 三〇

(郷中寄合鮪漁漁割勘定出入内済ニ付為取替一札写)

一通才 三三

(内浦・西浦組合仲間出入濟口証文添状) 重寺村他一〇ヶ村名主・津元 戊八月

一通才 三三

(三津村金指儀右衛門・関野儀助・大川伝左衛門・関忠助ト百姓九十八人漁業浮役米出入濟口証文) 訴訟方百姓惣代・相手方名主金指儀右衛門他 足柄原庁宛 明治五年

半

一冊才 三三

(津元・網戸持出入和解ニ付為取替濟口証文)
網戸持菊地宇兵衛、津元大川一平次他 明治九年八月二十五日 半 一冊才 三三五

(三津村小前層海面拝借再願書加印及右件ニ付一村之名儀ヲ被除様願書) 明治二〇年七月三二日 半 一綴才 三三六

○三津村・木負村出入一件

(網滅却御説諭ニ付請書) 木負村漁業人惣代相磯貞助 三嶋警察署宛 明治一八年七月一六日 半 一綴才 三三七

沼津本町ニ而稻田吉蔵書状(静岡へ出訴之趣承ルニ付示談願) 三津村金指弥左衛門宛 (明治一八年カ) 一一月二一日、 一一通才 三三八

(木負村漁場妨害差止之訴訟総代人委任状控) 三津村漁業人金指弥左衛門他 長浜村菊地与右衛門宛 明治一八年一月一八日 一一通才 三三九

(木負村漁場妨害差止之訴訟原告陳述書) 原告代官人高田敬茂 静岡始審裁判所判事安原吉政宛 明治一八年一月二四日 一一通才 三四〇

(木負村新規張切綱仕立三津村ヨリ被訴ニ付返答書写) 被告木負村漁業惣代相磯貞助 静岡始審裁判所判事安原吉政宛 明治一八年二月一日 半 一綴才 三三一

(三津村と訴訟事件之為諸証明願書写) 木負村漁業惣代相磯貞助 戸長役場宛 明治一九年九月一三日 一一通才 三三二

静岡始審裁判所判決書写 裁判所長安原吉政・書記菊地篤行・平岡剛 明治一九年一月二四日 半 一綴才 三三三

東京ニ而菊地与右衛門書状(被控訴側代官人届・委任状ニ銘々調印致様) 沼津駅稻田吉蔵宛 明治二〇年一〇月一九日 一一通才 三三六

修善寺ニ而稻田吉蔵書状(菊地与右衛門出張先住所失念ニ付) 三津村金指弥左衛門宛 明治二〇年一〇月二一日 一一通才 三三五

修善寺ニ而稻田吉蔵書状(事件之義示談披ニ限ルニ付早ク帰國可仕様) 菊地与右衛門宛 明治二〇年一〇月二一日 一一通才 三三六

(木負村控訴スルニ付三津村漁業総代人委任状写) 三津村漁業人金指弥左衛門他一二名 東京控訴院民事第二局長評定官鳥居断三宛 明治二〇年一〇月二一日 半 一綴才 三三七

修善寺ニ而稻田吉蔵書状(扱人衆出張アリテ示談相談有之様) 三津村金指弥左衛門宛 明治二〇年一〇月二四日 一一通才 三三九

(張切綱撤去之御執行形跡御認メ願書写) 木負村相磯貞助・相磯貞治 三嶋警察署長立花精一郎宛 明治二〇年一月一〇日 一一通才 三三九

(木負村東京控訴院へ裁判不当之上告付被上告人三津村漁業人答弁書) 被上告人三津村金指弥左衛門外一二名代官人矢野祐蔵 大審院尾崎忠治宛 明治二二年六月二六日 半 一綴才 三三九

(大審院ヨリ東京控訴院へ通知有之ニ付三津村(通達状) 静岡始審裁判所 三津村金指弥左衛門他一二名宛 明治二二年一〇月二一日 半 一綴才 三三九

名古屋控訴院裁判言渡書扣 名古屋控訴院評定官中田憲信他 三津村漁業人惣代長浜村菊地与右衛門宛 明治二二年二月四日 半 一綴才 三三九

(張切綱ニ関シ木負村対三津村裁判書類筆写) 一綴才 三三九

(木負村漁場妨害差止訴訟之為三津村作製海面圖) 一鋪才 三三九

村

村 況

村明細書上

(午年伊豆三津村指出書控) 伊奈兵藏宛 寛永一 九年七月二四日	寛永一	一通才	三七
三津村覚書 名主伝左衛門・組頭市左衛門 貞享元 年六月	貞享元	一冊才	三九
伊豆国君沢郡三津村差出帳 名主覚右衛門・組頭 市郎右衛門・百姓佐次右衛門他一名 宝永五年	宝永五年	一冊才	三九
伊豆国君沢郡三津村差出帳写 名主覚右衛門・年 寄市郎右衛門・百姓佐次右衛門 他二名 宝永五年五 月(弘化二年写)	宝永五年五 月	一冊才	四〇
(勘定奉行江之三津村暮向返答方届書控) 三津 村津元惣代弥七 三嶋役所宛 宝曆八年九月	宝曆八年九 月	一通才	四一
伊豆君沢郡三津村差出帳扣 名主伝左衛門 宝曆 一〇年	宝曆一〇 年	一冊才	四二
(用水路書上覚) 三津村名主伝左衛門・組頭甚右衛 門・百姓代又右衛門 長谷川権内宛 天明四年一月	天明四年一 月	一通才	四三
(三津村明細書上帳下書) 名主伝左衛門・組頭甚 左衛門・百姓代又右衛門 浜方改役人宛 寛政四年 一二月	寛政四年 一二月	一冊才	四四
家数人別書上		一通才	四五

絵 図

伊豆国君沢郡三津邑分間絵図面 享和元年 128×122 一枚才 四六
 (三津村河川略絵図) 21×27 一枚才 四七

書 留

公邑年代記 巻一六巻 文禄四―天明六年 六冊才 四八
 (諸証文扣) 享保二〇―天明五年 一冊才 四九
 古来書物証拠(諸証文書留) 寛永九―寛延四年 一冊才 五〇
 古書証拠 宝曆五―宝曆一四年 一冊才 五一
 古来書物証拠 明和元―明和九年 一冊才 五二

村 役 人

(名主番出入落着注進証文) 三津村次左衛門以下
 四二名 代官宛 寛文元年九月一六日 一通才 五三
 (取締役割元申渡書) 渡辺清喜他二名 三津村伝
 左衛門宛 文化一〇年一月 一通才 五四
 (名主休役申渡書) 渡辺清藏・栗原潤次郎 三津
 村名主伝左衛門宛 文化一二年一月 一通才 五五
 (名主休役ニ付仰渡請書控) 三津村元名主伝左衛
 門代組頭久左衛門以下四名 渡辺清藏・栗原潤次郎
 宛 文化一二年一月二六日 一通才 五六

土 地

豆州内浦組廿ヶ村石高覚 一通才 五七
 (三津村高改覚) 一通才 五八

(御水帳同尻覚写) 永貞写 宝曆六年二月写 一通才 四九

伊豆国君沢郡三津村新田檢地帳 代官江川太郎左衛門・手代二名・案内四名 明和六年九月 一冊才 四〇

(水帳吟味返答書控) 三津村寛右衛門他二名 蕪山役所宛 文化元年 一通才 四三

(水帳箱ノ内ニ有書物目錄) 三綴才 四三
水帳箱ニ可入置書物目錄 一通才 四三

(見取畑高入赦免願書控) 三津村名主佐左衛門・組頭市郎右衛門・百姓代治郎左衛門 蕪山役所宛 明和三年三月 一通才 四四

(見取畑取箇赦免願書控) 三津村名主・組頭・百姓代 蕪山役所宛 明和三年三月 一通才 四五

(見取畑高入請書控) 三津村名主・組頭・百姓代 蕪山役所宛 明和五年八月 一通才 四六

(畑・林年季壳渡証文) 三津村甚兵衛 三津村名主八左衛門 貞享三年一〇月 一通才 四七

(野畑壳渡証文) 三津村小兵衛 三津村庄兵衛宛 一通才 四六

(田地壳渡証文) 神益村元右衛門娘みね 平左衛門宛 宝曆一三年二月 一通才 四六

(畑壳渡証文) 伝七 三津村藤八宛 安永三年二月二五日 一通才 四〇

(田地質入証文) 藤左衛門・忠兵衛宛 天明八年 一通才 四三

(高反別代金書上) 藤左衛門 忠兵衛宛 天明八年 一通才 四三

(村屋敷借用証文) 三津村養有 名主武左衛門・組頭市左衛門宛 元文五年一〇月 一通才 四五

米金借用

(金子借用証文) 長浜村七兵衛 三津村源右衛門宛 万治三年一月二八日 一通才 四三

(百姓退転仕候間御救被下度口上書控) 三津村名主佐左衛門・組頭市左衛門 代官宛 貞享元年九月 一通才 四五

(夫食金子借用証文) 三津村小前百姓五四名 村役人中宛 文政八年二月 一通才 四六

(夫食返納金請取証文) 代官手代 三津村名主宛 元文元一寛延二年 一三通才 四四

(夫食願人数書上控) 三津村名主 三嶋役所 宝曆七年六月 一通才 四四

(助成石屋利金請取状) 江川太郎左衛門手代市川善五兵衛・八田兵助 三津村名主宛 安永九年二月二日 一通才 四七

(御貸付金年賦当年分受取証文) 江川太郎左衛門手代市川善五兵衛・八田兵助 三津村名主宛 安永九年十二月二七日 一通才 四三

(御貸付金年賦当年分受取証文) 江川太郎左衛門手代中村新平他二名 三津村納人中宛 寛政一〇年十二月晦日 一通才 四三

(拝借金村々割賦請書) 重寺村・長浜村・重須村各名主 三津村名主寛右衛門宛 寛政一二年六月 一通才 四〇

(大風雨大浪ニ而立獵網船・大網道具破損ニ付御拝借金被下度願書控断簡) 一通才 四一

火災ニ罹リ拝借金年賦割換延期之義ニ付歎願書 三津村拝借人 静岡県令奈良原繁宛 明治一七年八月 一綴才 四三

(火災救助貸下金年賦割換返納之義出願ニ付指令書) 君沢田方郡役所 三津村組戸長中宛 明治一七年一〇月一〇日 一綴才 四三

(明治十三年火災之際県庁ヨリ之拝借金返納ニ付証明書) 三津村借主本人松本勘七・証人四名 三津村火災者金指佐兵衛他六九名宛 明治一八年三月二四日 一通才 四四

(明治十三年中火災之際県庁ヨリ之拝借金返納ニ付証明書) 三津村借主本人関野儀助・保証人三名 三津村村務委員宛 明治一八年三月二四日 一通才 四五

(火災救助拝借金返納・未納額精算書) 松本勘七 村務委員中宛 明治一八年三月二四日 一綴才 四四

(火災救助拝借金返納ニ付約定書) 三津村他四ヶ村戸長土屋伊八郎・三津村村務委員大川伝十郎以下 議員・伍長等四三名 明治一八年三月 一綴才 四七

(内浦会社ヨリ之借用金濟方ニ付証明書) 三津村借主松本勘七・証人六名 三津村村務委員宛 明治一八年三月二四日 一綴才 四四

山 野

豆州君沢郡三津村百姓持林秣場書上帳 名主武左衛門・組頭市郎右衛門・百姓代又右衛門 三嶋役所宛 延享二年八月 一冊才 四九

(小海村と之入会山出入御尋ニ付返答書控) 三津村名主八左右衛門・組頭市郎右衛門 代官宛 元禄六年三月 一通才 四六

(長瀬・小坂・戸沢村と之入会山出入ニ付仰渡請書控) 三津村名主七左右衛門・組頭市郎右衛門・佐兵衛・甚右衛門 代官宛 元禄七年二月六日 二通才 四二

(長瀬・小坂・戸沢村入会山之先規ヲ破ルニ付訴状) (控共) 三津村名主八左右衛門・組頭市郎右衛門・惣百姓 代官宛 元禄七年五月 三通才 四三

(長瀬・小坂・戸沢村と之入会山出入御尋ニ付口上書) 三津村名主八左右衛門・組頭市郎右衛門・惣百姓 代官宛 元禄七年六月 二通才 四三

(長瀬・小坂・戸沢村と之入会山出入御尋ニ付口上書) 三津村名主八左右衛門・組頭市郎右衛門・惣百姓 代官宛 元禄八年三月 一通才 四四

(長瀬・小坂・戸沢村と之入会山出入御尋ニ付口上書) (控共) 三津村名主八左右衛門・組頭市郎右衛門・惣百姓 元禄八年九月 四通才 四五

(入会山通路尋問返答書)(下書・控共) 三津村名主八左右衛門・組頭市郎右衛門・佐兵衛・七郎左衛門・惣百姓 代官宛 元禄八年九月

四通才 四〇

(長瀬・小坂・戸沢村と之入会山出入返答書控)(下書共) 三津村名主八左右衛門・組頭市郎右衛門他二名・惣百姓 代官宛 元禄八年九月二八日

五通才 四〇

長瀬山入相裁許書(写共) 設楽喜兵衛 小坂村・長瀬村・戸沢村・三津村各名主・百姓宛 元禄九年一〇月一四日

五通才 四〇

(三津村入会新山通路塞グニ付訴状写) 小海村名主・組頭・百姓代・百姓 三嶋役所宛 宝曆五年三月

一通才 四〇

(小海村と之入会山出入御尋ニ付返答書控) 三津村名主佐左衛門・組頭市郎右衛門・惣百姓 三嶋役所宛 宝曆五年四月

一通才 四〇

(三津村と小海村入会山出入内濟証文) 小海村名主・組頭・惣百姓 証人重須村・長浜村・重寺村・戸田村各一名・三津村名主 組頭・惣百姓宛 宝曆五年一〇月

一通才 四〇

(長瀬村入会山通路ニ石榜示ヲ立申ニ付訴状)(下書共) 三津村名主寛右衛門・組頭甚右衛門・百姓代市左衛門 大久保長門守古祭村役所宛 寛政七年一〇月

五通才 四〇

(入会山榜示之件ニ付小坂村被召寄御吟味被成下度願書)(下書共) 三津村百姓代・組頭・名主 葦山役所宛 寛政七年一〇月二八日

二通才 四〇

入相山出入一件村中取究証文連印帳 三津村惣百姓 寛政七年

横長半

一冊才 四〇

(入会山榜示出入一件内濟ニ致度差入申一札) 長瀬村・小坂村・戸沢村各名主 三津村役人中宛 寛政七年一月

一通才 四〇

(入会山榜示出入之一件内濟ニ付覚書) 三津村名主・組頭・百姓代 寛政七年

一通才 四〇

(河内村名主と惣百姓郷山出入内濟証文)(写共) 河内村百姓・百姓代・長百姓・組頭・名主 取扱人重須村・三津村各名主 寛政八年一〇月

二通才 四〇

普 請

(浪除普請目論見返答書控) 三津村名主武左衛門・組頭市左衛門 普請奉行宛 享保一五年一〇月

一通才 四〇

君沢 豆州加茂郡村々浪除并川通堤破損繕諸御普請仕田方 様御入用積帳 田村三右衛門他二名 享和一五年一月

半 一冊才 四〇

(浪除普請賃人足願書控) 三津村名主武左衛門・組頭市左衛門・百姓代次郎左衛門他二名 三嶋役所宛 享保一五年一二月

二通才 四〇

豆州君沢郡三津村卯春御普請目論見帳 延享四年

半 一冊才 四〇

豆州君沢郡三津村用水路御普請目論見帳上扣 寛延四年七月

半 一冊才 四〇

(川除浪除普請仕来書控) 三津村名主武左衛門・組頭市郎右衛門・百姓代次郎左衛門 普請役人宛 寛延四年八月

二通才 四〇

豆州君沢郡三津村川除御目論見帳写 勘定所普請下役橋爪善兵衛・同普請役秋野藤市 勘定所宛 寛延四年九月 一冊才 四七
 豆州君沢郡三津村川除御普請出来形書上帳 名主武左衛門・組頭市郎右衛門・百姓代治郎左衛門 三嶋役所 宝曆二年三月 一冊才 四七
 豆州君沢郡三津村堰台御普請所御出来形書上帳 名主・組頭・百姓代 三嶋役所宛 宝曆三年 一冊才 四七
 川除并用水路御普請目論見帳 宝曆七年八月 一冊才 四七
 川除并用水路御普請所出来形帳 三津村名主・組頭・百姓代 三嶋役所宛 宝曆八年七月 一冊才 四七
 用水堰川除御普請所目論見帳 三津村名主・組頭・百姓代 伊奈平左衛門役所宛 宝曆八年二月 一冊才 四七
 (川除普請願書) 土肥村・八木沢村・戸田村・三津村 江川太郎左衛門役所宛 宝曆九年七月 一通才 四〇
 急破御普請所内目論見帳扣 三津村名主・組頭・百姓 江川太郎左衛門葦山役所宛 宝曆十一年九月 一冊才 四一
 浪除御普請所ケ所付帳 三津村伝左衛門・組頭市郎右衛門・百姓代次郎右衛門 葦山役所宛 宝曆十一年八月二四日 一冊才 四三
 御普請所ケ所付帳 三津村名主・組頭・百姓代 葦山役所宛 宝曆十一年八月二四日 一冊才 四三
 浪除御普請所目論見帳 三津村名主・組頭・百姓代 葦山役所宛 明和二年八月 一冊才 四四
 (畑道江城口ヲ付度差出申一札) 当人養有・証人清兵衛 三津村役人中宛 寛政四年一月二日 一通才 四五
 (浪川除普請願書) 三津村伝左衛門・甚右衛門・又右衛門 葦山役所宛 寛政四年七月 一通才 四六

(居屋造作普請ニ付取極証文) 三津村当人三郎兵衛・親類源六 三津村役人宛 寛政七年六月 一通才 四七
 豆州君沢郡三津村川除御普請目論見帳 享和元年小和田川通御普請所目論見帳下書 三津村名主 寛右衛門 享和元年九月 一冊才 四九
 (家作取極証文) 三津村家作主勘七・組合・親類役人中宛 享和二年七月 一通才 四九
 (浪除普請金下置寛) 中安玄助・小口順之助・中安辰之進 三津村大川家宛 未九月 一通才 四九
 (村々御普請之義ニ付証拠書物持参致様廻状) 葦山役所 小坂村・三津村名主・組頭宛 子二〇月一九日 一通才 四三
 (浪除其外普請手当金下置寛) 伊東善之助・中安辰之進・関口勝蔵・荻野柔之進・白井為輔 三津村役人宛 丑六月 一通才 四三
 (三津村山道造り人足不出ニヨリ小坂村等ヨリ入会拒否サルニ付出入之覚) 横半半 一冊才 四四
 三津坂隧道修繕工事寄付連名簿 三津区惣代 明治三〇年九月 一冊才 四五
 (庁屋修善雜費簿) 明治三二年九月 横半半 一冊才 三一

 銀 山
 (銀山書類包紙) 正徳三年五月 一通才 四六
 (銀山相衆取替証文) 山先田村七兵衛・牛丸三右衛門 中村幸五郎宛 正徳四年一〇月二日 一通才 四七
 (銀山法度可守証文) 三津村山先七兵衛・上船原村山先三右衛門・三嶋裏町山先幸五郎・江戸元ノ弥右衛門 三津村名主寛右衛門・組頭理右衛門・惣百姓中宛 正徳四年一〇月二日 一通才 四八

(銀山道筋ニ田地讓渡証文) 田地主惣左衛門・太右衛門 名主寛右衛門・組頭理右衛門宛 正徳四年一〇月二十七日

一通才 四九

(銀鉞堀出肝煎報酬ニ付証文) 山先七兵衛・三右衛門・幸五郎・元ノ弥右衛門 名主寛右衛門・組頭利右衛門・百姓中宛 正徳四年一〇月

一通才 五〇

(銀鉞ためし吹ニ付追証文) 願人上船原村三右衛門・三津村七兵衛、取次惣右衛門 正徳四年一〇月

一通才 五一

(銀間吹小屋ニ田地借用証文) 三右衛門・七兵衛・弥右衛門 三津村寛右衛門 正徳四年二月一日

一通才 五三

(幸五郎ヲ銀山相衆より取除ニ付証文) 山先七兵衛・三右衛門、金元長兵衛 名主寛右衛門・組頭理右衛門・惣百姓中宛 正徳五年二月二日

一通才 五三

寺 社

(氣多大明神由来書) 節部守貞他 一三名 永禄元年九月一日

二通才 五四

林鐘寺什物増上寺書上扣 開基檀那大川伝左衛門 元禄八年九月二六日

一册才 五五

(来迎寺大門新道用地ニ畑寄進ニ付証文) 三津村来迎寺旦那衆・来迎寺十五世湛蒼 名主寛右衛門・村中宛 正徳五年三月

一通才 五六

(為風除之伐残山木ニ付一札) 海照寺当住平左衛門・旦方惣代七名 名主武左衛門・組頭市左衛門宛 享保二年二月

一通才 五七

(教願寺と小海村畑出入内濟ニ付為取替証文下書) 教願寺、旦方惣右衛門・平右衛門、噯人名主伝左衛門 小海村名主武兵衛・組頭友右衛門・百姓中宛 宝曆八年二月

一通才 五八

(氏神由来覚書) 三津之住人大川寛右衛門 寛政九年七月

一通才 五〇

神社仏閣旧蹟調書 大川伝左衛門 寛政九年(明治三年改)

一册才 五九

(淡嶋大弁財尊天神前ニ拾五童子像ヲ捧グニ付祈願書) (文化九年九)

一通才 五〇

(三津村来迎寺住職と檀徒畑地出入ニ付出府依頼状) 三津村百姓 文化一〇年二月

一通才 五一

(伊豆国君沢郡三津村鎮座氣多神社ヲ三津神社ト改正ス(キ議定書)) 三津村戸長松本勘七以下副戸長四名・小前惣代二名 足柄具権令柏木忠彦宛 明治七年

一綴才 五三

諸什器并所有地調記簿 三津村海照寺住職兼帯長浜村安養寺住職富山勘喬 明治九年

一綴才 五三

什物簿 三津村浄土宗来迎寺住職加藤即誕 明治九年

一綴才 五四

寺旧境内外区画取調上申書(三津村浄因寺) 浄因寺当住岡崎天然・村用掛松本勘七 静岡県令大迫貞清宛 明治一〇年二月一八日

一綴才 五五

(三津村字川向海照寺取調書上) 安養寺住職富山勘喬・檀徒惣代羽田清治郎・戸長松本勘七 静岡県令大迫貞清宛 明治一二年一〇月・明治一三年

一綴才 五六

(三津村字南浄因寺取調書上) 浄因寺住職岡崎天然・三津村戸長松本勘七・檀徒惣代金指儀右衛門 静岡県令大迫貞清宛 明治一二年・一三年

三綴才 五七

(三津村海照寺設置之文庫・経蔵・諸書等御尋ニ付上申書控) 海照寺兼帯住職長浜村安養寺住職富山勘喬・檀家惣代羽田清治郎・戸長松本勘七 明治一二年一〇月

一通才 五八

(来迎寺蔵書取調書) 来迎寺住職加藤即誕・檀家惣代星野重蔵・三津村戸長松本勘七 明治一二年

一通才 五九

(三津村字南米迎寺取調書上) 明治
地藏点眼儀
一綴才 五〇
一通才 五二

学 校

(学校費収支差引取替元利金之内内浦会社の借用金返納ニ付証明書) 三津村羽田彦三郎 三津村村務委員宛 明治一八年三月二十四日
一通才 五三

(学校寄付金受取証) 学校懸羽田清次郎・伍長大川伝十郎・内浦村長秋山六右衛門 明治二二年・二三年・二四年
二綴才 五三

(三津村学校会及其有金之儀ニ付一村一同と松本勘七紛議ニ付契約書) 三戸村外四ヶ村戸長・三津村村務委員大川伝十郎以下惣代人三六名・扱人六名
一綴才 五四

そ の 他

(出府致少役之儀望申ニ付御取持願書写) 当人くすみや、請人彦左衛門・与四兵衛 江浦村百姓七家中宛 永禄二二年三月
一通才 五六

(商売許可願書) 三津村商人竹松他四人 名主寛右衛門・組頭利右衛門・御百姓供中宛 正徳四年一月
一通才 五七

(村掟書条目) 名主・組頭・百姓代(寛政年間以降)
一通才 五八

三津村無尽帳 金主和泉 文政一三年
一冊才 五九
年中行事 鏡広院日修 慶応二年
一冊才 五〇
(欠落人年令尋問書付) 葦山役所 三津村大川家宛 寅五月一日
一通才 五二

(久次郎家財諸色之内有り米ふけ米ニ相成候ニ付払米ニ致候段届書控) 三津村久次郎組合・五人組代権七 沼津出口町和田伝兵衛他二人宛 寅七月一二日
一通才 五三

三津村三九郎喧嘩聞書覚
一通才 五三

豆州内浦組十三ヶ村駿州富士川船橋勘定割合帳
小海村・長浜村他九ヶ村各名主 惣代三津村名主儀右衛門・重寺村三郎右衛門宛 明治二年六月
横長半
一冊才 五四

内浦十三ヶ村駿州富士川船橋御下金割合錢金船数割付帳 小海村・長浜村他九ヶ村各名主 惣代三津村名主儀右衛門・重寺村名主三郎右衛門宛 明治二年六月
横長半
一冊才 五五

(犯罪人之処分寛大ニ被仰付様願書控断簡)
加藤三郎左衛門 静岡県令大迫貞清宛 明治一二年九月四日
一通才 五六

三津村戸長役場諸類其外引渡シ記 旧戸長関野儀助 村務委員大川伝十郎宛 明治一七年
半
一綴才 五七

(虎烈刺子防關係文書断簡) (明治)
一通才 五八

家

(家系図覚)
一綴才 五九

(苗字帯刀免状) 渡辺才輔・中安辰之進・佐々木与左衛門 割元役伝左衛門宛 文政三年二月
一通才 五二

(屋敷借用証文) 重寺村・小海村以下一四ヶ村名主・大名主 三津村伝左衛門宛 貞享二年三月一八日
一通才 五三

三津村金指家文書目録 (文書記号 23Z59)

(三津村番所屋敷地相払ニ付落札金請取証文) 葛岡才藤治・高田源右衛門・井上茂右衛門 三津村 名主寛右衛門宛 宝永八年一月	一通才 五四
(屋敷売渡証文控) 三津村武左衛門 清右衛門宛 享保一四年六月	一通才 五五
(屋敷売渡証文控) 三津村武左衛門 治兵衛宛 寛延三年十一月	一通才 五六
紛散帳 三津村伝左衛門親類惣代義右衛門・弥助 文政八年二月	一冊才 五七
(伝左衛門跡式潰シ退身ニ付一札) 親類義衛門 ・俊助・半左衛門 伝左衛門宛	一通才 五八
(三津村外五ヶ村収納米為引当金子借用証文) 津田弾正内中安辰之進・渡辺犀輔 三津村大川伝左 衛門宛 文政四年四月	一通才 五九
(金子請取証文) 荻野源之進 三津村大川伝左衛 門宛 寅十一月二日	一通才 五〇
(日露戦役軍需品寄付感謝状) 東京府知事千家尊 福 内浦村大川伝十郎宛 明治三九年三月一日	一通才 五一
(大本山増上寺大殿建築資金寄付感謝状) (寄付 金額収証一通・再建勸進拜觀証二枚添) 大本山増上 寺 大川伝十郎宛 明治四三年六月五日	一通才 五二
伊豆鏡古鑑並東海道伊豆国高付帳 延享五年五月	一冊才 五三
新美笑流活花伝書 慶応三年	半 二冊才 五四
切支丹宗門由来	半 一冊才 五五
天和三年割付写并元禄式年浮役米免状写 三津 村津元金指儀右衛門他	一綴力
丑ノ年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵藏 名主 百姓中宛 慶安二年十一月五日	一通力
卯歳三津御年貢可納割付 伊奈兵藏 名主百姓中 宛 慶安四年十一月	一通力
年貢役錢勘定仕方触書状 井上兵藏・福原作野右 衛門 申九月	一通力
午御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 三津村名主 ・組頭・百姓代宛 文化八年三月	一通力
(年貢先納金請取証文) 津田弾正割元伝左衛門 文政三年十二月	一通力
(年貢先納金請取証文) 三津村割元大川伝左衛門 三津村名主義右衛門宛 文政五年二月二〇日	一通力
(年貢先納金請取証文) 三津村割元大川伝左衛門 小坂村名主庄兵衛宛 文政六年一月二二日	一通力
(年貢先納金請取証文) 三津村割元大川伝左衛門 小坂村名主庄兵衛宛 文政六年四月四日	一通力
(年貢先納金請取証文) 三津村割元大川伝左衛門 三津村名主義右衛門宛 文政六年四月五日	一通力
(立漁分一請取手形) 伊藤与右衛門 津本佐助宛 承応二年六月一三日	一通力

三津村金指家文書目録 (文書記号 23Z59)

(三津村番所屋敷地相払ニ付落札金請取証文) 葛岡才藤治・高田源右衛門・井上茂右衛門 三津村 名主寛右衛門宛 宝永八年一月	一通才 五四
(屋敷売渡証文控) 三津村武左衛門 清右衛門宛 享保一四年六月	一通才 五五
(屋敷売渡証文控) 三津村武左衛門 治兵衛宛 寛延三年十一月	一通才 五六
紛散帳 三津村伝左衛門親類惣代義右衛門・弥助 文政八年二月	一冊才 五七
(伝左衛門跡式潰シ退身ニ付一札) 親類義衛門 ・俊助・半左衛門 伝左衛門宛	一通才 五八
(三津村外五ヶ村収納米為引当金子借用証文) 津田弾正内中安辰之進・渡辺犀輔 三津村大川伝左 衛門宛 文政四年四月	一通才 五九
(金子請取証文) 荻野源之進 三津村大川伝左衛 門宛 寅十一月二日	一通才 五〇
(日露戦役軍需品寄付感謝状) 東京府知事千家尊 福 内浦村大川伝十郎宛 明治三九年三月一日	一通才 五一
(大本山増上寺大殿建築資金寄付感謝状) (寄付 金額収証一通・再建勸進拜觀証二枚添) 大本山増上 寺 大川伝十郎宛 明治四三年六月五日	一通才 五二
伊豆鏡古鑑並東海道伊豆国高付帳 延享五年五月	一冊才 五三
新美笑流活花伝書 慶応三年	半 二冊才 五四
切支丹宗門由来	半 一冊才 五五
天和三年割付写并元禄式年浮役米免状写 三津 村津元金指儀右衛門他	一綴力
丑ノ年三津村御年貢可納割付状 伊奈兵藏 名主 百姓中宛 慶安二年十一月五日	一通力
卯歳三津御年貢可納割付 伊奈兵藏 名主百姓中 宛 慶安四年十一月	一通力
年貢役錢勘定仕方触書状 井上兵藏・福原作野右 衛門 申九月	一通力
午御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 三津村名主 ・組頭・百姓代宛 文化八年三月	一通力
(年貢先納金請取証文) 津田弾正割元伝左衛門 文政三年十二月	一通力
(年貢先納金請取証文) 三津村割元大川伝左衛門 三津村名主義右衛門宛 文政五年二月二〇日	一通力
(年貢先納金請取証文) 三津村割元大川伝左衛門 小坂村名主庄兵衛宛 文政六年一月二二日	一通力
(年貢先納金請取証文) 三津村割元大川伝左衛門 小坂村名主庄兵衛宛 文政六年四月四日	一通力
(年貢先納金請取証文) 三津村割元大川伝左衛門 三津村名主義右衛門宛 文政六年四月五日	一通力
(立漁分一請取手形) 伊藤与右衛門 津本佐助宛 承応二年六月一三日	一通力

(立物金請取証文) 榎原喜兵衛・石井十左衛門
津元伝左衛門宛 慶安二年六月晦日 一通力 三

魚漁分一ニ付廻状 葦山江川太郎左衛門役所 井
田村・小海村・三津村各名主・与頭・惣百姓宛 寅五
月一〇日 一通力 三

(村木積船運上改覚) 重須村・足保村・久料村・
古字村 長浜村役所宛 酉二月・三月 一綴力 四

(金指方網戸四分一永代壳渡シ証文) 三津村本
人軍兵衛他 三津村伝左衛門宛 寛文一〇年一二月二
六日 一通力 五

(網戸株代金覚) 一通力 六

(網仕立入用書上写) 三津村津元久左衛門他 江
川太郎左衛門役所宛 明和六年九月(文政元年一〇月
一七日写) 一通力 七

(難船詫一札) 本人久助他 村役人衆中宛 天保一
四年一月 一通力 六

(内浦会社株金預り証) 内浦会社取扱人土屋伊八
郎他 三津村金指久平宛 明治一四年三月二〇日 一二通力 元

(重須村三久保網戸差留訴訟ニ付約定書) 君沢
郡長浜村・三津村・小海村各代表 明治一八年五月二
一日 一通力 五

内浦村三津漁業場証拠書類写 漁業惣代人金指儀
右衛門 郡役所宛 明治一七年 半 一綴力 三

(漁業法施行規則ニ依り代表者選定届控) 静岡
県田方郡内浦村 明治三六年六月二十九日 半 一冊力 三

(地先水面専用漁業・定置漁業・特別漁業免許
願書扣) 静岡県田方郡内浦村三津浜漁業組合理事
金指弥左衛門 農商務大臣清浦奎吾・静岡県知事亀井
美之助宛 明治三七年五月一四日 半 一綴力 三

地先水面専用漁業免許願〔付属書類添〕 静岡県
田方郡内浦村三津浜漁業組合理事金指弥左衛門 農商
務大臣男爵清浦奎吾宛 明治三七年五月一四日 一綴力 三

(三津・小海・長浜・重須入会専用漁業免許願
ニ付委員選挙・予算覚書) 内浦・小海・三津・長
浜・重須各村漁業者惣代二名 明治三八年六月四日 一通力 四

(金子借用証文) 甚右衛門他 三津村儀右衛門宛
天保九年一二月 一通力 六

(金子借用証文) 栗原茂左衛門他 六ヶヶ村取締三津
村金指儀右衛門宛 天保一〇年五月 一通力 七

(御勝手江借入金年賦割済証文) 間部専司・中安
辰之進 三津村金指儀右衛門宛 嘉永元年五月 一通力 六

(御勝手江借入金年賦割済証文) 間部専司・中安
辰之進 豆州君沢郡三津村他四ヶヶ村村役人宛 嘉永元
年五月 一通力 元

(御勝手江借入金年賦割済証文) 間部専司・中安
辰之進 豆州君沢郡六ヶヶ村村役人宛 嘉永元年五月 一通力 三

(借金証書預り証文) 内田信一郎 金指弥左衛門
宛 明治一八年一二月二八日 一通力 四

栗原茂左衛門・小口泰助・中安辰之進書狀 金指儀右衛門宛 三月一三日

一通力 三

金指儀右衛門書狀包紙 中安辰之進・小口泰助・栗原茂左衛門宛 三月四日

一通力 三

稲村総左衛門書狀 金指御尊父宛 四月一六日

一通力 三

野口本之助・菊地与右衛門書狀包紙 三津村金指孫左衛門宛 明治二〇年一〇月二四日

一通力 三

三津村松本家文書目録

(文書記号 2325キ)

○漁割帳

諸魚水揚帳 三津村松本喜兵衛 文政二年正月

横長美大

一册キ 一

久伏五艘寄合扣 大仲間 嘉永六年八月

横長半

一册キ 二

○魚送り

荷物送留帳 三津村松本喜兵衛 文政五年正月

横長美大

一册キ 三

生魚駄賃帳 松本喜兵衛 天保四年正月

横長美大

一册キ 四

荷物送留帳 松本喜兵衛 天保一四年正月

横長美大

一册キ 五

送り船賃割 イ帳番 嘉永元年

横長半

一册キ 六

馬帳ひかへ キノ(紀伊国屋)半衛門 松本勘七宛 嘉永七年五月

横長半

一册キ 七

馬帳 紀伊国屋半右衛門 三卜仲間衆中宛

横長半

一册キ 八

馬帳付 紀伊店 松本勘七宛

横長半

一册キ 九

(魚送り状) 豆州三津松本勘七 紀伊国屋半右衛門・高藤・佃治宛 四月

一通キ 一〇

(魚池与宛送り状) 九月

一通キ 一一

○

(魚代金渡状) 江戸日本橋横松弥兵衛(鱧節塩干屋)イ印(松本勘七)宛 安政三年二月

一通キ 一二

(諸魚・米・銭初売相場目録) 藤村六郎左衛門 松本勘七宛 正月二日

一通キ 一三

栗原茂左衛門・小口泰助・中安辰之進書狀 金指儀右衛門宛 三月一三日

一通力 三

金指儀右衛門書狀包紙 中安辰之進・小口泰助・栗原茂左衛門宛 三月四日

一通力 三

稲村総左衛門書狀 金指御尊父宛 四月一六日

一通力 三

野口本之助・菊地与右衛門書狀包紙 三津村金指孫左衛門宛 明治二〇年一〇月二四日

一通力 三

三津村松本家文書目録

(文書記号 2325キ)

○漁割帳

諸魚水揚帳 三津村松本喜兵衛 文政二年正月

横長美大

一册キ 一

久伏五艘寄合扣 大仲間 嘉永六年八月

横長半

一册キ 二

○魚送り

荷物送留帳 三津村松本喜兵衛 文政五年正月

横長美大

一册キ 三

生魚駄賃帳 松本喜兵衛 天保四年正月

横長美大

一册キ 四

荷物送留帳 松本喜兵衛 天保一四年正月

横長美大

一册キ 五

送り船賃割 イ帳番 嘉永元年

横長半

一册キ 六

馬帳ひかへ キノ(紀伊国屋)半衛門 松本勘七宛 嘉永七年五月

横長半

一册キ 七

馬帳 紀伊国屋半右衛門 三卜仲間衆中宛

横長半

一册キ 八

馬帳付 紀伊店 松本勘七宛

横長半

一册キ 九

(魚送り状) 豆州三津松本勘七 紀伊国屋半右衛門・高藤・佃治宛 四月

横長半

一通キ 一〇

(魚池与宛送り状) 九月

横長半

一通キ 一一

(魚代金渡状) 江戸日本橋横松弥兵衛(鱧節塩干屋)イ印(松本勘七)宛 安政三年二月

横長半

一通キ 一二

(諸魚・米・銭初売相場目録) 藤村六郎左衛門 松本勘七宛 正月二日

横長半

一通キ 一三

(魚代金算用書)	日本橋佃治	松勘宛	九月	六通キ	四
(魚代金算用書)	佃治	松かん宛	一〇月一五日	一通キ	五
(魚代金算用書)	今イ印〔松本勘七〕宛	巳年一〇月		一通キ	六
(魚代金算用書)	沼津古谷	三津松本勘七宛	一一月一四日	二通キ	七
(魚代金算用書)	佃治	松かん宛		一通キ	六
○魚仕切状					
仕切	豆州中佐美村商人中	三トまつ勘宛	四月晦日	一通キ	八
仕切	沼津中町池田清衛門	三津松本勘七宛	三月朔月	一通キ	九
仕切	沼津仲町池田清衛門	三津松本勘七宛	六月二二日	一通キ	三
し切	沼津仲町池田清三郎	三津松本勘七宛	一月一〇日	三通キ	三
仕切	駿州沼津中町池情	三津村松本勘七宛	七月九月	一通キ	三
仕切	駿州沼津魚町池田与三郎	松本勘七宛	閏七月二七日	一通キ	四
仕切	駿州沼津池田与三郎	池田長平・網子衆中宛	九月二〇日	一通キ	五
仕切	駿州沼津仲町長善	三ト村松本勘七宛	閏七月二九日	一通キ	六
仕切	駿州清水湊芝野栄七	うむス村内田忠七舟・長浜村近江屋万兵衛舟・うむス村漁船仲間衆中宛	八月一〇日	一通キ	七

仕切	清水湊八木勘七	松本勘七宛	巳年二月九日	一通キ	六
仕切	紀伊国屋半右衛門	松本勘七宛	四月一三日	一通キ	元
仕切	豆州網代紀伊国屋半右衛門	三津松本勘七宛	六月八日	一通キ	三
仕切	紀伊国屋半右衛門	松本勘七宛	一二月一三日	一通キ	三
仕切	紀伊国屋順藏	松本勘七宛	一〇月一日	一通キ	三
仕切	駿州由井今宿笠月藤八・杉本長七	三津村松本勘七宛	五月九日	二通キ	三
仕切	小舟町大坂や	松本勘七宛	正月二六日	一通キ	四
仕切	高藤〔高根屋〕	松本勘七宛	丑年六月一日	一通キ	五
仕切	高藤	三ト松本勘七宛	申年四月一三日	一通キ	六
仕切	高藤	三ト松勘宛	申年四月一四日	一通キ	七
仕切	高藤	三ト松勘宛	申年四月二四日	一通キ	八
仕切	高藤	三ト松勘宛	申年四月二八日	一通キ	九
仕切	高藤	松勘宛	酉年一月一九日	一通キ	〇
仕切	本船町高根屋	松勘宛	戌年六月七日	一通キ	一
仕切	本船町高根屋	松本勘七宛	亥年三月・四月	六通キ	二
仕切	高藤	三ト松勘宛	亥年五月一七日	一通キ	三
仕切	高藤	勘衛門宛	四月二八日	一通キ	四
仕切	高藤	三ト松本勘七宛	五月三一日	一通キ	五
仕切	高藤	三ト松勘宛	五月四日	一通キ	六
仕切	高藤	松勘宛	六月二二日	一通キ	七

仕切	高藤 松本勘七宛 八月・九月	一〇通キ	罌
仕切	高藤 三津松本勘七宛 九月二一日・九月二九日	二通キ	罌
仕切	本船町高根屋 松本勘七宛 一〇月一〇日	一通キ	罌
仕切	本船町高根屋 三津松本勘七宛 一〇月一六日	一通キ	罌
仕切	高藤 松本勘七宛 一〇月	一通キ	罌
仕切	高藤 三下松勘宛 一二月一〇日	一通キ	罌
仕切	高藤 三下松勘宛	一通キ	罌
仕切	高藤 三下松勘宛	一通キ	罌
し切	高根屋藤吉・日本橋今津屋源右衛門・日本橋佃屋次郎吉他四名 松勘他二名宛 午年一〇月一五日	一通キ	罌
仕切	日本橋安針町藤吉 才持分宛 三月一六日	一通キ	罌
仕切	日本橋四日市尾屋久右衛門 松本勘七宛	一通キ	罌
仕切	日本橋四日市尾屋情右衛門 松本勘七宛 寅年一〇月	一通キ	罌
仕切	江戸日本橋植松弥兵衛 松本勘七宛 安政三年一二月	一通キ	罌
仕切	江戸日本橋四日市越後や与兵衛 松本勘七宛 閏七月二七日	一通キ	罌
仕切	江戸日本橋野田孫 松勘宛 未年一〇月一七日	一通キ	罌
仕切	江戸小舟町植松や弥兵衛 松本勘七宛 未年一二月	一通キ	罌
仕切	日本橋佃治 まつかん宛 三月四日	一通キ	罌
仕切	日本橋佃治 松かん宛 三月二日	一通キ	罌
仕切	江戸日本橋佃治 三津村松本勘七宛 亥年四月	四通キ	罌

仕切	江戸日本橋佃治 松勘宛 四月一三日	一通キ	罌
仕切	江戸日本橋佃治 まつかん宛 四月二四日	一通キ	罌
仕切	日本橋佃治 まつかん宛 四月二八日	一通キ	罌
仕切	江戸日本橋佃治 松勘宛 五月四日	一通キ	罌
仕切	日本橋佃治 松勘宛 五月二一日	一通キ	罌
仕切	日本橋佃治 松勘宛 六月一日	一通キ	罌
仕切	江戸日本橋佃屋治良吉 松本勘七宛 一二月九日	一通キ	罌
仕切	日本橋佃治 まつかん宛	一通キ	罌
仕切	日本橋佃治 松勘宛	一通キ	罌
日庸帳	松本氏 明治四年七月四日	一册キ	罌
日庸帳	明治五年五月一六日	一册キ	罌
当座帳	松本喜兵衛 天保一四年	一册キ	罌
	(大全塵功記代金上納記) 書林山城屋 上宛 亥年六月五日	一通キ	罌
	(因印影)	一通キ	罌

長浜村大川家(屋号大家)文書目録

(文書記号 23Z57)

御定免御請証文 長浜村名主・与頭・百姓代・惣百姓 葦山役所宛 文化二年八月	一冊ク	半
長浜村午御年貢手形入 元文三・四年	一通ク	二
内浦組長浜村辰之御成ケ勘定目録 長浜村名主・組頭 代官宛 元禄二年	一通ク	三
(名主給・浜塩鯛ニ付上申書控) 善左衛門・七左衛門 伊藤権左衛門宛 慶安三年十一月一六日	一通ク	四
(浜塩鯛負担出入裁決ニ付差上申手形控) 先名主忠右衛門・年寄惣兵衛他二名	一通ク	五
(立物年貢代金請取手形) 榑原喜兵衛 長浜村津元惣兵衛宛 承応元年七月晦日	一通ク	五
(役金請取状) 大名主儀右衛門 長浜村四郎左衛門宛 宝永七年三月一五日	一通ク	六
(役錢皆済状) 彦坂小刑部 長浜郷名主・百姓中宛 申年(慶長一三年九) 七月八日	一通ク	七
(分一他請赦免願書控) 重寺村・三津村・長浜村・井田村名主・組頭・百姓代 葦山役所宛 申年三月一三日	一通ク	八
(網度預り証文) 大川惣兵衛・大川四郎左衛門 渡辺宇平次宛 寛文六年一月一一日	一通ク	九

(一俣網度仕立并役錢請納申付状写) 彦坂刑部松下法船宛 申年一月一九日	一通ク	一〇
(五郎左衛門方網小屋諸道具流失ニ付拝借仕候金子取立帳) 宝曆二一五年	一綴ク	二
(法船方網舟包換雜費記)	一綴ク	三
(漁割覚)	一通ク	三
(漁業妨害防止之件書類) 原告菊地弥助外六名・被告杉山勘七外三名 明治二一・二七年	二〇通ク	一四
(長浜と重須田地網度出入一件ニ付書状控) 大河若狭 亥年三月七日	一通ク	一五
〇 絵 図		
(重寺村略絵図)	28×37	一 鋪ク
木負村絵図	37×39	一 鋪ク
(足保村略絵図) 足保村副戸長・戸長	39×27	一 鋪ク
(久連村略絵図)	26×21	一 鋪ク
重寺多嶋合口定置漁場絵図 秋山六右衛門・加藤三郎左衛門・室伏嘉六・大川重蔵	27×38	一 鋪ク
(内浦村々地先海面絵図)	46×32	一 鋪ク
(内浦村々網戸場絵図)	62×36	一 鋪ク
(内浦村之網戸場絵図)	117×137	一 鋪ク
伊豆国君沢郡長浜村水場川流域図面 君沢郡長浜村副戸長・戸長	27×37	一 鋪ク
伊豆国河川流域図面	28×39	一 鋪ク
豆州君沢郡河内村御林図	41×38	一 鋪ク

横長半

○書狀

三津村伝左衛門書狀 長浜村大川要助宛

一通ク 三

大阪玉造本庄式部輔下屋敷野間善兵衛書狀〔沼津止宿ニ付問合〕 大川小文次宛 正月二二日

一通ク 六

佃屋次郎吉・和泉屋林藏書狀〔商売引立願〕 大川四郎左衛門宛 一月一五日

一通ク 元

秋山文輔書狀 長浜村大川小文治宛 戊午〔寛政一〇〕年六月二日

一通ク 三

小海村八郎左衛門書狀〔浜塩鯛之準備催促〕 長浜村四郎左衛門宛 一二月二三日

一通ク 三

〔彦根家中大家長兵衛書狀届書〕 高田弥三左衛門大川四郎左衛門宛 四月一日

一通ク 三

彦坂久兵衛書狀包紙

一通ク 三

長浜村大川四郎左衛門書狀〔大川家由緒ニ付〕 江州彦根家中大川権十郎宛 三月一八日・三月二五日

一通一綴ク 三

〔井伊掃部頭御内大家長兵衛書狀拜見覚書控〕 大川四郎左衛門・愚岡要助

一通ク 三

六ヶ浦代長浜村名主小文次書狀〔餌飼差留願被聞入ニ付〕 三保村・古字村・足保村・久料村役人中宛 三月二七日

一通ク 三

○ (畑永代壳渡証文) 重須村五郎右衛門 長浜村惣兵衛宛

一通ク 三

(魚供養碑拓本) 奈良屋漁者頭与次兵衛・同業網衆中 正徳五年一〇月一五日

34×118 一鋪ク 三

御旅宿之儀願書并御見分御吟味ニ付品々被御渡候趣御請書帳 豆州君沢郡訴訟方六ヶ村・駿州駿東郡相手獅子浜村 明治二二年八月

半 一冊ク 三

平藏出入内済証文包紙 親類半兵衛・嘉七 重須伊八・三津伝左衛門・葦山宿茂右衛門宛 寛政五年二月

一通ク 三

〔河内山樟木御林守ニ付口上書下書〕 (文政一三年)

一通ク 四

〔難船吟味請書〕 積合荷主勘七他五名・長浜村荷主忠治郎 村役人衆中宛 天保一五年二月一四日

一通ク 四

田地証文包紙 嘉永元年二月

一通ク 三

古証文六本入包紙 万延元年改

一通ク 三

海面拜借願書写〔証拠書類添〕 第四大区四小区伊豆国君沢郡重寺村漁業津元土屋平二右衛門・室伏嘉七郎・秋山六右衛門・加藤三郎左衛門 明治九年二月一二日

一綴ク 四

(諸品代金相済覚) 多七 長浜村四郎左衛門宛 辰年七月

一通ク 三

(江戸路金渡状) 八右衛門 四郎左衛門宛 七月二日

一通ク 三

(返済金請取状) 玉沢役僧 長浜村四郎左衛門宛 巳年四月一九日

一通ク 三

(諸品代金相済覚) 川口勇介 大河要助宛

一通ク 三

(鱒代金・運賃覚) 菊地忠助 大川小文次宛

一通ク 三

(酒代金覚断簡) 酒屋長七 惣助宛 辰年七月一日

一通ク 三

(酒代金勘定書) 酒屋七郎衛門 大川用助宛 辰年五月

一綴ク 三

(酒代金勘定書) 酒屋七郎衛門 大川用助宛 辰年七月

一綴ク 三

(金子渡状) 江戸鉄砲洲大嶋屋三右衛門 一通ク 五

(魚仕切状) 沼津池田与三郎・池永助七 長浜津元 四通一綴ク 五

衆中宛 四月十五日・七月七日 (米預り証文) 重須村源十 弥吉宛 とうり二月二 八日 一通ク 五

戌亥兩年御指紙包紙 一通ク 五

吉利支丹宗旨御改証文 遠州浜松入野郷証人名主 武兵衛・孫八郎、臨江寺 長浜村年寄中宛 寛文五 年二月 一通ク 毛

長浜村大川家(屋号北方)文書目録

(文書記号 23Z57)

貢租

割付

○割付状

寅歳長浜村御年貢可納割付状 小林彦五郎 名主 一通ク 一

・百姓中宛 寛永一五年一月十六日 戊御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組 一通ク 四

頭・惣百姓宛 寛政二年一〇月 戊御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組 一通ク 八

頭・惣百姓宛 享和二年一〇月 午御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組 一通ク 五

頭・惣百姓宛 文化七年一〇月 長浜村已租税可納割付状 蕪山県 名主・組頭・ 一通ク 六

惣百姓宛 明治二年一〇月 卯御割付写 一通ク 七

○小割付帳

丑年御取箇小割帳 河原清兵衛 長浜村名主・百 姓宛 (享保六年) 一通ク 二

辰年小割帳 河原清兵衛 長浜村名主・百姓宛 (享保九年) 一二月 一冊ク 三

横長半

(金子渡状) 江戸鉄砲洲大嶋屋三右衛門 一通ク 五

(魚仕切状) 沼津池田与三郎・池永助七 長浜津元 四通一綴ク 五

衆中宛 四月十五日・七月七日 (米預り証文) 重須村源十 弥吉宛 とうら二月二 八日 一通ク 五

戌亥兩年御指紙包紙 一通ク 五

吉利支丹宗旨御改証文 遠州浜松入野郷証人名主 武兵衛・孫八郎、臨江寺 長浜村年寄中宛 寛文五 年二月 一通ク 毛

長浜村大川家(屋号北方)文書目録

(文書記号 23Z57)

貢租

割付

○割付状

寅歳長浜村御年貢可納割付状 小林彦五郎 名主 一通ク 一

・百姓中宛 寛永一五年一月十六日 戊御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組 一通ク 四

頭・惣百姓宛 寛政二年一〇月 戊御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組 一通ク 八

頭・惣百姓宛 享和二年一〇月 午御年貢可納割付状 江川太郎左衛門 名主・組 一通ク 五

頭・惣百姓宛 文化七年一〇月 長浜村已租税可納割付状 蕪山県 名主・組頭・ 一通ク 六

惣百姓宛 明治二年一〇月 卯御割付写 一通ク 七

○小割付帳

丑年御取箇小割帳 河原清兵衛 長浜村名主・百 姓宛 (享保六年) 一通ク 二

辰年小割帳 河原清兵衛 長浜村名主・百姓宛 (享保九年) 一二月 一冊ク 三

横長半

(長浜村年貢小割付帳) 一 通ケ 九
戌年御指紙之割付帳 百姓三一名 横長半 一冊ケ 一〇

取立納入

○請取手形

(年貢先納金請取証文) 三津村割元大川伝左衛門 一通ケ 二
長浜村名主次郎兵衛宛 文化五年二月二〇日

子御年貢金請取通心 重須村仙右衛門 長浜村四郎左衛門宛 宝永五年一〇月一四日 一通ケ 三

(申租稅役永請取手形) 戸長木負村相磯半左衛門 一通ケ 三
長浜村大川四郎左衛門宛 明治六年一月

(未租稅諸役請取手形) 名主大川忠左衛門 大川 一通ケ 四
四郎左衛門宛

(申租稅諸役請取手形) 戸長海瀨八郎 大川四郎 一通ケ 五
左衛門宛

(申租稅諸役請取手形) 戸長相磯半左衛門 大川 一通ケ 六
四郎左衛門宛 (明治六年) 酉一月三一日

(諸役請取手形) 久連村 長浜村四郎左衛門宛 未 一通ケ 七
一二月

(年貢諸役請取帳) 元禄一六年 一冊ケ 六

(丑御年貢皆濟手形) 三津村割元伝左衛門 長浜 一通ケ 九
村名主・組頭衆中宛 文化一四年一月一五

○勘定目録

(正徳四年御年貢勘定目録) 長浜村名主 正徳五 一通ケ 三
年六月六日

(正徳五未御年貢勘定目録) 長浜村名主四郎左衛 一通ケ 三
門 正徳六年六月一七日

(辰年御物成上納勘定目録) 長浜村名主四郎左衛 一通ケ 三
門・組頭治部左衛門・百姓代与兵衛他三名 役所宛 元文二年三月

(巳年御物成上納勘定目録) 長浜村名主・組頭・ 一通ケ 四
百姓代 役所宛 元文三年二月

(申年御物成上納勘定目録) 長浜村名主六郎左衛 一通ケ 五
門・組頭治部左衛門・百姓代平左衛門他四名 元文六 年二月

(戌御物成上納勘定目録) 長浜村名主・組頭・百 一通ケ 六
姓代 役所宛 寛保三年二月

(未御成物勘定目録) 長浜村百姓代・組頭・庄屋 一通ケ 六
懸下孫右衛門宛 宝曆一年一二月

(亥御年貢米小物成勘定目録) 庄屋四郎左衛門 一通ケ 七
懸下孫右衛門宛 宝曆五年一二月

(丑御年貢米金上納勘定目録) 長浜村組頭・庄屋 一通ケ 八
懸下孫右衛門宛 宝曆七年一二月

(卯御年貢米金上納勘定目録) 組頭平右衛門・庄 一通ケ 九
屋四郎左衛門 懸下孫右衛門宛 宝曆九年一二月

(辰御年貢米金上納勘定目録) 長浜村組頭平右衛 一通ケ 十
門・庄屋要助 懸下孫右衛門宛 宝曆一〇年一二月

(巳御年貢米金上納勘定目録) 長浜村組頭・庄屋 一通ケ 十一
懸下孫右衛門宛 宝曆一一年一二月

(未御年貢米金上納勘定目録) 長浜村組頭・庄屋
宝曆一三年一二月

一通ケ 二〇

○皆済目録

酉御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 長浜村名主

一通ケ 三三

・組頭・惣百姓宛 享和二年三月

戌御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 長浜村名主

一通ケ 三二

・組頭・惣百姓宛 享和三年三月

亥御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 長浜村名主

一通ケ 三一

・組頭・惣百姓宛 文化元年三月

子御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 長浜村名主

一通ケ 三〇

・組頭・惣百姓宛 文化二年三月

寅御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 長浜村名主

一通ケ 二九

・組頭・惣百姓宛 文化四年三月

卯御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 長浜村名主

一通ケ 二八

・組頭・惣百姓宛 文化五年三月

辰御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 長浜村名主

一通ケ 二七

・組頭・惣百姓宛 文化六年三月

巳御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 長浜村名主

一通ケ 二六

・組頭・惣百姓宛 文化七年

午御年貢皆済目録 江川太郎左衛門 長浜村名主

一通ケ 二五

・組頭・惣百姓宛 文化八年三月

去酉御年貢米永皆済目録 小口泰助・中安辰之進
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文政九年一月一八日

一通ケ 二四

申御年貢米永皆済目録 佐藤利右衛門・渡辺清喜
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文化一〇年一月

一通ケ 二三

(去酉年御年貢皆済目録) 栗原潤次郎他三名 長
浜村名主・組頭・惣百姓宛 文化一二年一月

一通ケ 二二

戌御年貢米永皆済目録 栗原潤次郎・渡辺清蔵
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文化一二年一月

一通ケ 二四

亥御年貢米永皆済目録 栗原潤次郎・渡辺清蔵
長浜村名主・組頭宛 文化一三年一月

一通ケ 二三

子御年貢米永皆済目録 栗原潤次郎・渡辺清蔵
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文化一四年

一通ケ 二二

丑御年貢米永皆済目録 渡辺清蔵・荻野源之進
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文化一五年一月

一通ケ 二一

辰御年貢米永皆済目録 中安辰之進・渡辺犀輔
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文政四年一月

一通ケ 二〇

巳御年貢米永皆済目録 中安辰之進・渡辺犀輔
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文政五年一月

一通ケ 一九

午御年貢米永皆済目録 中安辰之進・渡辺犀輔
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文政六年三月

一通ケ 一八

去未御年貢米永皆済目録 中安辰之進・渡辺犀輔
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文政七年一月一八日

一通ケ 一七

去申御年貢米永皆済目録 中安辰之進・源辺犀輔
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文政八年一月一八日

一通ケ 一六

去戌御年貢米永皆済目録 小口泰助・中安辰之進
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文政一〇年一月一八日

一通ケ 一五

去子御年貢米永皆済目録 小口泰助・中安辰之進
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文政一二年一月一八日

一通ケ 一四

去丑御年貢米永皆済目録 栗原茂左衛門他二名
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 文政一三年一月

一通ケ 一三

去寅御年貢米永皆済目録 栗原茂左衛門他二名
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 天保二年一月

一通ケ 一二

去卯御年貢米永皆済目録 栗原茂左衛門他二名
長浜村名主・組頭・惣百姓宛 天保三年一月一八日

一通ケ 一一

去辰御年貢米永皆濟目錄 栗原茂左衛門他二名
 名主・組頭・惣百姓宛 天保四年一月 一通ケ 五
 (去午御年貢米永皆濟目錄) 栗原茂左衛門他二名
 名主・組頭・惣百姓宛 天保六年一月 一通ケ 六
 去未御年貢米永皆濟目錄 栗原茂左衛門他二名
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 天保七年一月 一通ケ 六
 去申御年貢米永皆濟目錄 栗原茂左衛門他二名
 名主・組頭・惣百姓宛 天保八年一月 一通ケ 三
 去酉御年貢米永皆濟目錄 栗原茂左衛門他二名
 名主・組頭・惣百姓宛 天保九年一月 一通ケ 三
 去戌御年貢米永皆濟目錄 栗原茂左衛門他二名
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 天保一〇年一月 一通ケ 六
 去亥御年貢米永皆濟目錄 栗原茂左衛門他二名
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 天保一一年一月 一通ケ 三
 去子御年貢米永皆濟目錄 栗原茂左衛門・中安辰
 之進 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 天保一二年一月 一通ケ 六
 去丑御年貢米永皆濟目錄 間部專司他二名 長浜
 村名主・組頭・惣百姓宛 天保一三年一月 一通ケ 三
 去寅御年貢米永皆濟目錄 間部專司・中安辰之進
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 天保一四年一月 一通ケ 六
 去卯御年貢米永皆濟目錄 間部專司・中安辰之進
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 天保一五年一月 一通ケ 六
 去御年貢米永皆濟目錄 間部專司・中安辰之進
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 弘化二年一月 一通ケ 七
 去巳御年貢米永皆濟目錄 間部專司・中安辰之進 長
 浜村名主・組頭・惣百姓宛 弘化三年一月 一通ケ 七
 去午御年貢米永皆濟目錄 間部專司・中安辰之進
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 弘化四年一月 一通ケ 三

去未御年貢米永皆濟目錄 間部專司・中安辰之進
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 弘化五年一月 一通ケ 三
 去申御年貢米永皆濟目錄 間部專司・中安辰之進
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 嘉永二年一月 一通ケ 六
 去酉御年貢米永皆濟目錄 間部專司・中安辰之進
 名主・組頭・惣百姓宛 嘉永三年一月 一通ケ 三
 去亥御年貢米永皆濟目錄 間部專司・中安辰之進 長
 浜村名主・組頭・惣百姓宛 嘉永五年一月 一通ケ 三
 去子御年貢米永皆濟目錄 中安百助他二名 長浜
 村名主・組頭・惣百姓宛 嘉永六年一月 一通ケ 七
 去丑御年貢米永皆濟目錄 中安百助他二名 長浜村名
 主・組頭・惣百姓宛 嘉永七年一月 一通ケ 六
 去寅御年貢米永皆濟目錄 中安百助他二名 長浜
 村名主・組頭・惣百姓宛 安政二年一月 一通ケ 六
 去卯御年貢米永皆濟目錄 広瀬新五兵衛他三名 長浜
 村名主・組頭・惣百姓宛 安政三年一月 一通ケ 六
 去辰御年貢米永皆濟目錄 広瀬新五兵衛 他三名
 長浜村名主・組頭・惣百姓宛 安政四年一月 一通ケ 六
 去巳御年貢米永皆濟目錄 中安百助他二名 長浜
 村名主・組頭・惣百姓宛 安政五年一月 一通ケ 三
 去午御年貢米永皆濟目錄 中安百助他二名 名主
 ・組頭・惣百姓宛 安政六年一月 一通ケ 三
 去未御年貢米永皆濟目錄 中安百助他三名 長浜
 村名主・組頭・惣百姓宛 安政七年一月 一通ケ 六
 去申御年貢米永皆濟目錄 中安百助他二名 長浜
 村名主・組頭・惣百姓宛 万延元年一月 一通ケ 三
 去酉御年貢米永皆濟目錄 中安辰之進他二名 長
 浜村名主・組頭・惣百姓宛 文久二年一月 一通ケ 六

去御年貢米永皆済目録 村名主・組頭・惣百姓宛 慶應三年一月	中安辰之進他二名 長浜	一通ケ	六	長浜村古来未進負人退転之詔人別書付 長浜村 名主四郎左衛門・組頭忠左衛門・長百姓平兵衛他二 名 横長半	一冊ケ	六
去亥御年貢米永皆済目録 浜村名主・組頭・惣百姓宛 慶應四年一月	伊東善之助他三名 長	一通ケ	六	内浦小物成帳 (慶長頃)	半	一冊ケ 〇二
去子御年貢米永皆済目録 浜村名主・組頭・惣百姓宛 元治二年一月	伊東善之助他三名 長	一通ケ	六	諸 役		
去丑御年貢米永皆済目録 浜村名主・組頭・惣百姓宛 慶應二年一月	伊東善之助他四名 長	一通ケ	六	孫四郎才覚を以申事返答書控(網度錢出入二付) 大川蓮昭入道・又太郎事宮松 代官宛 (慶長以前)	一通ケ	〇〇
去寅御年貢米永皆済目録 去卯御年貢皆済目録 伊東善之助他四名 長 慶應三年一月	伊東善之助他四名 長 慶應四年一月	一通ケ	六	御覚孫四郎指上申相書付控(網度錢出入二付) 蓮昭入道 又右衛門・内蔵助宛 丑二月一〇日	一通ケ	〇三
未租稅皆済目録 足柄県庁 長浜村名主・組頭・惣 百姓代宛 (明治五年)三月	長浜村名主・組頭・惣 百姓代宛	一通ケ	六	(看役被免高役被仰付度訴狀控) 長浜村名主權 三郎・年寄四郎左衛門・平左衛門・惣百姓 代官宛 寛文九年閏一〇月七日	一通ケ	〇三
(年貢金納値段改願書) 三津村他四ヶ村各名主・ 長浜村組頭 地頭役所宛 慶應二年一月	三津村他四ヶ村各名主・ 長浜村組頭	一通ケ	六	(過役米御免訴狀) 長浜村權三郎 奉行宛 延宝 四年八月一八日	一通ケ	〇三
(石代金納値段引下願書) 六ヶ村各名主 取締両 名宛 寅一月	六ヶ村各名主 取締両 名宛	一通ケ	六	(網戸役米赦免訴訟ニ付定) 三津村他五ヶ村各代 表 權三郎・七郎左衛門・伝左衛門宛 延宝四年八月 一九日	一通ケ	〇四
(石代金納値段引下願書) 三津村五ヶ村各名主 取締羽田彦三郎・同清助宛 寅一月	三津村五ヶ村各名主 取締羽田彦三郎・同清助宛	一通ケ	六	(過役米赦免訴訟ヲ止メ網戸役米赦免訴訟ニ被 加度ニ付証文) 長浜村四郎左衛門・半左衛門 權 三郎宛 延宝四年八月一九日	一通ケ	〇五
(石代金納値段引下願書) 江梨村組頭・重寺村・ 長浜村各名主 地頭所役所宛 寅一月	江梨村組頭・重寺村・ 長浜村各名主 地頭所役所宛	一通ケ	六	(網戸役米未進金分担請狀) 長浜村本人四郎左衛 門・証人利左衛門 次兵衛宛 享保二年二月	一通ケ	〇六
(木負村年貢分未納之儀ニ付返答書控) 長浜村 三郎 代官宛 寛文七年二月二日	長浜村 三郎 代官宛	一通ケ	六	(門役免除規定留書) 三津村小前惣代・長百姓惣 代他 地頭所出役小口順之助宛 安政四年一月	一通ケ	〇七
				(浮役米軽減願立ニ付取決一札) 重寺村・三津村 ・長浜村・江梨村各名主・組頭・津元 慶應二年一〇 月	一通ケ	〇八

(上納浜塩鯛割付書) 木源右衛門 重寺村・小海村・長浜村各名主中宛 申四月三日

(菜浜塩鯛請取書包紙) 三嶋役所

(貸株酒造冥加請取手形) 江川太郎左衛門手代松岡正平他二名 長浜村四郎左衛門宛 申一月二日

○助郷役

(御巡見ニ付人馬繼立等書上控) 長浜村名主次郎兵衛・組頭一平次・百姓代宇兵衛 地方役所宛 天保九年二月

(去寅地震・津浪ニ付助郷役免除書控) 津田英次郎知行所長浜村名主忠左衛門・与頭平蔵・百姓代清七 出役飯原祐左衛門・梅沢九十郎宛 安政二年六月

(助郷役免除願書控) 長浜村名主・組頭 論所地 改森惣蔵・平松圭助宛 安政三年八月

諸入用・人足

(乗古崎鹿狩入用割付帳) 元禄五年十一月 横長半 一冊ケ 二六

午年長浜村諸役入用帳 長浜村名主四郎左衛門・組頭忠左衛門・百姓三七名 享保一二年二月 横長半 一冊ケ 二七

船橋入用帳 横長半 一冊ケ 二八

(村々船・人足差出覚) 横長半 一冊ケ 二九

(人足・諸道具・材料用覚) 申五月 一通ケ 三〇

(人夫賃覚) 横長半 一綴ケ 三三

(大豆・酢・肴代等割付覚断簡) 一通ケ 三三

(諸入用覚) 横長半 一綴ケ 三三

分 一

(分一起源并納方御尋ニ付返答書写)(葦山役所之書付写添) 津田鉄太郎知行所長浜村名主・津元次郎兵衛他二名 分一請負人三津村儀右衛門宛 天保一四年七月

(分一起源并納方御尋ニ付返答書控) 三津村分一請負人津元伝左衛門・重寺村名主津元三郎左衛門・長浜村名主津元忠左衛門 葦山役所宛 嘉永七年三月

(立漁漁獲高並値段注進状)(立漁分一運上之為) 重寺村津元長浜村役所宛

(豆州内浦村々山方・浜方分一運上品々書上写)(享保) 横長半 一冊ケ 三三

重須村・久連村・立保村・古宇村・足保村・久料村・江梨村去九月十一月迄分一永書出シ帳 横長半 一冊ケ 三六

長浜付村々分一相納候品々覚 役所 長浜村付村々名主・組頭宛 卯一〇月 一通ケ 三九

○

御分一寄 安永九年 横長半 一冊ケ 三〇

子五月中御分一寄 一通ケ 三三

子六月中御分一寄 一通ケ 三三

子七月中御分一寄 一通ケ 三三

辰六月中御分一寄 一通ケ 三三

巳八月中御分一寄 一通ケ 三三

丑ノ九月卯ノ八月迄式年分立漁分一帳 横長半 一冊ケ 三三

○

(分一請取状) 高田作平 長浜付重寺村名主宛
(享保一三年) 六月

(分一請取状) 駿東郡我入道村名主平兵衛 長浜
村次郎兵衛宛 文政二二年二月

(山方分一請取手形) 重須村大庄屋土屋儀大夫
浜村名主・組頭宛 申一月三日

(長浜村役所付九ヶ村分一請負人名前并分一永
上納請取書改覽) 改人長浜村・重須村各名主 享
保

(長浜村漁方分一高勘定出入二付口上書控)
芝五郎四郎・芝甚五郎 三嶋役所宛 (享保一〇年)
巳二月一日

(重次郎分一請負二付高引被仰付度願書下書)
(享和二年)

(残年季分一上納請証文控) 請負人名主儀右衛門
・長浜村次郎兵衛 葦山役所宛 文政八年二月二〇
日

(諸分一上納請負二付規定書) 長浜村・三津村・
重寺村各津元 請負人三津村名主津元儀右衛門・長浜
村名主津元次郎兵衛・重寺村名主津元三郎左衛門宛
天保七年二月一日

重寺村・三津村・長浜村諸分一御請証文写 受
負人三津村儀右衛門・長浜村治郎兵衛 葦山役所宛
天保九年二月二一日

(魚漁分一請負取決書) 重須村魚漁分一請負人津
元名主俊助・同村加判津元組頭喜藤次 長浜村次郎兵
衛宛 天保九年四月

(新規山方・浜方分一赦免願書控断簡) 内浦一
ヶ村 役所宛 (享保)

(魚漁分一金軽減願書控) 三津村津元請負人佐左
衛門・長浜村名主津元忠左衛門・重寺村名主津元三郎
左衛門 葦山役所宛 安政四年閏五月

(分一帳印形違背二付内済証文控) 平藏・半兵
衛・嘉七 四郎左衛門宛 寛政五年二月

漁稼方

浦法

五艘寄合大手立規定書写 津元四郎左衛門・次郎
兵衛・二平次・へら取一〇名 文政八年

(鰯漁規定書写) 才治他九名 天保一四年閏九月

(浦法規定書写) 駿東郡我入道村他六ヶ村・君沢
郡長浜村他一〇ヶ村名主津元 弘化二年八月

(魚漁定法書指上書) (写共) 長浜村津元惣兵衛・
平左衛門・惣右衛門・忠左衛門 代官宛 慶安三年閏一
〇月七日

(内浦村々定法書上添状) (前欠) 大川惣兵衛 慶
安三年閏一〇月六日

(海面拝借之義二付内務省之達伝達書写) (願
書添) 大迫県令 岡田五等属宛 明治二年一月二八
日

一通ケ 一三

一通ケ 一三

一通ケ 一三

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

一通ケ 一四

(海面拝借ニ付漁業稼方約定書) 長浜村津元・漁業人惣代・立入人・戸長 明治一三年四月一九日

(海面使用約定書) (明治)

勝呂弥兵衛書状〔鱈等追釣ニ付〕 井田村・江梨村役人・津本中宛 六月三日

津元

(津元番定書) 文久二年閏八月

(五郎左衛門網戸津本株請返し出入ニ付返答書下書) (享保)

(津本株売渡証文) 三津村七郎左衛門 長浜村志左衛門宛 享保一〇年二月

(津元株取戻訴状) 三津村百姓七右衛門 地頭所役人宛 文化九年二月

(網戸株・津元株請返訴状控) 長浜村与頭一平次・親類平右衛門 蕪山役所宛 天保二年八月

(網戸株・津元株請返一件内済証文) 長浜村一平次・親類・取扱人 名主次郎兵衛宛 天保二年九月

(法船方津元株質入証文) 大川次郎兵衛 大川一平次宛 明治六年八月

(法船方津元株質入証文写) 長浜村大川治郎兵衛宛 長浜村一平次宛 明治七年五月

(津元株売渡年季中賄方ニ付証文控) 長浜村大川次郎兵衛 長浜村大川一平次宛 明治七年五月

網度

(網度持名前書上)

(重須村網度割合持名前書上)

(長浜村網組成員書上)

(網戸仕入覚) 忠治郎・宇兵衛 四郎左衛門宛 宝曆四年二月

なかい方半状仕入覚 長浜村本人忠治郎・宇兵衛 四郎左衛門宛 宝曆四年二月

(網戸売渡証文) 三津村徳兵衛 多比村七郎兵衛宛 寛文七年二月二八日

(網戸売渡証文) 三津村徳兵衛 重須村半右衛門宛 寛文七年二月二八日

(三津村徳兵衛長浜村二又方網戸転売ニ付訴状控) 長浜村権三郎 代官宛 寛文一〇年六月

(網戸売渡証文) 三津村庄右衛門 重須村半右衛門宛 寛文一〇年二月二八日

(網戸売渡証文) 長浜村太兵衛 口野村与市右衛門 正徳四年二月三日

(網戸売渡証文) 三津村七右衛門 長浜村次郎兵衛宛 享保二年二月

(網戸・網船売渡証文写) 三津村七右衛門 三津村重治郎宛 文化一〇年閏一月

一通ケ一英

一綴ケ一毛

一通ケ一英

一通ケ一瓦

一通ケ一六

一通ケ一六

一通ケ一三

一通ケ一三

一通ケ一三

一通ケ一五

一通ケ一六

一通ケ一六

一通ケ一六

一通ケ一六

一通ケ一七

一通ケ一七

一通ケ一七

一通ケ一三

一通ケ一三

一通ケ一五

一通ケ一五

一通ケ一七

一通ケ一七

一通ケ一七

(網戸質入証文控) 長浜村忠左衛門 沼津宿阿國屋次作宛 安政三年一月 一通ケ一八

(網戸質入証文下書) 長浜村本人忠左衛門他 長浜村弁之助宛 明治元年二月 一通ケ一八〇

(法船網戸株質入年季中之返済金并諸出金ニ付規定書) 長浜村大川忠次郎 長浜村大川治郎兵衛宛 明治六年七月 一通ケ一八

(引当網戸証書草稿) 大川治郎兵衛他 大川忠次郎宛 明治一三年 一通ケ一八三

(網戸代寛) 横長半 一通ケ一八三

重須村津元喜藤次・俊助書状(二又網戸立かけ中止申入) 長浜村津元四郎左衛門宛 一〇月二十九日 一通ケ一八四

重須村名主津元伊左衛門書状(網戸場所替出入ニ付) 長浜村・三津村・重寺村各津元宛 一月二〇日 一通ケ一八五

船・漁具

(網戸・網舟数書上) 一通ケ一八七

長浜来未年大網小繩仕入帳 長浜村津本四郎左衛門 弘化三年二月 横長半 一冊ケ一八六

(諸網数・目方・代価等書上) (明治) 半 一綴ケ一八九

(仕入網繩代金寛) 卯年 一通ケ一八〇

(長繩預り一札) 長浜村多助・作兵衛・忠二郎名主忠左衛門宛 元治元年五月 一通ケ一八二

(網屋借地証文) 大屋組中七右衛門他 治郎兵衛宛 文政元年一二年 一通ケ一八三

(網干場地所借用証文) 長浜村網子惣代・津元忠左衛門宛 万延元年一月 一通ケ一八三

(官民有未定之網干場割合取極ニ付差入申一札之証) 第八大区三・四小区長浜村地主惣代菊地治助他三名・村用掛り菊地宇兵衛 長浜村大川治郎兵衛宛 明治九年一月三〇日 一通ケ一八四

*明治一四年分器械持魚預り扣帳并器械持魚預り金持仕訳帳 明治一五年改 横長半 一冊ケ一八三

漁 割

(漁割帳) 横長半 一冊ケ一八五

(漁割帳) 丑四―五月 横長半 一綴ケ一八六

(漁割帳) 寅七月 横長半 一綴ケ一八七

(こわき法舟方漁割帳) 万治二年九月七日 横長半 一冊ケ一八八

(長浜村・重須村・三津村・小海村寄合漁割帳断簡) 明和七年四月一七日 横長半 一枚ケ一八九

(漁割帳) 長浜村四郎左衛門 吉田村与八郎・夫彦三郎 天明五年二月一四日 横長半 一綴ケ一九〇

(漁割帳) 長浜村四郎左衛門 三津村久次郎宛 天明五年二月二八日 横長半 一綴ケ一九一

(鮪漁割帳) 申四月二五日 横長半 一綴ケ一九二

(漁割帳) 横長半 一綴ケ一九三

(漁割帳) 横長半 一綴ケ一九四

(漁割帳) 横長半 一綴ケ一九五

(漁割帳)

(漁割帳) 明治九年五月一〇月

横長半 一綴ケ 三〇六
横長半 飯二冊ケ 三四

(小舗代金取分渡方覚帳) 長浜村四郎左衛門 三津村久治郎宛 辰二月二三日—同六月二七日

横長半 一冊ケ 三〇七

(漁割帳断簡)

(立漁水引・十五引・三分一運上高覚)

三枚ケ 二〇八
一通ケ 三〇九

(漁割覚) 用助 午七月二一日

一通ケ 三〇〇

(漁割覚断簡)

(浜丸高並値段覚) 重須津元久兵衛 長浜村役所宛 午九月一日・二三日

二通ケ 三三五

(漁獲高并代金覚)

一通ケ 三三七

(めじが漁獲高并代金覚)

横長半 一綴ケ 三三六

(立漁魚代金分配規定書取替書) 平蔵・忠左衛門・四郎左衛門 明治二年八月

一通ケ 三三三

明治一四年分器械持魚預り 扣帳并器械持魚預り 金持仕訳帳 明治一五年改

横長半 一綴ケ 三三三

魚 売 買

(鯛隠売証文) 長浜村本人九郎左衛門・三津村訴訟人市郎左衛門他二名 権三郎・惣兵衛宛 寛文四年一月二三日

一通ケ 三三八

(長浜村浪人不法魚買ニ付訴状控) 長浜村権三郎 代官宛 元禄二年九月二五日

一通ケ 三三九

(魚代金勘定取立願書控) 重寺村・三津村・長浜村各津元 沼津役所宛 安政三年八月一日

一通ケ 三三〇

(魚代金勘定出入為取替済口証文写) 訴訟方君沢郡重寺村・三津村・長浜村各津元、相手方駿東郡口野村源兵衛他 安政三年一〇月

一通ケ 三三三

(魚代金勘定取立願書) 長浜村・三津村各分一請負方津元 水野出羽守役人中宛 安政五年六月

一通ケ 三三三

(分一請負人と値段出入ニ付山方浜方へ出候品々仲買値段書出可申通達書写) 三嶋役所長 浜付村々名主・組頭宛 卯一〇月

一通ケ 三三三

(魚代金済書) 子八月三日

一通ケ 三三四

(魚代金算用書)

一通ケ 三三五

(御用煎海鼠俵物下買入人指名書) 江戸湊町買入方播磨屋市大夫・鎌屋九郎助・南茅場町差配人鮫屋忠助 寅一二月

一通ケ 三三六

魚 出 入

(網子不法鰯漁ニ付訴状控) 長浜村津元忠左衛門・惣兵衛 代官宛 寛文四年四月

一通ケ 三三七

(久連村とかます漁出入ニ付訴状控) 長浜村権三郎 代官宛 寛文九年九月

一通ケ 三三六

(立干網組と手操網組出入内済ニ付取決一札案) 長浜村立干網組惣代・手操網組惣代

一通ケ 三三九

(水野左近將監様へ御差紙拝見ニ付差出申一札控) 相手五ヶ村惣代三津村儀右衛門他二名 庄内屋半兵衛宛 文政七年八月二二日

一通ケ 三三〇

(小海村一件裁決請書控) 訴訟方小海村惣代名主 見習平兵衛・百姓友右衛門、相手方惣代長浜村百姓 四郎左衛門・三津村名主儀右衛門 文政七年一〇月 一一日

一通ケ 三三三

(不法鮪釣漁証文写) 沼津宿下河原町当人助右衛門・鮪釣漁行司幸七他二名 内浦筋片浜八ヶ村津元・網方衆中宛 弘化二年八月 一通ケ 二五

(鮪立網漁出入為取替内済証文差出書控) 三津村・小海村・重須村・長浜村・重寺村・木負村各津元・名主 江川太郎左衛門手代三浦剛藏宛 万延元年六月 一通ケ 二三

(不法釣漁差止願書控) 駿東郡口野村他四ヶ村名主・津元 沼津役所宛 万延元年八月 一通ケ 二三

(大津元長浜村四郎左衛門・三津村伝左衛門と之出入惣代依頼ニ付規定書) 長浜村・三津村・小海村各津元 明治七年六月一日 一通ケ 二三

(海面拝借願書写)〔静岡県よりの不許可指令書を奥書す〕 重寺村・小海村・三津村・長浜村・木負村惣代 (明治九年六月二四日) 一通ケ 三五

廻 船

浦之廻船御沙汰書写 撰津国兵庫辻村新兵衛・土佐浦戸篠原孫左衛門・薩摩房之津飯郷備前守 貞応二年三月一六日 (寛延二年写) 一通ケ 二六

(舟積改届書) 舟宿・名主 長浜村役所宛 申五月 横長半 一綴ケ 三七

(拾ヒ揚ケ錢箱預ケ置寛) 名主忠左衛門 七兵衛宛 安政二年一月二日 一通ケ 二六

(錢箱預り覚) 長浜村七兵衛 名主忠左衛門宛 安政二年一月二日 一通ケ 二六

(錢箱預り届書控) 長浜村名主忠左衛門他 羽田彦三郎宛 安政二年一月四日 一通ケ 二六

(流失金子預り覚控) 重須村役人代半十郎 長浜村名主忠左衛門宛 安政二年一月二日 一通ケ 二四

(拾ヒ揚ケ金子下付願書控) 長浜村役人惣代四郎左衛門・重須村役人惣代半重郎 地方役所宛 安政二年一月 一通ケ 二三

(流失金子請取証文) 重須村当人伊左衛門・立入人代組頭・名主 長浜村名主忠左衛門・組頭平藏・四郎左衛門宛 安政二年一月 一通ケ 二三

(重須村流失金子之義ニ付諸雜用金請取覚控) 長浜村拾ヒ主惣代七兵衛・名主忠左衛門 立入人三津村伝左衛門宛 安政二年一月七日 一通ケ 二四

村

村 況

(村明細書上控) 長浜村名主権三郎・年寄惣兵衛伴作平・坂井八郎兵衛宛 寛文七年四月八日 一通ケ 二四

(村高人別書上控) 津田英次郎知行所長浜村名主忠左衛門・組頭平藏 森惣藏・平松圭助宛 (安政三年) 辰六月二日 一通ケ 二四

村 法

(村定書) 長浜村役人 天保二年一月 一通ケ 二四

御改正ニ付取究書 (衣食住・諸儀礼の簡素化を規定) 一通ケ 二四

土地

午年長浜村名寄帳 寛永七年

(名寄帳)

(長浜村高書上控) 長浜村名主次郎兵衛・組頭一平次・百姓代七兵衛 地頭役所宛 文化二年一〇月

(官民有未定地所有定方願聞届書) 第一方面地租改正懸 明治二年三月一日

(埋葬地所用願聞届書) 第一方面地租改正係 明治二年三月一日

(官民有区分判定願聞届書) 静岡県令大迫貞清 明治二年九月五日

(官民有区分判定願聞届書) 静岡県令大迫貞清 明治二年九月一日

(長浜村反別地佃并地租書上書) 長浜村改租担当人高梨藤四郎・組合改租担当人源辺六左衛門 静岡県令大迫貞清宛 明治十三年一月一〇日

(田地請取覚) 利衛門 卯二月晦日

屋敷

(長浜村忠三郎屋敷不返ニ付訴状控) 長浜村權三郎 代官宛 元禄三年二月

(長浜忠三郎屋敷不返ニ付追訴状控) 長浜村權三郎 代官宛 元禄三年六月

(御料所之節之役家私代金請取覚) 大河四郎左衛門 長浜村名主宛 (享保一四年) 西七月一八日・閏九月七日

(居屋敷并家財質入証文)(後欠) 三津村七右衛門 天保二年一二月

村役人

(名主役依頼状) 百姓二七名 長浜村名主權三郎 宛 寛文六年一月二七日

(永代名主役仰付証文写) 勘定奉行 江梨村名主 平左衛門宛 宝曆三年一二月

山林

(刈敷山出入内済証文控) 三津村相手方重次郎・重須村扱入兵右衛門他七名 文化二年一〇月

(山林失火詫書控并村中取極書) 伊勢松親善七他 重須村名主俊助宛 文政七年一二月

(山林失火詫書) 伊勢松親善七他 重須村俊助宛 文政七年一二月

(津出場出入為取替濟口証文写) 河内村・木負村名主・組頭・百姓代 華山役所宛 嘉永四年一二月

(山林境取決熟談書) 三津村名主・組頭・百姓代・惣代組親・当人清助・親類二名・噯人七名 安政六年四月

拝借米金

(金子借用証文控) 長浜村津元惣兵衛・平左衛門・名主權三郎 代官宛 寛文八年三月一六日

(地震・津浪ニ付浮役軽減并金子拝借願書) 長浜村百姓代・与頭・名主津元・津元各一名、重寺村百姓代一名・津元二名・名主代津元一名、地頭所地方役所宛 嘉永七年一月二三日

(地震・津浪ニ付手当金下付覚) 小口順之助 三津村外二ヶ村津元共宛(嘉永七年) 一月二三日

(地震・津浪ニ付手当金下付覚) 小口順之助 長浜村村役人宛(嘉永七年) 一月二三日

(拝借米返納延期願書控) 長浜村 嘉永七年一月

(米拝借証文) 三津村他三ヶ村各名主・組頭・百姓代 地頭役所宛 慶応元年二月

地震

(地震・津浪被害書上控) 長浜村百姓代金左衛門・組頭平蔵・名主忠左衛門 割元取締三津村羽田彦三郎宛 嘉永七年一月五日

(地震・津浪ニ而押流れ候居家再建申度ニ付一札下書) 大助 村役人衆中宛 安政三年七月

(嘉永七年地震・津浪被害書上写差出書控) 津田英次郎知行所長浜村百姓代清七・組頭平蔵・名主忠左衛門 論地改森惣蔵・平松圭助宛 安政三年八月

寺社

氏康書状写(二通) 金剛王院同宿中宛
僧正融山書状写(二通) 小田原人々御中宛

重須村久兵衛書状(安養寺願書下書認めニ付) 長浜村大川用助宛 二月一六日

(鎮守三社由緒書) 本末境内其外書上帳 長浜村安養寺 葦山具役所宛 明治三年八月

金子出入

(三津村弥兵衛米代金不返済ニ付返金被仰付度願書下書)

(金子返済滞リニ付訴状控) 長浜村権三郎 代官宛 寛文四年二月一四日

犯罪

(竹梯・大根・浜木盗ミ詫証文) 本人与惣右衛門・太兵衛・徳右衛門・又助・与四兵衛 長浜村名主権三郎宛 寛文七年一月二六日

(殺害人調ベ取止願書控) 本立野村主浪之部他組合・親類惣代・組頭・名主、三津村彦三郎他親類惣代・百姓代・組頭・名主代、長浜村他一二ヶ村名主 出役関仁左衛門・湯山善右衛門宛 嘉永四年一月

酒造

(酒造高減石請書) 長浜村酒造人百姓喜平次・組頭一平治・名主治郎兵衛 地頭役所宛 天保八年九月

(米高値ニ付酒造見合セ届書) 長浜村酒造人四郎左衛門・同断忠次郎・組親一平次・名主次郎兵衛 地頭役所宛 天保八年九月

一通ケ二六〇

一冊ケ二六二

一通ケ二七三

一通ケ二七五

一通ケ二七三

一通ケ二七三

一通ケ二七四

一通ケ二七五

一通ケ二七三

一通ケ二七三

一通ケ二七三

一通ケ二七三

家

(網戸株・田地・下屋敷南側質入并畑薪山・下屋敷北側・杉山永代売渡証文写) 大川次郎兵衛 半
 大川忠次郎又は大川一平次宛 明治六年八月
 (塩借用証文) 長浜村大川次郎兵衛 常平倉御用達
 山本甚吾宛 明治三年一二月
 (旅日記覚) 佐倉二而又三郎 御隠居宛 丑一二月 横長半
 一綴ケ 二六
 一通ケ 三六
 一冊ケ 三五

長浜村小川家文書目録 (文書記号 23Z57)

長浜村官民有地書上写 長浜村地主惣代菊地金右衛門他三名・村用掛・担当人・副戸長・戸長 静岡県令大迫貞清宛 明治九年一月三〇日 半
 一冊 一
 ○海面拝借歎願一件
 漁利割合改正願書 重寺村・小海村・長浜村・木負村各惣代 足柄県令柏木忠俊宛 明治九年四月五日 一通 二
 (漁利割合改正願書写) 重寺村・小海村・長浜村・木負村各惣代 明治九年四月五日 一通 三
 (漁利割合二付旧津本共へ説諭願書) 豆州君沢郡重寺村・小海村・長浜村・木負村各惣代 大迫貞清宛 明治九年五月二九日 一通 四
 (小前海面拝借不許可指令書) (下戻願書添) 静岡県 第八大区三・四小区抜師宛 明治九年九月九日 半
 一綴 五
 (海面拝借願書) 静岡県下伊豆国第八大区四小区君沢郡重寺村・小海村・三津村・長浜村・木負村・各小前惣代 静岡県令大迫貞清宛 明治一〇年六月七日 一通 六
 (海面拝借願書下書) (明治一〇年九) 一通 七
 (漁業海面拝借歎願代人委任状) 静岡県管下伊豆国君沢郡第八大区四小区重寺村・三津村・長浜村木負村各惣代 長浜村小川喜助・木負村金指甚右衛門宛 明治一〇年九月一〇日 一通 八
 (海面拝借願代行依頼定約書控) 重寺村惣代 日吉伊左衛門・長浜村惣代小川喜助・木負村惣代大川善藏 東京錦町二丁目一番地稻生万助宛 明治一〇年九月一九日 一通 九

家

(網戸株・田地・下屋敷南側質入并畑薪山・下屋敷北側・杉山永代売渡証文写) 大川次郎兵衛 半
 大川忠次郎又は大川一平次宛 明治六年八月
 (塩借用証文) 長浜村大川次郎兵衛 常平倉御用達
 山本甚吾宛 明治三年一二月
 (旅日記覚) 佐倉二而又三郎 御隠居宛 丑一二月 横長半
 一綴ケ 二六
 一通ケ 三六
 一冊ケ 三五〇

長浜村小川家文書目録 (文書記号 23Z57)

長浜村官民有地書上写 長浜村地主惣代菊地金右衛門他三名・村用掛・担当人・副戸長・戸長 静岡県令大迫貞清宛 明治九年一月三〇日 半
 一冊 一
 ○海面拝借歎願一件
 漁利割合改正願書 重寺村・小海村・長浜村・木負村各惣代 足柄県令柏木忠俊宛 明治九年四月五日 一通 二
 (漁利割合改正願書写) 重寺村・小海村・長浜村・木負村各惣代 明治九年四月五日 一通 三
 (漁利割合二付旧津本共へ説諭願書) 豆州君沢郡重寺村・小海村・長浜村・木負村各惣代 大迫貞清宛 静岡県令大迫貞清宛 明治九年五月二九日 一通 四
 (小前海面拝借不許可指令書) (下戻願書添) 静岡県 第八大区三・四小区扱師宛 明治九年九月九日 半
 一綴 五
 (海面拝借願書) 静岡県下伊豆国第八大区四小区君沢郡重寺村・小海村・三津村・長浜村・木負村・各小前惣代 静岡県令大迫貞清宛 明治一〇年六月七日 一通 六
 (海面拝借願書下書) (明治一〇年九) 一通 七
 (漁業海面拝借歎願代人委任状) 静岡県管下伊豆国君沢郡第八大区四小区重寺村・三津村・長浜村木負村各惣代 長浜村小川喜助・木負村金指甚右衛門宛 明治一〇年九月一〇日 一通 八
 (海面拝借願代行依頼定約書控) 重寺村惣代 日吉伊左衛門・長浜村惣代小川喜助・木負村惣代大川善藏 東京錦町二丁目一番地稻生万助宛 明治一〇年九月一九日 一通 九

(海面拝借敷願代人委任状) 重寺村・小海村・三津村・長浜村・木負村平民・長浜村平民菊地由兵衛・東京麻布霞町志番地小池信義方寄留福島県士族岡部懇平宛 明治一〇年一〇月 一冊 〇

漁業海面拝借敷願書并追願書下書(地図添) 長浜村・三津村・小海村・木負村・重寺村小前惣代菊地由兵衛・月岡懇平 内務卿大久保利通宛 明治一〇年一〇月一三日・一二月二二日 半 一綴 二

内浦五ヶ村諸入費取調帳 静岡県下第八大区四小區伊豆国君沢郡内浦五ヶ村長浜村・三津村・小海村・重寺村 明治一〇年一二月一同一一年一〇月 横長半 二冊 三

長浜村高梨友右衛門・菊地由兵衛書状(五ヶ村分一納并浮役米納方共差出二付) 小川喜助宛(明治一一年)寅一月五日 一通 三

(海面拝借願方依頼証下書) 明治一二年一月二二日 一冊 四

五ヶ村惣代書状(皆済目録之義二付) 長浜村小川喜助宛 明治一一年一月一五日 一通 五

(掃村命令書) 内務卿大久保利通 静岡県下伊豆国君沢郡長浜村外四ヶ村惣代菊地由兵衛外各人宛 明治一一年一月二三日 一通 六

電報 伊豆内浦五ヶ村 東京神田神保町小川喜助宛 明治一一年一月二九日 一通 七

(農漁夫別誰網子成哉書上指令書写) 岡田直清 渡辺兵左衛門宛 明治一一年二月二六日 一通 八

高梨友右衛門書状(漁業海面拝借敷願一件宜敷取計依頼書) 小川喜助宛 明治一一年三月四日 一通 九

(梨友) 惣代高橋友右衛門・日吉伊左衛門・相磯吉右衛門書状(漁夫委任状肩書不適当三而村々憤候事等二付) 小川喜助・稲木又左衛門宛 明治一一年三月五日 一通 〇

(網子名称書上出入二付通知書) 長浜村大川平治郎(明治一二年九)三月五日 一通 三

(網子名称不適当二付実地漁業人ト致シ書上候様口上書) 木負村ニテ高梨友右衛門 東京三而小川喜助宛 明治一一年三月六日 一通 三

(崑山支庁ヨリ漁夫農夫ノ別調査御達ニ付上申書控) 三津村雜業人九二名代兼内山茂兵衛・戸長渡辺兵左衛門 明治一一年三月二二日 一通 三

長浜村菊地由兵衛書状(内務省江伺候趣承知ニ付) 東京小川町表神保丁小川喜助宛 明治一二年三月二二日 一通 三

五ヶ村惣代書状(事件処分心配ニ付) 小川喜助・稲木亦左衛門・大川善藏宛 明治一二年四月二六日 一通 三

(村一同ニ而海面拝借内務省エ申立可被下口上書) 長浜村菊地由兵衛 東京神田小川町表神保町小川喜助宛 明治一一年五月二二日 一通 三

(年貢割付状・皆済目録等預リ証) 第六大区三小區深川伊勢崎町中立舎録事 伊豆国君沢郡長浜村小川喜助・重寺村稻見又左衛門宛 明治一一年五月一六日 一通 三

重寺村稲木又左衛門・杉村平七書状(重寺村上等裁判所之判決を可受見込ニ付) 小川喜助宛 明治一一年一〇月二二日 一通 三

(静岡県願書・内務省歎願書・内務省再願書・布告之写受取証) 伊豆国君沢郡長浜村小川喜助 東京本銀町一丁目中嶋新兵衛宛 明治一二年一月一三日 一通 三

(重寺村休業之廉ヲ以書面ニ而伺可被下口上書) 五ヶ村惣代 小川喜助宛(明治一二年九) 一通 三

海面事件入費簿 静岡県下伊豆国長浜村大川平治郎・小川喜助 明治一二年四月一二月 横長半 一冊 三

(漁業得分任訳書) 長浜村小川喜助・大川平次郎
 静岡県令大迫貞清宛 明治一二年八月八日 半 一冊コ 三

器械仕訳書 長浜村小川喜助・大川平次郎 静岡県
 令大迫貞清宛 明治一二年八月八日 半 一冊コ 三

(六人持器械之書) 長浜村小川喜助・大川平次郎
 静岡県令大迫貞清宛 明治一二年八月八日 半 一冊コ 三

(海面示談方之義ニ付葦山町迄出張依頼状)
 葦山町ニ而小川宗助・土屋一平 長浜村大川平次郎・
 小川喜助宛 明治一三年一〇月一七日 一通コ 二四

(葦山町江出張依頼状) 小川宗助・渡辺兵左衛門
 長浜村大川平次郎・小川喜助・菊池由兵衛宛 明治一
 三年一二月一三日 一通コ 三

(津元と網子衆漁業權出入示談ニ付約定書写)
 長浜村大川四郎左衛門・大川一平次・大川次郎兵衛
 ・惣代小川喜助・大川平二郎 (明治一三年一二月二
 五日) 一通コ 三

長浜村菊池由兵衛書状 (卯ノ村みき早々婦村為致
 候様頼ミ) 小川喜助宛 一月一五日 一通コ 三

長浜村菊池由兵衛書状 (送金願承知ニ付) 小川喜
 助宛 三月六日 一通コ 三

(内務省へ迫り静岡県庁へ催促ニ相成様口上書)
 内浦五ヶ村惣代中高梨友右衛門・日吉伊左衛門・杉
 村半七 稲木又左衛門・小川喜助宛 三月一七日 一通コ 三

(内務省へ願出静岡県工催促ノ書面ヲ差廻ス様
 依頼状) 五ヶ村惣代中 小川喜助宛 三月二二日 一通コ 三

重寺村外四ヶ村惣代中書状 (上申書御返シニ相成
 ニ付) 小川喜助・稲木又左衛門宛 四月四日 一通コ 三

(取調方日延ニ付口上書) 重寺村日吉伊左衛門・
 杉村半七外惣代中 小川喜助・稲木又右衛門宛 四
 月二三日 一通コ 三

三津村内山茂平書状 (金子差送りニ付) 小川・稲
 木宛 四月二二日 一通コ 四

内浦五ヶ村惣代中書状 (上等裁判所江罷出ニ付)
 五月六日 一通コ 四

長浜村惣代書状 (重須村勸業社証書受取ニ付) 小
 川喜助宛 五月一日 一通コ 四

小川おまさ書状 (婦村願) 小川喜助宛 五月二五
 日 一通コ 四

菊池由兵衛書状 (鯛網置所之義ニ付) 小川喜助宛
 六月五日 一通コ 四

五ヶ村惣代中書状 (宿入費清算ニ付) 稲木亦左衛
 門・小川喜助宛 六月一七日 一通コ 四

まさ書状 (婦村願) 東京ニ而小川喜輔 六月二八日
 (出京中入費勘定ニ付口上書) 木負村大川善藏
 東京表神保了稲木又左衛門・小川喜助宛 七月五日 一通コ 四

長浜村菊池由兵衛書状 (一重物・羽織差送りニ付)
 小川喜助宛 七月六日 一通コ 四

長浜村菊池由兵衛書状 (由兵衛母死去通知) 七月
 一〇日 一通コ 四

長浜村惣代中書状 (止宿料殘金差送りニ付) 小川
 喜助宛 七月二五日 一通コ 四

長浜村惣代中書状 (五ヶ村評議未タ決シ難キニ付一
 時帰宅) 小川喜助宛 八月二四日 一通コ 四

(戸長之報告書并郡衛江之上申書・報告書持参
 出頭依頼状) 菊池与右衛門 長浜村漁夫中宛 八月
 三一日 一通コ 四

長浜村・重寺村惣代中書状 (重寺村・長浜村ノ義
 上等裁判所江出府致ス心得ニ付) 小川喜助宛 九月
 二五日 一通コ 四

某書狀断簡〔止宿料調達ニ付〕 東京表神保町小川喜助宛 九月二五日 一通コ 五

重寺村稻木又左衛門書狀〔上州屋方止宿料催促被致ニ付〕 東京ニ而小川喜助宛 一〇月一四日 一通コ 五

長浜村菊地由兵衛書狀〔上等裁判所出願之義ニ付一時帰村願〕 小川喜助宛 十一月一日 一通コ 五

重寺村稻木又左衛門書狀 長浜村小川喜助宛 一月一六日 一通コ 五

某〔小川喜助力〕書狀〔出京願〕 重寺村稻木又左衛門宛 一月一七日 一通コ 五

長浜村菊地由兵衛書狀〔金子調達ニ付〕 高梨友右衛門・小川喜助宛 一月一四日 一通コ 五

内浦五ヶ村惣代中書狀〔金子送り候ニ付〕 小川喜助宛 一月二〇日 一通コ 五

五ヶ村惣代中書狀〔宿賃調達送金ニ付〕 小川喜助宛 二月二六日 一通コ 一〇五

〔浮役米網方少々算違ニ付口上書〕 木負村大川善藏 長浜村大川善助宛 二月二八日 一通コ 六

長浜村菊地由兵衛・大川平二郎・菊地善左衛門書狀〔飛脚人車代・飯料調達ニ付〕 長浜村小川由兵衛宛 二月二八日 一通コ 六

〔郡役所ヨリ漁業鑑札下付ニ付達認書写〕 被告山口文藏外五人代人大川四郎左衛門・児玉弁之助 一通コ 六

〔小前共海面借用願不許可ニ付自由営業願書写〕 第八大区四小区伊豆国沢郡重寺村・小海村・三津村・長浜村・木負村 一通コ 六

〔再願之義ニ付願書〕 惣代中 一通コ 六

〔海面拜借関係願書并布告写受取証控〕 長浜村小川喜助 東京本銀町一丁目中島新平宛 一通コ 六

〔不勝利と相成候時之浮役米又ハ分一処分等ニ付口上書〕 大川平二郎 小川喜助 一通コ 六

網戸見積代価并揚り高寄合覧 一通コ 六

某書狀〔出京中病氣之由書狀參候ニ付〕〔小川喜助宛カ〕 一通コ 六

五ヶ村分御指令付書面入〔中味なし〕 一通コ 七

五ヶ村総代中書狀〔内務卿江迫り息歎願仕度ニ付〕 小川喜助宛 一通コ 七

菊地由兵衛書狀 稻木・小川宛 一通コ 七

某書狀〔出京中之旅籠料勘定ニ付〕 塩谷熊雄宛 一通コ 七

内浦五ヶ村惣代電報包紙 東京神田表神保町小川喜助宛 一通コ 七

沼津菊地由兵衛電報 神田小川町小川喜助宛 一通コ 七

沼津菊地ユウエイ電報 神田表神保町小川喜助宛 一通コ 七

○

〔三津・長浜両村船持総代及重寺・重須両村漁業総代人出頭通告書写〕 三津交番所 三津村外四ヶ村戸長役場宛 明治一八年四月二四日 一通コ 七

〔張切網故障出願之儀ニ付出金不要結約証〕 長浜村漁民惣代小川喜助・同高梨友右衛門・三津村漁民惣代金指常右衛門 駿東郡獅子浜村外五ヶ村漁民惣代宛 明治一八年五月一日 一通コ 七

張切網勸解表扣 長浜村大川平治郎・小川喜助 明治一八年五月一九日 一冊コ 七

○新規地引網差止一件

漁業開業報告写 長浜村戸長土屋伊八郎代理石井清兵衛 君沢郡・田方郡長岡田直臣宛 明治一八年六月四日

(漁業開業・廃業報告写)

1 漁業開業報告 三津村外四ヶ村戸長土屋伊八郎代理用掛石井清兵衛 君沢郡長岡田直臣宛 明治一八年六月二十四日

2 漁業廃業報告 三津村外四ヶ村戸長土屋伊八郎 君沢・田方郡長岡田直臣宛 明治一八年七月

3 漁業開業報告 三津村外四ヶ村戸長土屋伊八郎 君沢・田方郡長岡田直臣宛 明治一八年七月九日

4 漁業開業届 長浜村菊地弥助・児玉弁之助・菊地長兵衛・山口万兵衛・菊地光右衛門 三津村外四ヶ村戸長土屋伊八郎宛 明治一八年六月六日

5 (漁業営業鑑札下与願書) 三津村外四ヶ村戸長土屋伊八郎代理用掛石井清兵衛 君沢・田方郡長岡田直臣宛 明治一八年六月四日

6 捕魚開業并二日割届 長浜村菊地兵右衛門外七名 三津村外四ヶ村戸長土屋伊八郎宛 明治一八年七月一三日

(新規地引網差止一件上申書類)

1 上申書 長浜村漁民惣代菊地与右衛門・小川喜助・大川平次郎 沼津治安裁判所安岡判事補宛 明治一八年四月一五日

2 上申書

3 御受書 伊豆国君沢郡長浜村漁民惣代原告菊地与右衛門・同菊地由兵衛・同小川喜助 沼津治安裁判所安岡判事補宛 明治一八年八月一日

一通コ
各六通二綴コ
六

七通一綴コ
八

4 御届書 君沢郡長浜村漁夫三拾二名ノ内惣代菊地由兵衛・同小川喜助・同大川平次郎 三津村外四ヶ村戸長中宛 明治一八年八月一日

5 御届書 伊豆国君沢郡長浜村漁民惣代 三津村外四ヶ村戸長中・三島警察三津交番所中宛 明治一八年八月一日

6 願書

7 願書

(新規地引網差留事件勸解不調理由書案) 明治一八年九月四日

(浮役米・網子徳分寛) (明治)

(漁割寛) (明治)

(漁割寛) (明治)

(漁割雛形) (明治)

長浜村漁業税等級課額報告書写 君沢郡三津村組戸長土屋伊八郎 君沢郡・田方郡長岡田直臣宛 明治一七年九月

漁業税後半期賦課割書 明治一七年

漁業御租税上納控 (明治)

(拾ヶ年漁業営業規則) (明治)

(網・縄代金寛) (明治)

(漁業道具所有者并代金寛) (明治)

(金子借用証文写) 君沢郡内浦村字長浜借用人某長浜区某宛 明治一八年一〇月二十九日

一通コ
八

一通コ
益

一通コ
六

一綴コ
七

一通コ
八

一通コ
九

一通コ
六

一通コ
六

一冊コ
六

一綴コ
益

一綴コ
益

一通コ
三

(貸金催促之件代兼人委任状写) 長浜村菊地金左衛門・米山庄右衛門・長沢与惣左衛門 菊地宇兵衛宛 (明治)

一通コ 六

伊豆国君沢郡内浦拾四ヶ村・駿河国駿東郡八ヶ村絵図面

45×16

一鋪コ 九

(路上酔狂人・狂癡人取扱規則) (明治)

一通コ 一〇〇

通運物受取証 内国通運会社沼津駅分社 小川喜助宛 明治二年一月三〇日

一通コ 一〇一

通運物受取証 内国通運会社沼津駅分社 大川平次郎・小川喜助宛 明治二年一月三一日

一通コ 一〇三

長浜村大川平次郎書状(本ヲ著スニ付) 長沼村小川喜助宛 (明治) 一月三一日

一通コ 一〇三

重須村土屋家文書目録 (文書記号 2325号)

支配

海岸御巡見下調帳 重須村 嘉永三年五月 横長美 一冊サ 一

海岸浅深并間地取調帳 見分出張先手帳土屋標右衛門 嘉永二年一月 横長半 一冊サ 二

(海深・地頭名・村名等取調ニ付配符) 大井左司馬・日下部茂助・金田万蔵 重須村・小下田村名主宛 一月三日 一通サ 三

地租改正人民心得書 足柄県・静岡県 明治八年・明治九年 半 三冊一綴サ 四

難破船届方通達書 足柄県葦山役所 豆州浦役人宛 明治八年二月七日 一通サ 五

地位詮定人民心得規則 明治一〇年 半 一綴サ 六

産業成殖御貸附金請取状 葦山県・足柄県 重須村宛 (明治三・四年) 四通サ 七

小民引立積牛生育書上帳 豆州加茂郡岩科村清左衛門他 葦山県役所宛 明治二年四月 一通サ 八

御府内諸問屋再興御触書 嘉永四年三月 一通サ 九

(貸金催促之件代兼人委任状写) 長浜村菊地金左衛門・米山庄右衛門・長沢与惣左衛門 菊地宇兵衛宛 (明治)

一通コ 六

伊豆国君沢郡内浦拾四ヶ村・駿河国駿東郡八ヶ村絵図面

45×16

一鋪コ 九

(路上酔狂人・狂癡人取扱規則) (明治)

一通コ 一〇〇

通運物受取証 内国通運会社沼津駅分社 小川喜助宛 明治二年一月三〇日

一通コ 一〇一

通運物受取証 内国通運会社沼津駅分社 大川平次郎・小川喜助宛 明治二年一月三一日

一通コ 一〇三

長浜村大川平次郎書状〔本ヲ著スニ付〕 長沼村小川喜助宛 (明治) 一月三一日

一通コ 一〇三

重須村土屋家文書目録 (文書記号 2325号)

支配

海岸御巡見下調帳 重須村 嘉永三年五月 横長美 一冊サ 一

海岸浅深并間地取調帳 見分出張先手帳土屋標右衛門 嘉永二年一月 横長半 一冊サ 二

(海深・地頭名・村名等取調ニ付配符) 大井左司馬・日下部茂助・金田万蔵 重須村・小下田村名主宛 一月三日 一通サ 三

地租改正人民心得書 足柄県・静岡県 明治八年・明治九年 半 三冊一綴サ 四

難破船届方通達書 足柄県葦山役所 豆州浦役人宛 明治八年二月七日 一通サ 五

地位詮定人民心得規則 明治一〇年 半 一綴サ 六

産業成殖御貸附金請取状 葦山県・足柄県 重須村宛 (明治三・四年) 四通サ 七

小民引立積牛生育書上帳 豆州加茂郡岩科村清左衛門他 葦山県役所宛 明治二年四月 一通サ 八

御府内諸問屋再興御触書 嘉永四年三月 一通サ 九

土地

当村御水帳之内高反別帳 重須村質地主清四郎
 鹿嶋屋甚太郎宛 安政二年一月
 一 通サ 〇
 当村御水帳之内高反別帳 大久保兵庫知行重須村
 質地主俊助他 紀州様御貸附所宛
 一 通サ 二
 村中田畑反別ひろい名寄 重須村庄屋久兵衛 天
 明元年五月
 横長半 一 冊サ 三
 重須村名寄帳 横長半 一 冊サ 三

貢 租

御年貢御役金取立諸勘定帳 名主土屋一平 明治
 四年
 横長半 一 冊サ 四
 午貯穀小前書上帳 重須村 明治四年一月
 横長半 一 冊サ 五
 未貯穀小前書上帳 重須村 明治五年一月
 横長半 一 冊サ 六
 申御年貢上納目錄 福井務・佐口音十郎 重須村
 名主・組頭・百姓代宛 万延二年一月
 一通サ 七
 村高并去辰御取納米書上帳 重須村名主一之助他
 葦山巢役所宛 明治二年一月
 一通サ 八
 大井川国役金割付状 重須村土屋儀太夫 九月二
 八日
 一通サ 九
 (御用金差出ニ付請書) 上州利根郡齒部村名主他
 地頭所役所宛 弘化二年四月
 一通サ 一〇

分 一

御重役大井左司馬様福井務様御用金一件書類 半 一 綴サ 三
 重須村 元治元年八月
 助郷仕訳書・魚漁分一等書類写綴 (慶応年間) 半 一 綴サ 三
 浮役米赦免達写 五味小左衛門 重須村名主・百
 姓宛 元禄二年七月
 一 通サ 三
 能登蒔差入方取止状 中村大砲鑄造会所 三津村・
 重須村名主与頭 寅八月二七日
 一 通サ 四
 貸附米下知状 地方役所 重須村名主他宛 丑一
 月二四日
 一 通サ 五
 (再御東行ニ付御触書写) 三島駅増助郷 明治二
 年三月
 一 冊サ 六
 (分一請負仕来ニ付書上) 重須村土屋俊助・同村
 兵右衛 葦山役所宛 天保一四年七月
 一 通サ 七
 (分一請負仕来ニ付書上) 重須村名主兵右衛門
 葦山役所宛 天保一四年七月
 一 通サ 八
 (漁分一取立ニ付書上) 土屋俊助 葦山役所宛
 天保一五年五月
 一通サ 九
 (魚漁分一取立ニ付書上) 兵右衛門 葦山役所宛
 天保一五年五月
 一通サ 一〇
 魚漁御分一上納御通 御分一請負人重須村津元伊
 左衛門 安政二年一月
 横長半 一 冊サ 三
 御分一勘定帳 重須俊助 安政三年一月
 横長美 一 冊サ 三
 御分一掛り諸雜用控 請負人 安政三年一月
 横長半 合 一 冊サ 三
 御分一御改帳 請負人 伊左衛門 安政三年一月
 横長美 一 冊サ 三

(魚漁分一跡請願書) 重須村請負人津元伊左衛門
蕪山役所宛 安政四年閏五月一八日 一通サ 四

魚漁御分一改勘定帳 魚漁御分一御請負人 安政
四年 横長美 一冊サ 三

御分一改勘定帳 魚漁御分一御請負人 安政五年 横長美 一冊サ 三

(三津村外三ヶ村分一請負ニ付入札) 重須村兵
右衛門・喜藤治 寅一〇月二七日 一通サ 三

不納金差引勘定帳 吉沢太一他 重須村役人宛
九月 一通サ 三

重須村魚漁運上請取通 江川太郎左衛門手代松岡
正平他 横半半 一冊サ 三

午年分一道具并名主給米代勘定帳 土屋一平 明
治四年 横長美 一冊サ 三

漁稼方

浦法

立漁浦法御吟味書上扣写 重須村名主津元久兵衛
他 山本平八郎役所宛 寛延三年一月 一通サ 四

津元

津元振舞取極書 浜方津元 網子中宛 明治二年 一通サ 四

網子

(網子稼方ニ付請書) 長浜村忠左衛門・重須村俊
助他 江川太郎左衛門手代三浦剛藏宛 万延元年六月 一通サ 三

船・船具

船株書上帳 重須村名主兵右衛門 蕪山役所宛 享
和三年二月 一通サ 四

造船入用覚 沼津浅門町後屋 重須村土屋一平宛
明治二年九月 一通サ 四

難船届書 浦役人土屋伊八郎 足柄具令柏木忠俊宛
明治八年一月七日 一通サ 四

網度仕立

渡置候重寺之内網度之事 彦坂小刑部 重寺村六
右衛門宛 申正月廿六日 一通サ 四

網度請返状請取一札 重須村定右衛門 重須名主
兵右衛門宛 文化七年二月 一通サ 四

魚売買

(魚仕切状) 駿州沼津城下魚川岸池田与三郎 土谷
一平・同徳右衛門宛 七月九日 一通サ 四

(魚仕切状) 駿州沼津池田与三郎 土谷一平宛 九
月二〇日 一通サ 四

(魚仕切状) 駿州沼津池田与三郎 土屋一平次宛
八月一〇日 一通サ 五

(魚売付記) 駿州沼津池与(池田与三郎)・紀忠・池
清(池田清三郎) 重須村兩津元中・網子中宛 一通サ 五

漁出入

(網子不法網立ニ付託狀) 重寺村津元万蔵他 重須村津元衆宛 寛政五年一〇月	一通サ	三
(網度場出入裁許ニ付請証文) 重須村百姓代三重郎・組頭喜藤次・名主兵右衛門 地頭所役所宛 天保一五年五月	一通サ	三
(新規立漁出入落着ニ付連印証文) 重須村定右衛門他・三津村伝左衛門 葦山役所宛 文化七年八月	一通サ	三
(漁出入召出ニ付願書) 重須村利平太 兵右衛門宛 文化一〇年八月	一通サ	三
(小海村新規立漁差止ニ付願書)(三津・長浜・重須津本)(葦山役所宛) 文化一四年六月	一通サ	三
(網度場故障申止ニ付差止願書) 重須村名主津元伊左衛門 地方役人衆宛 安政二年一月	一通サ	三
網度場仕立出入願書綴 土屋伊左衛門 安政二年一月	一綴サ	三
浜方組の口野村源兵衛懸候一件始末濟口証文之写 重寺村名主三郎左衛門 安政三年	一綴サ	三
(漁業出入内濟ニ付為取替証文扣) 三津・小海・重須・重寺・長浜・木負六ヶ村津元 代官手代三浦剛蔵宛 万延元年五月四日	一通サ	三
為取替申網子連印誓書 網子池田庄次郎以下二名 浜方津元宛 明治五年三月	一通サ	三
長浜村魚漁一件書類 明治一三年	一冊サ	三
海面拝借出入一件書附綴 明治一三年	一綴サ	三

漁業

式ヶ村寄合鯨子漁帳并大割帳 重須村津元右兵衛 横長美 一冊サ 三

魚業割合金請取狀 兩方津元 浜方津元宛 未四 月二二日 一通サ 三

(魚溜場普請ニ付差入申一札) 重須村津元久左衛門・一之助 長浜・小海・三津・重寺・木負津元衆宛 明治二年一二月 一通サ 三

村

村差出帳

重須村指出帳 天明五年九月 一冊サ 六

重須村指出帳 名主定右衛門他 葦山役所宛 天明五年九月 一冊サ 六

重須村指出扣帳 名主兵右衛門他 林大学宛 天保一三年 一冊サ 七

村鏡書上帳扣 明治三年 八冊サ 七

牛馬員数取調帳 名主土屋一平 葦山泉役所宛 明治四年一〇月 一冊サ 三

七十歳以上書上帳 重須村名主一之助他 葦山役所宛 慶応四年九月 一冊サ 三

村政

(宜太夫隠居ニ付諸株讓証文) 土屋宜太夫 桦俊 助宛 文久元年九月五日 一通サ 三

(隠居扶持方等取極ニ付親類連印議定) 土屋俊助・関三十郎・土屋与兵衛・大川半十郎他 土屋宜太夫宛 文久元年九月

(出役吟味願書)

1 重須村俊助他 御取締後見土屋宜太夫宛 万延二年三月

2 土屋宜太夫 地頭所地方役所宛 万延二年三月

村内祝儀帳 嘉永六年四月

横長半

養老米金請取手形 七兵衛 重須村役所宛 明治三年一月

養老米金請取手形 原七兵衛 御役衆中宛 明治四年六月二十七日

養老米請取手形 喜三郎 御役人中宛

拝借金

拝借金返納延期願 俊助 葦山役所宛 文久元年十一月

奉拝借御金割済証文之事並質地証文 重須村俊助 紀州様御貸附所宛 万延元年一月

金子請取証文 佐藤茂七外 重須村伊八宛 寛延三年二月

金子借用証文 土屋俊助 葦山役所宛 安政四年一月

金子借用証文 俊助 葦山役所宛 文久二年二月
金子借用証文 俊助 葦山役所宛 慶応元年一月

二通サ 壹

二通サ 貳

一冊サ 七

一通サ 貳

一通サ 貳

一通サ 六

一通サ 八

四通サ 八

一通サ 六

一通サ 六

一通サ 六

金子借用証文 重須村名主一之助 葦山役所宛 明治元年二月
金子借用証文 俊助 葦山役所宛 万延元年二月

災害

書状〔地震見舞〕 沼津松田伝兵衛 土屋伊左衛門宛 嘉永七年一月二日

(津波被害見分出役ニ付願書) 土屋伊左衛門 水谷俊平・石川悌次郎宛 嘉永七年一月一日

(津波被害救済願書) 重須村名主他 地頭役所宛 嘉永七年一月一日

書状〔人足差遣〕 南江間村津田与一郎 土屋伊左衛門宛 嘉永七年一月九日

(死失人探方依頼ニ付急廻状) 重須村役元 木負村名主 戸田村迄村々名主 嘉永七年一月六日

(返答状) 戸田村名主 井田村名主 重須村迄村々名主宛 嘉永七年一月九日

(流寄品拾揚ニ付通達状) 小海村名主 三津・長浜・重須・木負・久連各村宛 嘉永七年一月九日

(地震津波見舞状) 小下田村名主 善右衛門 土屋伊左衛門宛 嘉永七年一月七日

(流寄品取揚依頼ニ付急廻状) 重須村名主 木負村名主 江梨村迄村々名主宛 嘉永七年一月六日

(流寄品取揚依頼ニ付急廻状) 重須村名主 長浜村名主 沼津宿迄村々宿場役人宛 嘉永七年一月六日

(津波被害ニ付救済願書) 土屋伊左衛門 地頭役所宛 水谷俊平・石川悌二宛 嘉永七年一月六日

一通サ 六

一通サ 六

一通サ 六

二通サ 九

一通サ 六

一通サ 六

継一通サ 六

一通サ 六

一通サ 六

一通サ 六

一通サ 六

一通サ 六

(流失人探方ニ付依頼状) 沼津宿船手名主 我入道村ノ戸田浦迄村々名主宛 嘉永七年一月五日・重須村役元 木負村ノ戸田浦迄村々名主宛 嘉永七年一月六日

(地震被害通知状) 戸田村齊藤周助 土屋兵右衛門宛 嘉永七年二月五日

出入

(苅敷山一件絵図) 安政四年六月
 付 (絵図面御裏書扣) 土屋俊助 安政四年六月
 (畑地出入济口証文) 重須村半十郎・長浜村与右衛門 取締羽田彦三郎宛 慶応三年五月

重須村絵図	土屋一平	38×27.5	一鋪サ	一〇五
重須村絵図		51.5×39	一鋪サ	一〇六
重須村絵図	巳七月二三日	56×45	一鋪サ	一〇七
重須村絵図		88.5×55	一鋪サ	一〇八
内浦海面絵図		39×28	一鋪サ	一〇九
内浦六ヶ村海岸絵図		39×27	一鋪サ	一一〇
内浦六ヶ村絵図下絵		62×39	一鋪サ	一一一
(内浦六ヶ村魚獵絵図)		54×38	一鋪サ	一一二
重須村絵図		54×38	一鋪サ	一一三
(内浦六ヶ村網度絵図)		80×54.5	一鋪サ	一一四

内浦六ヶ村絵図		53.5×48	一鋪サ	一一五
伊豆国君沢郡重須村海岸絵図		80×54.5	一鋪サ	一一六
遠近長短不定伊豆国君沢郡内浦海面大略之図		59×37	一鋪サ	一一七

寺社

(稻荷社修覆ニ付請証文) 木負村勘右衛門 重須村役人衆宛 嘉永三年一月			一通サ	一二八
九華山禅長寺古記類纂 土屋義卿 明治三年			一冊サ	一二九
九華山禅長寺縁起抄録			三冊サ	一三〇

その他

譲渡申酒株之事 田方郡吉田村太右衛門 重須村半右衛門宛 文政九年八月			一通サ	一三三
(古奈村伊右衛門不実ニ付訴状) 俊助 大久保長門守松長御役所宛 文久二年八月			一通サ	一三三
諸株式正徳取調帳 重須村土屋 明治七年	横長美		一冊サ	一三三
(副区長会議遅参詫書并土屋伊八郎遅参仕末書) 小川宗助他 足柄県令柏木忠俊宛 明治七年一月二四日			一通サ	一三四
(見舞立合不合不申ニ付詫一札) 長沢村網子大村 善七他 重須村津元宛 明治八年四月			一通サ	一三五
諸入費出入取調書 明治一年			一綴サ	一三六
(引換金請取状) 割元役場 重須村名主一之助宛 巳一月二三日			一通サ	一三七

家

金子借用

(金子借用証文並利足金受取状) 俊助・久左衛門 重寺村次郎右衛門宛 慶応二年一〇月晦日	一通サ 一三
(金子借用証文) 重須村大庄屋土屋儀大夫 駿州香 貫村庄兵衛宛 寛保三年一二月	一通サ 一三
(金子借用証文) 重須村土屋俊助 長浜村忠治郎宛 安政二年一二月	一通サ 一三〇
(金子借用証文) 重須村土屋俊助 三津村勘七宛 安政三年一二月	一通サ 一三
(金子借用証文) 土屋俊助 重須村忠七宛 安政三 年一二月	一通サ 一三三
(金子借用証文) 土屋俊助 長浜村又郎宛 安政四 年一二月	一通サ 一三三
(金子借用証文) 土屋俊助 長浜村金左衛門宛 安 政四年一二月	一通サ 一三四
(金子借用証文) 土屋俊助 長浜村忠次郎宛 安政 四年七月	一通サ 一三五
(金子借用証文) 重須村俊助 安政六年一二月	一通サ 一三六
(金子借用証文) 土屋俊助 長浜村又郎宛 安政七 年四月	一通サ 一三七
(金子借用証文) 名主俊助 小海村彦五郎宛 文久 元年七月二四日	一通サ 一三九

質地

(金子借用証文) 俊助 江間村善左衛門宛 文久元 年七月	一通サ 一三九
(金子借用証文) 土屋宜太夫 三津村儀右衛門宛 文久元年一二月	一通サ 一四〇
(金子借用証文) 重須村御取締土屋宜太夫 大井左 司馬宛 文久元年八月	一通サ 一四一
(金子借用証文) 土屋一平 内浦会所頭取大川忠二 郎・土屋久平宛 明治一三年七月	一通サ 一四三
(金子借用証文) 土屋一平 沼津積立金取扱人森市 太郎宛 明治一六年三月	一通サ 一四三
(金子借用証文) 重須村百姓代半十郎 長浜村又郎 宛 成一一月一一日	一通サ 一四四
(五ヶ年割濟質地書入証文) 重須村清四郎 鹿嶋 屋甚太郎宛 安政二年正月	一通サ 一四四
(山林売渡証文案) 重須村名主 文政四年一二月	一通サ 一四四
(質地証文) 重須村名主 嘉藤次他 長浜村又郎宛 安政五年一二月	一通サ 一四七
(質地証文) 重須村土屋俊助 三津村儀右衛門宛 安政六年一二月	一通サ 一四七
(質地証文) 俊助 山木村範左衛門宛 文久元年一 一月	一通サ 一四九
(質地証文) 俊助 大場村又兵衛宛 文久元年一二月	一通サ 一五〇
(質地証文) 俊助 長浜村忠次郎宛 文久二年二月	一通サ 一五二
(質地証文) 俊助 長浜村忠次郎宛 文久二年一二月	一通サ 一五三

(質地証文) 土屋宜太夫 児玉又郎宛 文久三年一二月 一通サ 一五

(質物書入証文並利足金受取状) 久左衛門・俊助 長浜村四郎左衛門宛 慶応二年二月 一通サ 一五

(給金前借証文) 重須村平蔵 重須村役人宛 嘉永元年二月 一通サ 一五

(糯米請取状) 安田屋寅五郎 重須村土屋宛 未四月二二日 一通サ 一五

浄国院非時諸式附込帳・浄国院仮葬式行列付帳 横長半 一冊サ 一五

光麗院葬式雜記簿 土屋 明治一三年七月 横長半 一冊サ 一五

新古書類入(袋のみ) 重須村兵右衛門 一枚サ 一五

通運物受取証 小島義左衛門 土屋一平宛 明治一三年八月一七日 一通サ 一六

(漢詩稿) 仏説二篇合卷 一冊サ 一六

(書状案) 九月一二日 一通サ 一三

木負村相磯家文書目録 (文書記号 23Z57)

支配

虎印判状 木負村百姓宛 天正七年一月 一通シ 一
虎印判状他写 木負村相磯貞助 明治二年二月 一綴シ 二

貢租

割付

木負村年貢割付状 彦坂九兵衛 庄屋・百姓宛 巳二月一〇日 一通シ 三
木負村年貢割付状 市川喜三郎 元和八年一二月 一通シ 四
木負村年貢割付状 市川喜三郎 元和九年一二月 一通シ 五
木負村年貢割付状 市川喜三郎 寛永二年一月 一通シ 六
木負村年貢割付状 市川喜三郎 寛永三年一月 一通シ 七

(質地証文) 土屋宜太夫 児玉又郎宛 文久三年一二月 一通サ 一五

(質物書入証文並利足金受取状) 久左衛門・俊助 長浜村四郎左衛門宛 慶応二年二月 二通サ 一五

(給金前借証文) 重須村平蔵 重須村役人宛 嘉永元年二月 一通サ 一五

(糯米請取状) 安田屋寅五郎 重須村土屋宛 未四月二二日 一通サ 一五

浄国院非時諸式附込帳・浄国院仮葬式行列付帳 横長半 二冊サ 一五
嘉永七年二月 横長半 一冊サ 一五

光麗院葬式雜記簿 土屋 明治一三年七月 横長半 一冊サ 一五

新古書類入(袋のみ) 重須村兵右衛門 一枚サ 一五

通運物受取証 小島義左衛門 土屋一平宛 明治一三年八月一七日 一通サ 一五

(漢詩稿) 一冊サ 一五

仏説一篇合卷 一冊サ 一五

(書状案) 九月一二日 一通サ 一五

木負村相磯家文書目録 (文書記号 23Z5シ)

支配

虎印判状 木負村百姓宛 天正七年二月 一通シ 一
虎印判状他写 木負村相磯貞助 明治二年二月 一綴シ 二

貢租

割付

木負村年貢割付状 彦坂九兵衛 庄屋・百姓宛 巳二月一〇日 一通シ 三
木負村年貢割付状 市川喜三郎 元和八年一二月 一通シ 四
木負村年貢割付状 市川喜三郎 元和九年一二月 一通シ 五
木負村年貢割付状 市川喜三郎 寛永二年二月 一通シ 六
木負村年貢割付状 市川喜三郎 寛永三年一月二五日 一通シ 七

木負村年貢割付状 一七日	市川喜三郎 寛永四年二月	一通	八	浮役米赦免状 五味小左衛門 木負村名主・百姓宛 元禄二年七月	一通	三
木負村年貢割付状 二日	市川喜三郎 寛永五年二月	一通	九	(定納海役赦免ニ付願書) 重寺・小海・長浜・重須・木負各村名主 代官(伊奈兵右衛門)宛 延宝八年十一月	一通	三
木負村年貢割付状	市川喜三郎 寛永九年二月	一通	〇	(洪水被害ニ付浮役米赦免願書) 木負村名主徳兵衛他 滝田佐仲・鈴木安右衛門宛 寛延四年九月	一通	三
木負村年貢割付状	市川喜三郎 申一二月一	一通	二	(元禄二年七月内浦組小海村浮役米免状写) 明治一〇年二月	一通	三
木負村年貢割付状	市川喜三郎 酉一二月一	一通	三	分一運上		
木負村年貢割付状 保四年二月	伊奈兵藏 名主百姓中宛 正	一通	三	(分一請負出入ニ付為取替内済熟談証文) 戸田村北側小前惣代・南側小前惣代他 明治五年四月	一通	三
木負村年貢割付状	伊奈兵藏 慶安二年一月五	一通	四	仕切為替金請取状 安良里村名主庄五郎 木負村相磯半左衛門宛 卯二月二日	一通	三
木負村年貢割付状	伊奈兵藏 明暦元年一月	一通	五	漁稼方		
木負村年貢割付状	伊奈兵藏 万治二年一月五	一通	六	浦法・漁業法		
木負村年貢割付状 月二〇日	伊奈兵右衛門 延宝六年一	一通	七	諸浦立物定書 彦坂小刑部 木負村百姓宛 午三月一九日	一通	三
木負村年貢割付状	五味小左衛門 元禄元年一	一通	六	(浦法法度請書) 木負村名主・組頭・百姓代官(伊奈兵右衛門)宛 貞享二年十一月	一通	三
木負村年貢割付状	五味小左衛門 元禄二年一	一通	元	(魚わけ・祝・鱧ニ付取定証文) 重須村津本仙右衛門 木負村津本徳兵衛宛 元禄一〇年三月四日	一通	三
戊年貢皆済状 順永仙右衛門・滝田左仲 木負村徳兵衛宛 亥六月		一通	三			

(鮪鯨子漁ニ付取決証文) 勘左衛門・半左衛門・
太右衛門・吉右衛門 元文三年五月三日 一通シ 三

(鮪鯨子漁ニ付取決証文) 木負村上方津元半左衛
門・勘左衛門・木負村浜方津元善右衛門・太右衛門
寛保元年八月 一通シ 三

立嶺浦法并徳用割合仕形書上帳 木負村名主津元
徳兵衛他 三嶋役所(山本平八郎)宛 寛延三年一一
月 一通シ 三

(魚漁之浦法ニ付木負村口上書) 木負村名主津元
徳兵衛他 三嶋役所(山本平八郎)宛 寛延三年一一
月 一通シ 三

立漁仕方相定之事 上方津元徳兵衛・弥右衛門、
下方津元仙之助・源右衛門 宝曆二年六月二九日 一通シ 三

(寄合漁ニ付取決証文) 木負村上方・下方津元
寛政元年七月二四日 一通シ 三

(久保浜漁業割合ニ付取決証文) 小海村津元彦兵
衛・友右衛門・七兵衛 平左衛門宛 文政七年一一月 一通シ 三

(久保浜漁業割合ニ付取決証文) 小海村百姓代次
兵衛他 平左衛門宛 文政七年一一月 一通シ 三

(魚漁稼方ニ付為取替申規定書) 口野村・多比村
・江ノ浦村・重寺村・小海村・三津村長浜村・重須村
・木負村各村名主津元 元治元年五月 一通シ 三

内浦組六ヶ村津元規定書 重寺・小海・三津・長
浜・重須・木負各村津元 明治八年四月 一通シ 三

漁業稼方之証 網子世話人大沼長右衛門他 津元相
磯半左衛門他宛 明治九年六月一〇日 一通シ 三

兩組合併漁業法則 木負村下方津元・上方津元
明治一〇年六月 一通シ 三

上方組内役定取極書 小海村杉山義兵衛他 上方
津元増田七兵衛宛 明治一二年一月二五日 一通シ 三

上方組内役定取極書 小海村上方組日吉源兵衛他
上方津元増田米太郎宛 明治一四年二月二四日 一通シ 三

下方組内役定取極書 小海村下方組増田直右衛門
他 下方組津元増田米太郎宛 明治一五年一月二日 一通シ 三

上方組内役定取極書 小海村上方組三浦長兵衛他
上方津元増田七兵衛宛 明治一六年一月九日 一通シ 三

(漁業稼方ニ付定約取替証) 小海村上方組大城吉
右衛門他 上方組津元増田七兵衛宛 明治一六年二
月一九日 一通シ 三

小海・重寺式ヶ村津元定約書 小海村増田七兵衛
・重寺村秋山六右衛門他 明治一六年一〇月 一通シ 三

為取替申組合規定証并海面拝借願指令書写 明
治一一年 一綴シ 三

網 度

網度売渡証文 三津村次右衛門 小海村八郎左衛門
宛 寛文五年二月一六日 一通シ 三

網度売渡証文 三津村伝左衛門 小海村七兵衛宛
文化九年一〇月 一通シ 三

網度売渡証文 小海村友右衛門 七兵衛宛 天保一
四年二月 一通シ 三

年季売渡申漁株之事 小海村平七 七兵衛宛 嘉
永四年二月 一通シ 三

網度売渡証文并書添一札 小海村友右衛門 三津
村儀右衛門宛 嘉永五年一二月 一通シ 三

網度売渡証文 三津村勘七 同村清助宛 安政五年
一二月 一通シ 三

網度売渡証文 小海村平兵衛 七兵衛宛 万延元年
二月 一通シ 壹

網度売渡証文 三津村勘七 小海村七兵衛宛 文久
二年二月 一通シ 弐

網度売渡証文 小海村幸兵衛 七兵衛宛 元治元年
二月 一通シ 参

網度売渡証文 (木負村) 茂左衛門 半左衛門宛
慶応二年二月 一通シ 弐

網度売渡証文 兵右衛門 半左衛門宛 明治元年一
二月 一通シ 弐

網度売渡証文 三津村儀右衛門 小海村七兵衛宛
明治三年一月 一通シ 参

網度売渡証文 木負村貞次郎 半左衛門宛 明治三
年二月 一通シ 参

網度売渡証文 相磯兵右衛門 相磯半左衛門宛 明
治四年二月 一通シ 参

網度売渡証文 木負村相磯源兵衛 相磯半左衛門宛
明治四年二月 一通シ 参

網度売渡証文 小海村用掛り増田彦五郎 増田七兵
衛宛 明治二年一〇月三〇日 一通シ 参

網度売渡証文之事 三津村勘七 同村清助宛 安
政五年二月 一通シ 参

鯉立漁割帳 木負村上方津元半左衛門 寛保二年八
月二十六日 一通シ 参

舟・漁具

(漁船・漁具取調ニ付書上) 戸長相磯市左衛門
足柄県令柏木忠俊宛 明治八年一〇月一九日 一綴シ 参

(網小屋・網干場ニ付為取替規定書) 小海村村
用掛り・村方惣代・津元 明治九年二月 一通シ 参

魚仕切状

(魚仕切状) 高藤(高根屋) 木負村源右衛門宛
丑五月三一日 一通シ 参

漁出入

(長繩漁鯉釣漁差止取決証文) 重寺・小海・三津
・長浜・重須・木負・口野・多比八ヶ村名主津元 寛
政四年四月 一通シ 参

内海網漁場出入差上証文并久保浜網漁場出入
請証文写 (木負村名主半左衛門所持) 天保一二年
九月 一冊シ 参

漁業稼方妨害御了解願 津元半左衛門梓相磯貞助
他 静岡県令大迫貞清宛 明治九年六月一四日 一通シ 参

絵 図

木負村海面区域図

一鋪シ 参

村

(山出入訴状) 木負村名主・年寄・惣百姓 代官
(伊奈兵藏) 宛 寛文三年一月二十八日

山壳渡証文 木負村又右衛門 徳兵衛宛 貞享二年七月五日

畑山返却証文 木負村半左衛門 与惣左衛門宛 寛政五年二月

山壳渡証文 太郎兵衛 久連村彦兵衛宛 文化二年二月

山林代金請取証文 喜平二 木負村半左衛門宛 嘉永六年二月

年季壳渡申密柑畑之夏并小作証文 木負村伝右衛門 半左衛門宛 安政二年二月

官民有未定地所有定方願 相磯半左衛門他 明治一一年二月

*木負村絵図

37×29

一鋪ク 七

為改心差出申一札 市右衛門 徳兵衛宛 嘉永五年六月

(不法之悪口仕ニ付詫状) 木負村源右衛門 村役人宛 文化四年八月

医弟子引受証文 山田衛庵 木負村徳兵衛宛 宝永元年一〇月二日

一通シ 三

家

(雪隠建直ニ付取決状) 木負村弥吉 村役人宛 文化六年二月

一通シ 三

無 尽

無尽金請取証文 久連村与右衛門 木負村半左衛門宛 文政八年五月

一通シ 六

無尽金請取証文 木負村兵左衛門 半左衛門宛 文政八年五月

一通シ 七

無尽金請取証文 立保村佐五右衛門 木負村親司 半左衛門宛 文政八年二月

一通シ 八

無尽金請取証文 重寺村三郎左衛門 半左衛門・無尽連中宛 文政九年二月

一通シ 九

無尽金請取証文 三津村又右衛門 木負村大司半左衛門・無尽連中宛 文政二年二月

一通シ 十

無尽金請取証文 木負村弥吉 大司半左衛門・無尽連中宛

一通シ 十一

無尽金請取証文 立保村兵左衛門 木負村半左衛門宛 天保四年三月

一通シ 十二

金子借用証文 仁左衛門 七福講連中宛 天保一一年二月

一通シ 十三

無尽利金ニ付取決証文 大沢村仙右衛門 木負村親司半左衛門宛 天保一三年七月

一通シ 十四

無尽金請取証文 古宇村九平治 木負村頼母子請大司半左衛門・連衆宛 嘉永元年一〇月

一通シ 十五

無尺落札金請取狀 重須村土屋伊左衛門 大司相磯半左衛門・世話人増田七兵衛宛 子五月一四日 一通シ 六

金子借用

(質物下人証文) 熊坂村門右衛門 木負村相磯徳兵衛宛 寛永一〇年二月二日 一通シ 六

(金子借用証文) 川内村善左衛門 木負村(相磯)徳兵衛宛 慶安二年一〇月 一通シ 七

(金子借用証文) 網子久蔵他六名 津元伊兵衛宛 享保一〇年十二月 一通シ 九

(金子借用証文) 源右衛門 半左衛門宛 寛保三年十二月 一通シ 九

(金子借用証文) 木負村徳兵衛 重須村久兵衛宛 宝曆三年十二月 一通シ 一〇

(金子借用証文) 木負村徳兵衛他 大仁村藤左衛門宛 宝曆六年一月三日 一通シ 一〇

(金子借用証文) 木負村源右衛門 木負村徳兵衛宛 明和元年閏十二月 一通シ 一〇

(金子借用証文) 三津村伝右衛門 小海村七兵衛宛 文化一二年十二月 一通シ 一〇

(残金年賦返済ニ付取決証文) 三津村伝左衛門 小海村七兵衛宛 文政六年十二月 一通シ 一〇

(金子請取証文) 勘左衛門 半左衛門宛 文政一二年十二月 一通シ 一〇

(金子借用証文) 三津村伝左衛門 木負村半左衛門宛 天保一四年七月 一通シ 一〇

(金子請取証文) 河内村八郎右衛門 木負村半左衛門宛 弘化三年八月 一通シ 一〇

(金子請取証文) 平右衛門 名主半左衛門宛 弘化三年二月 一通シ 一〇

(金子借用証文之奥印ニ付入置申一札) 忠左衛門親類甚蔵 名主相磯半左衛門宛 弘化三年十二月 一通シ 一〇

(金子借用証文) 喜平二徳兵衛宛 嘉永六年二月 一通シ 一〇

(金子借用証文) 茂左衛門 庄助宛 元治二年二月 一通シ 一〇

(金子借用証文) 河内村源太郎 木負村半左衛門宛 慶応二年八月 一通シ 一〇

(金子借用証文) 文助半左衛門宛 明治元年二月 一通シ 一〇

(金子借用証文) 木負村貞次郎 庄助宛 明治三年八月 一通シ 一〇

(金子借用証文) 木負村貞次郎 津元中宛 明治三年八月 一通シ 一〇

田畑・山売買

田讓状 善左衛門 木負村相磯徳兵衛宛 寛永二〇年十二月 一通シ 一〇

(田地売渡証文) 半四郎 半左衛門宛 天保八年二月 二通シ 一〇

付添証文 文化一二年二月 二通シ 一〇

(田地売渡証文) 源兵衛 佑之助宛 慶応二年二月 一通シ 一〇

(田地売渡証文) 源兵衛 半左衛門宛 慶応二年二月 一通シ 一〇

(畑売渡証文) 茂左衛門 半左衛門宛 明治元年二月 一通シ 一〇

(田地売渡証文) 木負村伝右衛門 祐之進宛 明治元年二月 一通シ 一〇

(切開請負証文) 木負村請合人三郎兵衛他 半左衛門宛 寛保二年三月

一通シ 三三

久料村久保田家文書目録

(文書記号 23Z53)

(駿州小須浦ニ而新規鯨漁差止願書写) 君沢那足保・久料村各名主・組頭・百姓代 進喜太郎御内白石幸左衛門・園田清右衛門宛 寛政六年一〇月

二通ス 一

立網漁割合勘定帳 当世話人帳元久保田市左衛門他 明治一七年

横長半 一冊ス 二

立網漁勘定帳 年番世話人帳元真野倉吉他 明治二七年

横長半 一冊ス 三

西浦村久料立網漁勘定簿 世話番帳元真野倉吉他 明治三三年

横長半 一冊ス 四

立網漁勘定帳 世話人帳元久保田彦右衛門 明治三五年

横長半 一冊ス 五

諸魚水揚帳 真野倉吉他 明治四五年

横長半 一冊ス 六

○商 業

(積荷乗船法度請書控) 文化八年二月五日

一通ス 七

(豆州善八船積塩改濟覚) 塩改所阿州無養齋田問屋篠原孫左衛門回船 (文政一〇年) 亥七月

一通ス 八

(塩積渡代銀仕切状) 阿州来島中嶋喜左衛門・阿波高島松屋為之丞 観音丸善八宛 文政一〇年七月

一綴ス 九

(塩為替金覚) 久保田伝兵衛 中嶋喜左衛門・松屋為之丞宛

一通ス 一〇

(切開請負証文) 木負村請合人三郎兵衛他 半左衛門宛 寛保二年三月

一通シ 三三

久料村久保田家文書目録

(文書記号 23Z53)

(駿州小須浦ニ而新規鯨漁差止願書写) 君沢那足保・久料村各名主・組頭・百姓代 進喜太郎御内白石幸左衛門・園田清右衛門宛 寛政六年一〇月

二通ス 一

立網漁割合勘定帳 当世話人帳元久保田市左衛門他 明治一七年

横長半 一冊ス 二

立網漁勘定帳 年番世話人帳元真野倉吉他 明治二七年

横長半 一冊ス 三

西浦村久料立網漁勘定簿 世話番帳元真野倉吉他 明治三三年

横長半 一冊ス 四

立網漁勘定帳 世話人帳元久保田彦右衛門 明治三五年

横長半 一冊ス 五

諸魚水揚帳 真野倉吉他 明治四五年

横長半 一冊ス 六

○商 業

(積荷乗船法度請書控) 文化八年二月五日

一通ス 七

(豆州善八船積塩改濟覚) 塩改所阿州無養齋田問屋篠原孫左衛門回船 (文政一〇年) 亥七月

一通ス 八

(塩積渡代銀仕切状) 阿州来島中嶋喜左衛門・阿波高島松屋為之丞 観音丸善八宛 文政一〇年七月

一綴ス 九

(塩為替金覚) 久保田伝兵衛 中嶋喜左衛門・松屋為之丞宛

一通ス 一〇

(炭仕切状) 年八月	丸屋源兵衛	久保田伝兵衛宛	安政三	一通	二		
(炭仕切状) 三年二月一六日	丸屋源兵衛	久保田伝右衛門宛	文久	一通	三	丸屋源兵衛書状〔炭売付二付目録〕 久保田伝兵衛宛 亥二月一六日	
(炭仕切状) 月二四日	丸屋源兵衛	久保田伝右衛門宛	子八	一通	三	丸屋源兵衛書状〔金子無心承知二付〕 久保田伝兵衛宛 一二月二三日	
(炭仕切状) 一月二六日	丸屋源兵衛	久保田伝右衛門宛	丑一	一通	四	(炭仕切目録) 江戸鉄砲洲本湊町大嶋屋三右衛門 久保田伝兵衛宛 安政三年二月四日	
(炭仕切状) 二四日	丸屋源兵衛	久保田伝兵衛宛	辰八月	一通	五	(炭仕切目録) 江戸鉄砲洲本湊町大嶋屋三右衛門 久保田伝右衛門宛 安政六年二月二八日	
(炭仕切状) 二月四日	丸屋源兵衛	久保田伝右衛門宛	辰一	一通	六	(炭・薪仕切目録) 江戸鉄砲洲本湊町大嶋屋三右衛門 久保田伝右衛門宛 万延元年一月一四日・一六日	
(炭仕切状) 月二三日	丸屋源兵衛	久保田伝兵衛宛	巳一一	一通	七	(炭仕切目録) 江戸鉄砲洲本湊町大嶋屋三右衛門 久保田伝右衛門宛 文久元年六月二九日	
(薪仕切状) 保田伝右衛門宛	江戸鉄砲洲本湊町大嶋屋三右衛門	久保田伝右衛門宛	未二〇	六通	綴	六	(薪仕切状并算用書) 大嶋屋三右衛門 久保田伝右衛門宛 安政六年一月二六日・二八日
(炭仕切状) 一月二八日	丸屋源兵衛	久保田伝右衛門宛	未一	一通	八	大嶋屋三右衛門書状〔炭前金之儀承知二付〕 一二月二三日	
(炭仕切状) 一月一六日	丸屋源兵衛	久保田伝右衛門宛	申一	一通	九	大嶋屋三右衛門書状〔炭為積登二付〕 久保田伝右衛門宛 一二月二二日	
(炭仕切状) 二三日	丸屋源兵衛	久保田和吉宛	戌一一月	一通	十	大嶋屋三右衛門書状〔薪受納二付、追書別紙・受納証文添) 久保田伝兵衛宛 一二月二五日	
(炭仕切状) 一月二四日	丸屋源兵衛	久保田伝右衛門宛	戌一	一通	十一	(国木仕切状) 阿州高島生島屋次兵衛 観音丸善八宛 (文政一〇年) 亥七月一日	
(炭仕切状) 二月四日	丸屋源兵衛	久保田伝右衛門宛	亥一	一通	十二	(仕切状)	
						(諸品代金受取状) 松屋為之丞 観音丸善八宛 (文政一〇年) 亥七月二日	

(金子受取状) いせや善兵衛 久保田伝兵衛宛 文
政一〇年九月八日 一通ス 三

(金子請取状) いせや・戸田屋他 観音丸善八宛
辰二月・巳一月 一綴ス 四〇

(荷物送り状) 沼津積問屋矢部十郎兵 江戸深川油
堀真田信濃守御内役人中宛 弘化四年二月二十五日 一通ス 四一

豆州北江間村土井清次郎書状〔元利金差進〕 久
料村久保田伝兵衛宛 西二月二十九日 一通ス 四二

松屋為之丞書状〔手船観音丸積荷ニ付〕 久保田伝
兵衛宛 七月二二日 一通ス 四三

○

(観音丸造作入用帳) 嘉永四年三月 横長半 一冊ス 四四

観音丸仲作事当座帳 久料村久保田伝右衛門 嘉
永四年五月 横長半 一冊ス 四五

観音丸仲造作入用帳 久料村久保田伝右衛門 安
政六年五月 横長美 一冊ス 四六

観音丸善八乗造立木財日録 半 一冊ス 四七

(難破船取扱ニ付浦手形) 紀州新宮領久井浦吉之
丞他 久料村伝兵衛船沖船頭善八他宛 万延元年四月 一通ス 四八

(久料村伝兵衛船観音丸難破ニ付口上書控)
久料村伝兵衛船炊基太郎他 紀州新宮領宮久井浦庄
屋新兵衛他宛 万延元年四月 一通ス 四九

○廻米取船一件

(御廻米船御札ニ付返答書控) 一通ス 五〇

(廻米取船一件ニ付返答書控) 丸屋源兵衛船沖船
頭戸田村百姓善之助 葦山役所宛 安政三年八月 二通ス 五一

(廻米取船一件ニ付返答書控) 江戸鉄砲洲本湊町
丸屋源兵衛船沖船頭戸田村百姓善之助 葦山役所宛
安政三年八月 一通ス 五二

(江戸鉄砲洲本湊町丸屋源兵衛船廻米取船ニ相
成候一件ニ付返答書控) 安政三年八月 二通ス 五三

(宿預ケ中髪月代摘願書雛形) 奉行所宛 安政四
年四月 一通ス 五四

江戸弘御構場所書付 久料村宛 安政四年五月七
日 一通ス 五五

(廻米取船一件裁許請証文写届書控) 久料村百
姓代平右衛門 地頭所役人中宛 安政四年五月八日 一通ス 五六

(伝兵衛裁許之上久料村ニ住居不相叶ニ付引取
一札控) 久連村五郎右衛門 久料村名主五郎右衛
門宛 安政四年五月 一通ス 五七

(久料村百姓伝兵衛廻米積船ニ完荷積入候一件
之願書・裁許請書等写) 安政四年二月―明治二年
三月 半 一冊ス 五八

(廻米取船一件覚書) 二通ス 五九

○割付状

已租税可納割付状 葦山県 久料村名主・組頭・
惣百姓宛 明治二年一〇月 一通ス 六〇

西租税割付状 足柄県 久料村戸長・副戸長・惣百
姓 明治六年二月 一通ス 六一

○村

万覚帳〔享保―文化〕 久料村久保田伝右衛門 文化
七年一月 横長美 一冊ス 六二

伊豆国君沢郡久料村指出シ帳控 庄屋伝兵衛他
寛政五年一月 半 一冊ス 六三

伊豆国君沢郡久料村指出シ帳控 庄屋伝兵衛他 寛政七年五月	半	一冊ス	益	2	(相州三増合戦之刻武功ニ付為恩賞甲州小石和郷宛行状) 今福民部 久保田掃部宛 永禄二二年 一二月	一通
君沢郡久料村差出し帳控 名主伝兵衛 寛政九年七月	半	一冊ス	益	3	(甲州鎮田之郷安堵状) 本多弥八郎 久保田喜太郎宛 天正一〇年八月三日	一通
豆州君沢郡反別帳 名主伝兵衛 寛政一〇年二月	半	一冊ス	益	4	(波際川除ケ自普請請書) 久料村名主伝兵衛 白石幸右衛門・園田清右衛門宛 寛政九年三月	一通
豆州君沢郡久料村人別宗門帳控 久料村名主伝兵衛他 進喜太郎御内秋山重藏宛 享和二年三月	半	一冊ス	益	5	(名字免許并江戸詰之内中小姓格申村状) 喜太 久料村伝兵衛宛 寛政一二年	一通
豆州君沢郡久料村人別宗門帳控 久料村名主伝兵衛他 進喜太郎御内秋山重藏 享和三年三月	半	一冊ス	益			
(名主役交代ニ付諸帳面引渡被仰付候様願書控) 久料村名主伝右衛門他 葦山眞役所宛 明治三年		一通ス	充			
(久料村略絵図) 久料村戸長久保田伝右衛門他	2x21	一枚ス	益			
(関所通行手形控) (江戸久料村迄) 馬喰町老丁目羽生屋藤兵衛 箱根関所役人中宛 安政四年四月一日		一通ス	益			
(屋敷十ヶ年季売渡証文) 中町太次右衛門 西間門村儀助宛 寛政八年九月		一通ス	益			
加賀国宮越一件 (銭屋五兵衛事件ニ付)		一通ス	益			
(本所松倉町名主重兵衛江戸払申付状写) 巳四月七日		一通ス	益			
(久保田家古文書書拔)	半	一綴ス	益			
1 (信州戸石合戦之刻武功ニ付感状) 晴信 久保田午之助宛 天文一五年三月一日		一通				

立保村文書目録

(文書記号 23Z57)

○立保村

伊豆国君沢郡立保村差出帳 百姓代伝右衛門・組頭市右衛門・名主文右衛門 重須役所宛 天明二年二月	半	一冊七	一
大縮須丸帳 豆州立保村津元兵左衛門 文化二年五月二十七日	横長半	一冊七	二
富吉丸半四郎乘小日記 文政二年二月十五日	横長半	一冊七	三
富吉丸半四郎乘小日記 文政二年二月	横長半	一冊七	四
富吉丸半四郎乘小日記 豆州立保浦 文政二年二月	横長半	一冊七	五
富吉丸半四郎乘小日記 文政二年四月	横長半	一冊七	六
富吉丸半四郎乘小日記 文政二年五月	横長半	一冊七	八
富吉丸半四郎乘小日記 文政二年七月	横長半	一冊七	七
炭真木手板帳 立保村渡辺兵左衛門 文政二年三月	横長半	一冊七	九
炭薪手板帳 渡辺兵左衛門 文政二年五月	横長半	一冊七	一〇
炭薪積荷手板帳 富吉丸半四郎 文政二年二月二十九日	横長半	一冊七	一一
無尽帳 天保一〇年八月	美	一冊七	一二
海岸検地水底計尋立書上帳 豆州君沢郡立保村 天保二年一〇月	半	一冊七	一三

役帳表諸払帳 立保村名主兵左衛門 嘉永五年・六年

当丑御物成勘定帳 豆州君沢郡立保村他三ヶ村大庄屋渡辺与左衛門 嘉永六年二月

立保村留書 嘉永

御趣意ニ付規則取極帳 内浦九ヶ村組合中立保村名主・組頭・百姓代惣代 重須村名主土屋一平・同三津村名主金指儀右衛門宛 明治三年一月

(伊豆国立保村戸籍) 明治五年

諸職業規定方法書并確証類其外仲間人名簿書上目録 第四大区四小区副戸長渡辺兵左衛門 足柄県令柏木忠俊宛 明治七年二月

(漁業関係書類綴)

1 (船五拾石以上以下取調書上書) 伊豆国君沢郡立保村副戸長野邑権左衛門・戸長渡辺兵左衛門 足柄県令柏木忠俊宛 明治七年五月一日

2 安房国平郡川名村佐藤長五郎船出帆免状 駿河国清水港船政所 房州平郡船政所宛 明治一三年二月一日

3 (魚積船水夫コレラニ而死亡ニ付予防法説諭請書) 静岡県第三大区志小區庵原郡堰沢村大村茂衛門代理原茂左衛門他二名 第八大区三四小区戸長宛 明治一〇年一月九日

4 (廻米積船一件ニ而江戸弘被仰渡候久料村元百姓伝兵衛赦免願書) 立保村名主兵左衛門 地頭所役人衆中宛 明治元年

(立保村明細帳) 立保村文右衛門 安久村秋山先生宛 寛政九年閏七月

伊豆国君沢郡立保村午年田方下見坪苜帳 明治 横長半 一冊七 三
 三年九月
 外浦廻文・訴状等写 半 一綴七 三

所属不明文書目録

(文書記号 23Z57)

- 年々未進金納寛 貞享二年 横長半 一綴七 三
- (鯨子四艘寄合定書) 津元・綱子 享保四年八月 一通七 三
- (髮結職方所由緒書) 江戸髮結四八組年行事・月行司 元文二年八月一六日 一通七 三
- (伊豆領分江被仰出候条々請書控) 宝曆一二年六月 横長半 一冊七 三
- (諸役納入出入覚) (明和年間) 一通七 三
- 沼津問屋・五十集仲買商人連名書 文化元年五月 半 一冊七 三
- (貸付利金請取状) 江川太郎左衛門手代柏木義七郎・岡田忠左衛門・逸見正兵衛・森田永四郎 大沢村七左衛門・納人中宛 文化二年一二月一日 一通七 三
- (貸付金利子請取状) 江川太郎左衛門手代柏木義七郎・岡田忠左衛門・逸見八助・森田永四郎 大沢村納人中宛 文化三年一二月一五日 一通七 三
- (貸付金利子請取状) 江川太郎左衛門手代柏木直兵衛・岡田忠左衛門・逸見八助・森田永四郎 大沢村納人中宛 文化六年一二月一六日 一通七 三
- (貸付金利子請取状) 江川太郎左衛門手代柏木直兵衛・岡田忠左衛門 大沢村納人中宛 文化一一年一二月五日 一通七 三
- 寅御年貢米永皆濟目録 佐々木源左衛門・中安辰之進・渡辺清藏 江梨村名主・組頭・惣百姓宛 文政二年一月 一通七 三

(魚取引出入済口証文) 駿州沼津宿魚問屋仲買惣代・口野村他一〇ヶ村魚商人惣代 文政九年三月	一通七	三
重寺村より江梨村まで浦方漁業取究書 豆州君沢郡内浦組重寺村他一〇ヶ村各津元 天保三年八月	一冊七	三
木挽覚扣牒 修善寺村助四郎 安政二年一月	一冊七	三
(新法沖あくり網皆止訴状控) 江川太郎左衛門代官所駿州富士郡大野新田百姓平左衛門外四拾五人惣代水野出羽守領分駿州富士郡口野村訴訟人名主彦左衛門他 寺社奉行所宛 安政三年	半	一冊七
種痘御届書 伊豆国君沢郡江梨村他一一ヶ村各戸長第四大区小四区副区長宛 明治八年九月	一綴七	三
榛原郡農事会・農学支舎開設ニ関スル郡下町村聯合會議報告書翰(農業文社設立規則・郡會議員名簿・農事會費予算書添) 静波町ヨリ杉甫作蔵・片岡安八 榛原郡牛尾村鈴木彦右衛門宛 明治一四年九月七日	一綴七	三
(漁業関係書類写綴)	半	一綴七
1 船壳買ニ付御鑑札更改願 売渡人駿河国駿東郡江ノ浦村岩崎庄七・買受人伊豆国君沢郡山田吉五郎 君沢・田方郡長岡田直臣宛 明治一四年四月	一通	三
2 出帆免状 伊豆国君沢郡立保村戸長渡辺兵左衛門 駿河国会津港船改所宛 (明治年間) 八月一六日	一通	三
3 (漁船取調書上書) 豆州君沢郡木負村副戸長相磯善左衛門・相磯市左衛門 足柄県令柏木忠俊宛 明治八年一〇月一九日	一通	三
4 拾ヶ年海面拝借營業規則 (明治年間)	一通	三
(内浦組合各村地先海面ニ於ケル漁業及通船妨害張切網勸解事件書類写) 明治一八年	半	一綴七

原籍・人相調査簿 明治三十七年三月二日	半	一冊七	三
松魚餌鯿壳買高・諸雜費高利害付込簿 明治四一年五月二五日―九月二五日	半	一冊七	三
松魚餌鯿壳買扣簿 大屋 明治四一年七月二〇日	半	一冊七	三
松魚餌鯿壳買扣簿 大屋 明治四一年八月二二日	半	一冊七	三
松魚餌鯿壳買扣簿 大屋 明治四二年八月二九日	半	一冊七	三
松魚餌鯿壳買扣簿 大屋 明治四二年五月二〇日	半	一冊七	三
(夫錢納入・魚漁利益分配等ニ付尋問書写) (明治年間)	半	一綴七	三
(貸金返金差引覚) (明治年間)	半	一綴七	三
(廻状ニ付申達書) 長浜村津元小文治 三津村・小海村・重寺村津元中 六月四日	半	一通七	三
(江之浦村釣漁之義ニ付談義有之間罷出候様申渡書断簡) 瀬川広次・今井孝年 江之浦村・口野村宛	半	一通七	三
漁業割覚	半	一冊七	三
船橋勘定諸雜費覚	横長半	一冊七	三
(米金勘定覚)	横長半	一通七	三
諸口役定法 井田村源次郎所持 慶応三年	半	一冊七	三
申年未進書出覚 酉一二月	横長半	一綴七	三
(酒・酢代金覚)	横長半	一通七	三
(買米代金渡方覚断簡) 酉二月二七日	半	一通七	三

(名寄帳断簡)

(名寄帳)

(鏈荷覚)

(新金銀引替之法ニ付書付写) 河原清兵衛 重寺
村以下三ヶ村名主・百姓宛 一二月六日

(松崎岩料村権七所持道具之覚) 組預リ金右衛門
名主・組頭中宛 申一二月一八日

白浪五人男弁天小僧菊之助 高木肇写

牛旋激水図

(書状断簡)〔異国船逗留之節之見廻入用ニ付〕

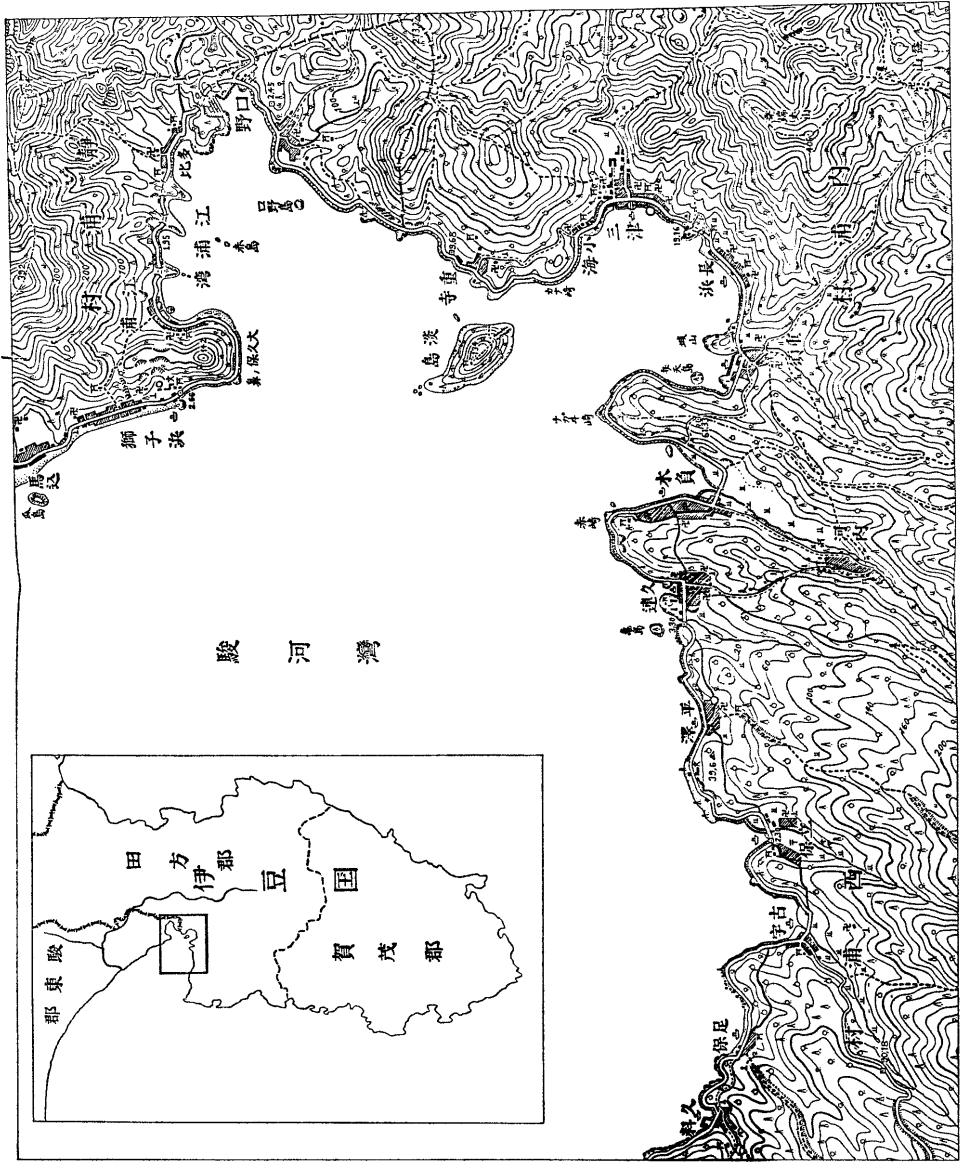
横長半 一綴七 五
横長半 一冊七 六
一通七 六

半 一冊七 六

32×44 一鋪七 六

一通七 六

播磨縣田方郡内浦村西浦村部分圖



『豆州内浦漁民史料』より転載

伊豆国君沢郡内浦史料目録解題

文書の伝来

内浦史料の根幹をなす長浜村大川家（屋号大屋）文書の目録は既に『史料館所蔵史料目録』第二十二集（以下、第二十二集と略称する）として刊行されており、本目録にはその他のすべての内浦史料を収めた。文書の伝来については第二十二集の解題に述べてあるので、そちらを参照されたい。

豆州君沢郡内浦の区域

「内浦」は、江戸時代には伊豆国君沢郡に属し、現在、静岡県沼津市内浦としてその名称をとどめているが、古く天正頃までは「西浦」と称していたようである。戦国期の史料には西浦庄内七ヶ所として三津・重須・くすら（久連）・ひら沢・木正（木負）・しけてら（重寺）・長浜の名が見え、これら西浦御領所は後北条氏の直轄領で、代官・小代官の支配をうけていた。この「西浦庄」が「内浦」と呼ばれるようになったのは慶長以後であるが、地域的には固定せず、時には一四ヶ村、また時には七ヶ村、六ヶ村といったふうであった。しかるに、万治年間頃より重寺・小海・三津・長浜・重須・木負の六ヶ村に固定したようである。この六ヶ村は地理的に隣接しており、漁業上密接な利害関係にあった。したがって、一種の漁業組合としてのまとまりを持つようになり、対外的には団結して自分達の利益を守り、対内的には漁業上の

対立を調節する（このために「浦法」が定められた）機能を果たした。こうしたまとまりが「内浦」の名称の地域的固定化となって反映したものであろう。

また、伊豆国は田方・君沢・那賀・加茂の四郡に区画され、更にこれらの郡内はいくつかの組に分けられて分割支配されており、この場合の「内浦組」は重寺村より戸田村までの一六ヶ村あるいは一二ヶ村より構成されていた。この「内浦組」の名称は、内浦史料では延宝年代より現れてくる。内浦組の割本（大名主・大庄屋）は初め三津村に置かれていたが、貞享以降は重須村に移された。

明治九年に設定された内浦村は、重寺・小海・三津・長浜・重須の五つの大字で構成されている。

支配関係の変遷

先述したように、「内浦」の前身である「西浦庄」は戦国期には後北条氏の直轄領で、代官・小代官の支配を受けていた。そして、長浜の大川若狭をはじめとする地侍的性格を持つ有力者達は後北条氏の被官となっていた。しかるに、天正一八年の秀吉の小田原攻略、徳川家康の関東入部を契機に、当地も幕藩制的支配下に組み込まれることとなり、地侍達も「百姓」身分に固定され、大名主あるいは名主とされて地方支配機構の末端を担わされることとなった。

近世における内浦の支配関係の変遷は、次の三時期に区分される（以下の記述は沼津市歴史民俗資料館編『沼津内浦の民俗』第一章「内浦地区のなりたち」（友野博氏執筆）による）。

第一期は慶長から正徳までである。この時期は幕府領で、三島代官所の支配下に置かれていた。

第二期は正徳から延享までである。この時期には、三島代官所と垂山代官所とによって支配が二分され、一方では大名領が入り組み始める。例えば、享保八年（「浮役米赦免訴状」〔五五〇―アチック・ミューゼウム刊『豆州内浦漁民史料』の文書番号、以下同一〕）には、重寺・重須・長浜は三島代官河原清兵衛の、三津・小海は垂山代官江川太郎左衛門の支配下に置かれている。これより以前、正徳二年「浦々高札廻

年次 村名	延享4年	宝暦11年	寛政6年	文政元年	嘉永3年	安政4年
重寺村	小笠原土丸知行所	小笠原佐渡守領分	江川太郎左衛門代官所	津田壯之助知行所	津田鉄太郎知行所	津田英次郎知行所
小海村	斎藤喜六郎代官所	江川太郎左衛門代官所	大久保加賀守領分	大久保加賀守領分	大久保加賀守領分	大久保加賀守領分
三津村	斎藤喜六郎代官所	江川太郎左衛門代官所	江川太郎左衛門代官所	津田壯之助知行所	津田鉄太郎知行所	津田英次郎知行所
長浜村	小笠原土丸知行所	小笠原佐渡守領分	江川太郎左衛門代官所	津田壯之助知行所	津田鉄太郎知行所	津田英次郎知行所
重須村	小笠原土丸知行所	小笠原佐渡守領分	江川太郎左衛門代官所	大久保飛驒守知行所	大久保鉄次郎知行所	大久保兵庫知行所
木負村	間部玄蕃知行所	間部玄蕃知行所	間部主水知行所	間部主殿知行所	間部熊五郎知行所	間部熊五郎知行所
久料村	小笠原土丸知行所		進喜太郎知行所		進太郎左衛門知行所	進銀次郎知行所
立保村	小笠原土丸知行所	小笠原佐渡領分	進喜太郎知行所		進太郎左衛門知行所	進銀次郎知行所
史料番号	686	747	906	1062	1250	1392
史料名	内浦組村々知行付書 上帳	未進米稟捐願書	新規鯨漁差止願書	漁業差障出入訴状	漁場出入済口証文	揚繰まかせ網差止願書

<註> 史料番号, 史料名は『豆州内浦漁民史料』のもの。

状」〔四八六〕、同五年「拝借金訴状」〔五〇五〕には、小海・三津・木負は間部越前守、同隠岐守の所領となっている。

第三の時期は延享から幕末までである。この時期には、君沢郡内浦組内の各村々が、幕府領、大名領、旗本領の入組んだ複雑な支配関係の下に置かれていっている。本目録に關係する村々のこの時期の支配関係の変遷を例示すると表の如くになっている。

以上のように、近世における内浦の支配関係は大きな変化をみせているのであるが、これが幕藩制の支配のあり方を考える上で、どのような意義を持っていたのか、またそれが内浦に如何なる影響を及ぼしたかについては、やはり今後の研究課題の一つといえるであろう。しかしこうした支配関係の錯綜化の中にも、内浦六ヶ村は後北条氏時代の「御菜場」（「御菜肴」の貢納場所）としての伝統を背後に持ちつつ、漁場を中心とした一つの地域共同体として確立し、発展しつづけたものと考えられる。

なお、第二十二集の解題に三島代官と葦山代官の変遷表を載せているので参照されたい。

文書の配列と概要

本目録の作成に当たり、文書群を史料原蔵の重寺村秋山家、同加藤家、小海村増田家、同大沼家、長浜村大川家（屋号大屋）、同大川家（屋号北方）、同小川家、重須村土屋家、木負村相磯家、久料村久保田家の各家別にまとめたが、右記のどの家に所属するのか不明の文書もかなりあり、それらの中、立保村関係のものは「立保村文書」として、その他は「所属不明文書」として一まとめにした。文書番号は各家文書ごとに一番から付し、ア・イ・ウ……を冠して区別した。但し、「立保村文書」と「所属不明文書」はまとめて通し番号を付した。各家文書は所属する村を同じくするものを隣接させ、一番北の重寺村より順次配列した。

第二十二集所収の長浜村大川家（屋号大屋）文書は現地原蔵の全文書が収集されたものであったが、本目録所収の文書は選別されて収集されたもので、したがって各家文書の点数は一番多い三津村大川家でさえ五五〇点余で、一〇〇点以下の家が大半を占めている。そのため各家文書に共通した統一的な分類項目を立てることは不可能であり、便宜上、比較的点数の多い家については大・中の項目も立てたが、その他点

数の少ない家については主として○印の少々項目のみで同種・同内容の史料をまとめて配列するにとどめた。

内浦は駿河湾沿岸に位置し、住民は主として漁業を生業としていた関係上、そこに残された史料の特徴は何といっても漁業関係史料が中心をなしていることにある。内浦漁業の内容および貢租制度の特徴については、第二十二集の解題に述べてあるので、ここでは、各家の文書の特色、村と家の概略等について簡単に記すにとどめる。なお、各家の略系図を一括して巻尾に付した。

重寺村秋山家文書

重寺村の村高は二七石六斗三升七合で、内浦六ヶ村の中では小海村に次いで少ない。戸口は宝永七年〔「重寺村差出帳」、四七五〕、家数五七軒（本百姓四二軒、水呑一三軒、寺二軒）、人別三四七人（男一九三人、女一五〇人、出家四人）、享保二年〔「重寺村高反別村差出帳」、五八〇〕、家数六九軒（本百姓四二軒、水呑二五軒、寺二軒）、人別三九五五人（男二〇五人、女一八七人、出家三人）、宝暦七年〔「重寺村絵図」、ア四九〕、家数六七軒、文政六年〔「五ヶ村軒別改覚」、一一〇三〕、家数六五軒（津本^{つもと}四軒、網子^{あみこ}五九軒、別稼^{べつかせ}二軒）、明治二六年一同三〇年〔「静岡県田方郡内浦村重寺漁業調査表」、ア七〕の平均戸数七四軒（漁七〇軒、商三軒、寺一軒）、平均人口五四四人（男二七七人、女二六七人）となっている。

このように当村は戸数に比して耕地が少なく、宝永七年の「重寺村差出帳」〔四七五〕に「男作間 是ハ獵場ニ御座候故、海へ出申候外ニ稼ハ無ニ御座候」とあるように漁業への経済生活の依存度が極めて高かった。このことは文政六年の「五ヶ村軒別改覚」〔一一〇三〕では、重寺村の軒別六五軒中津本（漁業経営者）四軒、網子（各津本に所属し、漁撈操作の技術と労力を提供する）五九軒で、別稼が二軒しかなかったことに端的に示されている。つまり、当村ではほぼ全住民が津本―網子の関係に編成されていたことになる。

明治三六年編成の「静岡県田方郡内浦村重寺漁業調査表」〔ア七〕によると、漁場Ⅱ網戸場^{あんど}は四ヶ所（淡島、島合、家ノ前、木置戸）で、網組は浄富方・三人方・浜方・浄泉方の四組であった。各網組に津本（元）が一人づついて、これに各々一〇数名の網子が所属して立漁（立切網漁業）を行なったのである。調査表では、魚種としてマグロ、カツオ、メジカ、ヨツワリ、ウヅワ、イルカ等をあげている。

秋山家についてみると、明治一五年二月二八日付の「水産博覧会出品目録」〔一六二〇〕に添付された「出品人秋山六右衛門」記述の「営業履歴」に、次のように記されている。

我カ祖ハ甲斐国ニ起リ浄富居士ノ世、慶長年間ニ居ヲ駿河国駿東郡多比村ニトス、其性質好テ釣網ソノ他一切ノ漁事ニ寄セ天命ヲ終レリト、嫡子了心居士父ノ遺業ヲ拡張シ捕業ノ途ヲ講シハ中略ノ寛永年中又居住ヲ本村ニ従ス、然リ而シテ古来ノ津元ト謀リ一ツノ網組ヲ新設シ公称シテ浄富方組ト唱フ、己レハ津元ト成リ共ニ租税ヲ分担シ海面ヲ所有シテ進退自由ヲ得……ハ後略……

これによると、浄富居士（初代秋山六右衛門）は甲斐国の出身で、慶長年間に駿河国駿東郡多比村に移り——現在でも、菩提寺は多比の江月寺で、秋山氏開基と伝えられている——、嫡子了心居士（二代秋山六右衛門）が寛永年中に住居を重寺村に移して網組を新設し、浄富方組と称して自らはその津元となったことになる。宝永七年の「重寺村郷村并反別指出シ帳」〔四七五〕では長百姓六右衛門、文政元年の「漁業障出入訴訟状」〔一〇六二〕では名主六右衛門、安政二年の「河内村御林木出人足覚」〔ア四八〕では名主次郎右衛門となっており、当村の村役人層の一員であったことがうかがえる。

なお、質地証文や金子借用証文では「重寺村新蔵」宛のものが数通みられるが、秋山新蔵家は六右衛門家よりの分家である。

△註▽

〔ハ〕内の番号のうち、「ア」を冠してあるものは本目録の秋山家文書の史料番号、冠していないものは『豆州内浦漁民史料』の史料番号である——この分の史料は本目録には入っていない——。他家の文書についても同様にして区別することにする。

重寺村加藤家文書

加藤家は三人方組の津元で、嘉永二年の「津田鉄太郎知行所絵図」〔ア五一〕では名主となっている。本目録所収の加藤家文書は二二点にすぎず、津元をやっていた関係上「水揚帳」が大半を占めている。

小海村増田家文書

小海村の村高は二一石五斗六升四合で内浦六ヶ村では最も少ない。現在、内浦地区において唯一の漁業の盛んな所で、内浦漁業協同組合が置かれている。明治五年の総戸数は三四戸（うち神社一、寺二）で、男一〇七人、女八九人となっている（『沼津内浦の民俗』、七二頁）。

小海村の網組は上方（ウワガタ）、下方（シタガタ）の二組であったが、明治の中ごろから中方（ナカガタ）が新に設けられている（同前書、七四頁）。文化一五年時の小海村の津元は、彦兵衛・友右衛門・平兵衛・七兵衛の四人となっている（『新規漁場差止願書』、一〇六一）。明治七年時の上方津元は増田七兵衛・日吉友右衛門であったことが史料的に確認できるから（『上下方々請取候網戸日廻り之書付写』、ウ三）、上方組、下方組とも各二人の津元がいたものと推測し得る（ただし、いつの時期からそうだったかは史料的に不明。津元株の分割によって途中から一網組に複数の津元が存在するようになったのかもしれない）。

小海村には網戸場は一つしかなく、上方と下方が交代で漁に当たった。延宝九年三月までは上方は一二日間、下方は六日間で交代していたのが、以後上方は六日廻り、下方は四日廻りとするのを申し合わせている（ウ三）。しかし、中方が加わるとこの日割はくずれ平等になった（同前書、七四頁）。

「増田家過去帳」をみると、初代七郎右衛門は延徳二（一四九〇）年の没となっており、かなり古くから当地に土着していたことになる。中世の地侍が幕藩制下の「百姓」に転化した典型といえる。名主も時折勤めており、先述したように上方組津元の一人であった。文政二年には、三津村七右衛門より五十集道具を買得しており（『五十集道具売渡証文』、ウ四）、魚商いもしていたらしい。また、安政二年の「万塩売買扣帳」（ウ一二三）をみると、塩を阿波等から仕入れて周辺農村に売っている。

増田家は現在、沼津市下香貫に転出されている。なお、沼津市歴史民俗資料館に増田家と分家の史料が約二〇〇〇点収蔵されている。

小海村大沼家文書

大沼家は下方組の津元であり、名主も勤めたことがある。本目録所収の史料の中では明治期の漁割帳が比較的そろっている。

三津村大川家文書

三津村の村高は一六二石八斗（一四町九反四畝二歩）で、田方八町七反一畝一七歩、畑屋敷六町二反三畝一〇歩となっている。内浦六ヶ村の中では木負村に次ぐ村高である。しかし、戸数に比すれば耕地は少なく、表示したように、一石未満の極零細規模の名請人が大部分を占め大高持もない。

宝暦一〇年の「村差出帳」〔オ四〇二〕によると、網戸場は三ヶ所で、網組は三組であった。文政六年の「五ヶ村軒別改覚」〔一一一〇三〕では、三津村の軒別一〇〇軒のうち、津元三軒、網子二四軒（ただし、一人は他村より抱え）で、残りの七四軒は別稼となっている。貞享元年の「三津村覚書」〔オ三九八〕では、「雑石は所ニ而被下候程無御座、三津村半分ハほていふりニ而在々江罷出塩鱒など売候へて雑石ニ代替其

日くらし仕候、残者ハいさは商人并あんこ、又上方之米塩之間屋三軒御座候」と記されており、三津村には魚商人、行商人、米塩問屋の存在したことが知られる。

戸口は、貞享元年〔「三津村覚書」、オ三九八〕、七八軒（本百姓三九軒、水吞三七軒、医者二軒）、三六六人（男二〇〇人、女一五六人、僧八人、医者一人）、宝暦一〇年〔「三津村差出帳扣」、オ四〇二〕、一〇六軒（本百姓九四軒、水吞二軒）、四七二人（男二四四人、女二二八人）、寛政四年〔「三津村明細書上帳下書」、オ四〇四〕、一〇八軒（本百姓一〇〇軒、地借水吞五軒、店借水吞三軒）、四九二人（男二六四人、うち下男一〇人、女二二八人、うち下女一人）、文政六年〔「五ヶ村軒別改覚」、一一〇三〕、一〇〇軒となっている。

三津村大川家の初代隼人は、長浜村大川家（屋号大屋）から分かれ、兵庫とは兄弟の關係であったと言えられている。「杉原伯耆守長房書状」〔オ四〕では、大河兵庫・隼人が伊豆国西浦の物成の才覚を依頼されており、「彈正少弼書状写」〔オ三〕でも両名が三津（西浦カ）七

三津村持高表

年次	元文5年	寛政元年
持高	名請人数	名請人数
10石 — 13石	2	2(1)
5石 — 10石	4(1)	5(1)
1石 — 5石	17	20(1)
1斗 — 1石	46(1)	50
1斗 未満	32	38
合計	101	115

・元文5年、寛政元年の「三津村名寄帳」（大川一知家所蔵）により作成

・（ ）内は寺院の数

郷の魚年貢の取立てを申し付けられているから、戦国期には長浜の大川家と並ぶ当地域の有力者であったと推測される。

文化一二年一月までは、名主を度々勤めており、文化一〇年には、大沢村・長浜村・小坂村・重寺村・江梨村の取締役割元を申し付けられている（「取締役割元申渡書」、オ四一四）。しかるに、文化一二年一月、名主大川伝左衛門が病気のため退役して以後は久左衛門（金指）、清助、忠助（関）三人が一ヶ年持廻りで名主役を勤め、組合村割元役も年番名主が「伝左衛門」の名義で勤めることになった（「名主休役ニ付仰渡請書控」、オ四一六）。したがって、名主の職務にかかわる公的文書は文化一二年までのものである。

大川家は津元でもあった。また、持高は元文五年四石三斗二升、寛政元年一石八斗四升六合（うち長瀬境の分が一石一斗四升四合）となっている。

なお、大川一知氏宅に、享保四—文化一二年の名寄帳、元禄元—文化七年の御取箇割帳を中心に二〇〇点余の冊子が残っている。

三津村金指家文書

金指家は津元で、文政以降は名主として史料上に度々顔を出している。持高は元文五年六石三斗八升七合、寛政元年五石三斗一升八合となっている。

本目録に収めた史料は三〇点余であるが、現地の金指宅には文政以降明治にかけての史料が二〇〇点余残っている。その中の一つに、金指儀右衛門英彥が自家について記した文書がみられるが、それによると儀右衛門英豊（嘉永二年没）について「家事衰弊之余ヲ受ケ拮据経学大ニ家産ヲ増殖ス我家中興ノ祖ナリ天保度拔擢セラレ知郡津田公ノ家政ヲ理シテ功アリ公拳テ郡ノ代官トス」と記されている。事実、天保一〇年五月の領主津田家から金指儀右衛門に宛てて出された「金子借用証文」（「カ二七」）には「六ヶ村取締」と肩書されている。金指宅所蔵史料にも津田氏に貸付金した時に受け取った借用証文が数通みられる。また、当村および近隣諸村にも貸付金している。明治三七年の「地先水面専用漁業・定置漁業・特別漁業免許願書扣」（「カ二〇」）では、三津浜漁業組合理事として願人となっている。

三津村松本文書

松本家は魚商人で、本目録所収史料の大部分は魚商いに関するものである。特に魚仕切状が多く残っており、主として沼津と江戸日本橋の魚問屋と取引している。「馬帳」〔キ七、八、九〕は、魚荷物の数量と馬を扱う人夫の名前を記したものである。魚が取れると、三津の荷宰^{にせい}料や馬頼^{りょう}みが長瀬・小坂辺の百姓に触れ歩いて馬を集めた。荷ができる^{りょう}と馬の列が続いて三津坂を越し、今の長岡から湯ヶ島を通って天城を越えて網代へ出て、そこから押し送り船で相模灘を乗切り三浦岬を廻って江戸へ入った（『豆州内浦漁民史料』の「本書の由来」、一二頁）。なお、魚仕切状にでてくる「スキミ」というのは鮪を大きな切身にして塩漬けたものである。これは、沼津の魚問屋を経て、富士川筋を溯り身延を通して中馬の背を借り甲州にも入ったという（同前書、一二頁）。

また、天保一四年の「当座帳」〔キ七七〕をみると、木綿、塩、米、紙等多種の品目を取引きしており、魚商いだけではなく、日常必需品を他地方から仕入れ当地域に売りさばっていたことがわかる。在方商人として多様な機能を果していたことがうかがえる。なお、松本勘七は明治初年には戸長を勤めている。

長浜村大川家（屋号大屋）文書

本目録には、第二十二集に収載もれた分を取めた。

長浜村の村高は、文祿三年三九石五斗七升八合、正保三年四三石五斗三升五合で、以後幕末まで一定している。網戸場は五ヶ所、網組五組で、津元は三人、網子三〇人（一組六人）であった。長浜村および大川家については第二十二集の解題で詳しく述べられているので参照されたい。

長浜村大川家（屋号北方）文書

当家は長川一族のうちの一家であるが、確かな家の創立年代は史料的に判明し得ない。津元で、一九世紀にはほぼ連続的に名主役として史

料上に出て来る（それ以前は、屋号大屋の大川家が多く名主役を勤めている）。例えば年貢皆済目録は、享和二年から幕末までのものが当家に旧蔵されていた。全体の数量はそれほど多くないが、多項目にわたって史料が残存しており、大屋旧蔵史料と併用することによって長浜村の実態をあらゆる面から詳しく検討することができる。

なお、持高は寛文一二年（「長浜村田畑屋敷拾帳」、第二十二集三八九七）、二斗一升六合七夕、明治元年（「田高反別改帳」、第二十二集三八四四）、四斗六升九合七夕となっている。

長浜村小川家文書

明治八年二月一九日付の太政官布告第一九五号により海面が官有となったことは、内浦漁民にとってまさに衝撃的なことであった。幕末以降網子達が団結して津元の特権を否定せんとする動きが顕著になってきていたのであるが、右の布告を機に両者の対立はますます深まった。すなわち、両者が海面拝借の競願を行なったのである。小前（網子）惣代の一人に小川喜助がなっていた関係上、この一件史料が多く残っている。網子一同は海面の「一村協同拝借」を願出で、「一村共和営業」を実現せんとした。しかし、津元側にのみ許可が下ったため、網子達は静岡県庁から内務省へと出願をくり返したが却下され、ついには東京上等裁判所へ出訴している。小川喜助は惣代として上京しており、その間現地から喜助宛に出された書状がかなり残っている。この事件は、明治一三年二月二五日に示談が成立している。一件文書であるので事件の経過順に配列すべきであるが、年次の書かれていないものについては、年次の推定しうる分を除いて、一括して順不同で配列した。

「新規地引網差止一件」は、明治一八年、長浜村の菊地兵右衛門他七名が同盟して大川四郎左衛門所有の網戸・漁具を買い受けて新規に開業せんとしたのに対し、小川喜助等が惣代となってその差止めを訴えた事件である。前事件ならびにこの事件を含めた明治初期の内浦における漁業出入については、祝 宮静氏『豆州内浦漁民史料の研究』第二、三章で詳細に論述されているので参照されたい。

重須村土屋家文書

先に触れたように、内浦には割本制があり、中期以降の大名主の役宅は重須村にあった。大名主として土屋幸助、土屋儀太夫の名がみえる。土地・貢租の特色としては重須村は村高一五一石七升四合で内浦六ヶ村のなかでも多い方だが、浮役米は一六石五升と海役的なものが少く、村高が少く浮役の多い長浜村と対蹠的である。なお元禄二年以降三分の二が免除され、重須村の浮役米は五石三斗五升となった。ちなみに天明・天保重須村指出帳〔サ六八、六九、七〇〕によれば漁船は二艘とある。

なお、この文書には嘉永七年の津波被害関係の史料が十二点ほどある。また「重須村絵図」をはじめ「内浦六ヶ村網度絵図」など絵図類は十三点におよんでいる。

重須村家数は天明五年、五八軒(三軒寺・五五軒百姓家)、天保十三年、五七軒(三軒寺・五四軒百姓家)、明治三年、五五軒とあまり変化がなく、人数は天明五年、二百九七人(男一六二人・女一三四人・僧一人)、天保十三年、二八六人(男一三七人・女一四九人)、明治三年、三三六人(男一六八人・女一六八人)である。

木負村相磯家文書

第二十二集大川家文書目録の支配の項に十一通の虎印判状を列記したが、本文書中にも天正七年十一月のそれが一通含まれている〔シ二〕。内容は北条氏が木負村百姓に「船掛庭之普請」を指令したものである。また年貢割付状は一七通残存しているが、そこには彦坂九兵衛・市川喜三郎・伊奈兵藏・伊奈兵右衛門・五味小左衛門等、慶長・元和年間から元禄期にいたるまでの代官の名がみられる。

木負村の村高は一七五石六斗九升二合と内浦六ヶ村の中で最も多く、元禄二年年貢割付状によれば、取米は七八石八斗七升四合であった。しかし海役を主とした浮役米は五石七斗一升(元禄二年以降は一石九斗)と最も少く、寛延三年の「木負村口上書」〔シ三五〕によってみても長浜村などにくらべ漁稼方の規模は小さかった。

相磯家(屋号元ウエノオオヤ)は系図に示すように代々殆ど徳兵衛・半左衛門を名乗っているが、幕末まで名主と津元を兼帯した。また文政・天保年間の無尽関係史料一通によればその期間、無尽講の大司(親司)をつとめている。

久料村久保田家文書

久料村の村高は二〇石九斗七升五合で、反別一町七反四畝六歩である。寛政九年（「君沢郡久料村差出し帳控」、ス六五）の家数は一四軒、惣人数七九人（男三七人、女四一人、僧一人）となっている。久料村の津元は当家（屋号波止場）と屋号大屋の久保田家であった。当家は廻船を所持して商業も営んでいた。塩、炭、薪の仕切状がいくつか残っている。

「万覚帳」（ス六一）は、享保—文化年間の田畑、山林の売買を名主に届けたものを書留めたものである。なお、当家は名主も何度か勤めている。

付記

本目録の作成は大藤 修が担当した（土屋家文書、相磯家文書については榎本宗次）。作成に当っては現地の多くの方々に大変御世話になった。現地調査に際し御協力いただいた沼津市教育委員会鈴木裕篤氏、沼津市立沼津高等学校教諭友野 博氏、沼津市歴史民俗資料館の各位、ならびに御多忙中のところを訪問したにもかかわらず、御親切に御もてなしいただいた秋山太郎氏、加藤きさ氏、増田誠延氏、大沼美己氏、大川一知氏、金指博夫氏、松本則衛氏、大川恒次氏、小川敏郎氏、土屋浩一氏、相磯三郎氏、久保田敬男氏の各御家族、江月寺、医源寺、浄因寺、住本寺、安養寺、光明寺、長福寺、福寿院の各御住職の御厚情に対し心より感謝の意を表したい。

〔重寺村秋山家 (屋号大屋) 略系図〕

一代 六右衛門

元和5年7月17日没
瑞峯院景巖浄富居士
妻

元和5年5月17日没
清涼院香嶽総蓮大姉

二代 六右衛門

延宝6年6月9日没
顕光院月浦了心居士
妻

寛文2年6月9日没
靈月院天室妙桂大姉

三代 六右衛門

元禄10年6月4日没
玄機院生巖了鉄居士
妻

享保5年1月6日没
信受院福巖妙寿大姉

四代 六右衛門

享保19年8月6日没
大観院一山万夢居士
妻

宝暦2年4月21日没
淳心院松闍守貞大姉

五代 六右衛門

宝暦2年8月7日没
正眼院鉄翁玄心居士
妻

安永8年8月20日没
瑤台院心月寿光大姉

六代 六右衛門

天明7年2月16日没
妙徳院歆堂常喜居士
妻

安永2年3月24日没
真性院物外法如大姉

七代 治郎右衛門

文化14年7月12日没
浄苑院梅林異芳居士
妻

文化3年1月26日没
芳春院梅園妙香大姉

八代 六右衛門

(寛政3年生)
喜永5年8月18日没 行年63才
順恭院徳叟有隣居士
妻

(享和元年生) 箱根 夏目家女
安政5年8月18日没 行年58才
智鑑院松室貞操大姉

九代 治郎右衛門

(天保3年生)
明治7年3月24日没 行年43才
祥徳院泰巖宗雲居士
りせ

(天保5年生) 江間村石井家女
明治16年11月4日没 行年49才
瑞光院泰室妙雲大姉

十代 六右衛門

(嘉永5年生)

重寺村秋山新藏家(秋山六右衛門家の分家)より養子
昭和5年2月3日没 行年79才
威徳院大道義雄居士

十一代 晴一

明治8年生

昭和42年3月3日没 行年93才
仙寿院峻嶽自瓊居士

十二代 進

明治36年生

昭和49年5月23日没 行年72才
鷲頭院正法栄進居士

姪つ

江間 石井家娘

昭和4年3月28日没

常光院香峰妙薫大姉

政

明治9年生 沼津上土町杉本家

女

大正12年10月20日没 行年48才

先貞院真室妙政大姉

かなえ

明治39年生

西浦河内 海瀬家女

十三代 太郎 昭和4年生

泓子

昭和9年生

修善寺 水口家女

凡例

。本略系図は、江月寺(臨濟宗)過去帳、墓碑、および秋山太郎氏の御教示により作成した。
。代数は過去帳に記載されている。

。()内は没年時の年令により逆算した生年を示す。行年は数え年。(他の系図も同)

〔重寺村加藤家略系図〕

三郎左衛門

足保村伊右衛門弟

享保5年9月23日没

活眼見性居士

妻

享保12年2月15日没

化山智城大姉

三郎右衛門

沼津宿宮町高崎四郎衛門女

妻

享保9年2月16日没

栄林寿盛大姉

三郎左衛門

(宝永5年生)

天明5年8月7日没 行年71才

長翁房徳居士

妻

三郎右衛門

天保10年4月24日没

妻

貞嶽智松大姉

三郎兵衛

小海村日吉友衛門女

妻

慶応4年4月18日没

安室智貞大姉

三郎左衛門高房

嘉永7年9月5日没

妻

古巖石草居士

明治3年10月14日没

薰堂妙称大姉

贊一良

明治7年9月19日没

実成院直応芳議居士

せい

重須村関家女

明治12年4月29日没

孝操院順応婉清大姉

三郎左衛門

重須土屋家より養子

大正8年3月7日没

英徹院達観規房居士

うた

(嘉永元年生) 贊一良長女

大正9年3月13日没 行年73才

英松院靈操妙歌大姉

三季

(明治8年生)

田方郡熊坂村竹村家より養子

昭和20年2月17日没 行年71才

三省院徳雲義照居士

せい

三郎左衛門長女

大正7年8月1日没

慈覚智清尾上大姉

孝之

明治30年2月生

昭和35年5月24日没 行年64才

慈孝院貫道之源居士

きさ

明治31年6月5日生

駿東郡泉村服部家女

仁

大正11年7月生

昭和37年7月31日没 行年39才

慈照院仁嶽顯彰居士

美恵子

田方郡土肥町小土肥 勝呂家女

大正14年4月29日生

長男明彦

。本略系図は、加藤家過去帳、医源寺（禅宗）過去帳および加藤きさ氏の御教示により作成した。ただし、加藤家過去帳は抜けている部分があり、医源寺過去帳は天保6年以降のもので、それ以前の分は、三津の浄因寺に預けていたのが、火災で失われたために不明な部分がある。

〔小海村増田家 (屋号オキノシタ) 略系図〕

初代 七郎右衛門

延徳2年10月15日没
尊教院経阿明典居士
妻

永正7年2月22日
知心院明仏良光大姉

二代 泉

永禄8年5月12日没
功德院元阿知道居士
妻

元龜2年2月14日没
実成院善仏妙法大姉

三代

六右衛門
慶長9年8月22日没
無量院福阿栄寿居士
妻

文禄3年1月14日没
浄心院満仏妙照大姉

四代

六右衛門
寛永18年5月6日没
不味院伝阿玄心居士
妻

寛永12年11月1日没
信法院珠仏妙迎大姉

五代

権之助
寛文13年10月20日没
真成院見阿覚心居士
妻

元禄13年12月18日没
信敬院聞式法心大姉

六代

六右衛門
元禄11年9月1日没
禅如院正阿子念居士
妻

寛文9年9月21日没
華嚴院直仏妙心大姉

後妻

元禄8年3月10日没
慈照院寿仏妙心大姉

七代

七郎兵衛
延宝2年8月12日没
香雲院連阿花林居士
妻

正徳3年6月3日没
真如院授仏妙玄大姉

八代

六右衛門
貞享5年2月18日没
清観院功阿道本居士
妻

延宝4年9月13日没
智法院生仏浄運大姉

九代

権九郎
延宝6年11月15日没
西方院光阿自照居士
妻

延宝3年11月13日没
胆仰院来仏慶雲大姉

一〇代 伝三郎 — 一代 権兵衛 — 二代 七兵衛

妻 天和2年2月22日 法海院宝阿乘船居士
元禄11年2月10日没 一唱院宝阿净念居士
妻 宝永6年1月5日没 常念院専仏妙春大姉
享保3年4月11日没 万象院皆阿是心居士

延宝9年10月2日没 知善院鏡仏清心大姉
宝永14年2月25日没 智行院是仏妙証大姉

三代 某 — 四代 治右衛門 — 五代 六郎兵衛

妻 宝永8年3月18日没 本清院立阿誠意居士
正德5年9月17日没 有隣院徳阿浄心居士
玉成院重阿雪真居士
元文3年9月8日没 正法院善仏妙教大姉
享保8年10月13日没 善光院荘仏妙迎大姉
正德6年3月19日没 華蔵院子仏妙香大姉

一六代 権四郎 — 一七代 八右衛門 — 一八代 治右衛門

妻 享保7年2月11日没 安寧院逸阿重心居士
明和6年1月11日没 円融院子阿覚元居士
文化9年8月9日没 心寿院観阿其栄居士
寛延4年9月13日没 善哉院証仏妙頓大姉
宝曆9年10月13日没 歡喜院随仏貞順大姉
寛政5年11月19日没 聞声院音式知法大姉

後妻

明和7年3月6日没 廓心院晋式寿山大姉

一九代

七兵衛

天保13年6月14日没

衆福院覚阿徳本居士

妻タミ

文化3年10月26日没

恵照院東式清光大姉

後妻

文政11年12月9日没

宝雲院乘式利林大姉

二〇代

七兵衛

安政6年8月22日没

勝境院覚阿浄照居士

妻

嘉永6年11月21日没

清浄院東式妙顔大姉

二一代

八郎

沼津市原 渡辺家より養子

大正3年5月3日没

古松院徳翁宗義居士

妻

小海 増田彦五郎家(分家)女

大正3年8月18日没

寿柏院道屋妙義大姉

二三代

七兵衛

幼名米太郎

大正12年9月18日没

智賢院円相了満居士

妻

下長窪 某家女

二三代

喜兵衛

明治30年8月9日生

昭和48年3月4日没

智光院阿喜道居士

文

遠州某所杉下家女

後妻

富士宮 某家女

昭和33年4月21日没

寿光院浄式妙蓮大姉

二四代

誠延

昭和18年8月28日生

幸子

昭和24年10月2日生

口野 古屋家女

。本略系図は、増田家過去帳および増田誠延氏の御教示により作成した。

〔小海村大沼家（屋号下の大家）略系図〕

彦兵衛
 妻 慶長10年4月22日没
 桂林道昌上座

慶安元年6月5日没
 心円曉仏大姉

某
 妻 慶安2年10月5日没
 芦濠玄栖居士

寛永2年7月2日没
 孝庵宗廉大姉

徳兵衛
 妻 天和2年4月5日没
 道察元江居士

貞享4年11月7日没
 惠岳貞智大姉

彦兵衛
 妻 正徳2年6月22日没
 法相永輪居士

享保元年7月15日没
 靈屋妙光大姉

彦兵衛

武兵衛
 妻 安永2年7月21日没
 定岳良恵居士

明和6年10月15日没
 寒山智月大姉

彦兵衛
 妻 明和7年1月16日没
 仁翁良徳居士

安永4年5月22日没
 通峰妙説大姉

武兵衛
 妻 文化7年10月17日没
 物外円心居士

安政5年8月16日没
 儀芳純孝大姉

彦兵衛
 妻 (宝曆6年生)
 弘化4年11月6日没 行年92才
 心源宗弘居士

文化元年6月14日没
 定室妙戒大姉

彦兵衛

弘化3年9月11日没

実翁鉄心居士

妻

安政5年11月25日没

寿岳妙栄大姉

彦兵衛

大正年間没

せい

明治36年11月28日没
慈眼院清室智鏡大姉

徳兵衛

明治30年1月19日没

智月院仁宗玄徳居士

しゅう

(安政元年生)

葦山寺家 片山家女

昭和16年7月23日没 行年88才

清光院桂巖慈香大姉

健作

田方郡田中村三福 土屋家より養子

昭和20年1月15日没

建徳院徹心法悦居士

のぶ子 徳兵衛長女

明治41年8月26日没

信光院貞室妙操大姉

後妻せい子 のぶ子妹

大正5年10月8日没

月照院清泰妙康大姉

俊郎

明治43年5月2日生

昭和20年6月13日没(戦死) 行年36才

大雄院仁山俊彦居士

けい

明治44年9月3日生

中伊豆町冷川 藤原家女

美己

昭和15年11月27日生

秋代

昭和21年10月26日生

沼津市平沼 古郡家女

。本略系図は、大沼家戒名軸、墓碑および大沼けい氏の御教示により作成した。ただし、安永以前については資料的制約からかならずしも正確を期せ得ない。

〔三津村大川家略系図〕

一代 隼人

(永正10年生)

慶長14年12月14日没 行年97才

專称院心誓一法宗安居士

妻

慶長16年2月18日没

華宿院鶯誓妙林大姉

二代

権左衛門

寛永9年9月3日没

願誓淨故居士

妻

寛永6年6月11日没

宝誓玉応感清大姉

三代

伝左衛門

慶安4年1月28日没

義光院宗誓淨春居士

妻

寛文10年6月29日没

宝池院玉誓宗心大姉

四代

佐助

万治3年9月13日没

專一院深誓源心居士

五代

伝左衛門

正徳2年10月19日没

専修院一誓行西居士

六代

寛右衛門

(寛文7年生)

元文3年10月8日没 行年72才

松寿院鐘誓円知大徳居士

妻

享保19年12月18日没

貞寿院光誓清天大姉

七代

武左衛門知道

(元禄4年生)

宝暦4年5月10日没 行年64才

円乘院心誓知道宗現居士

妻

(元禄年16生)

宝暦11年2月13日没 行年59才

即生院遺誓光月智喚大姉

八代

伝左衛門

(享保14年生)

文化11年6月21日没 行年86才

靈真院祥誓永貞禪定門

妻

文化1年9月11日没

安住院諦誓貫綜致化大姉

九代

寛右衛門

(宝暦9年生)

文化2年12月14日没 行年47才

泰立院搜誓玄道義俊居士

一〇代 伝左衛門 後二武左衛門に改名

嘉永1年9月3日没
鶴寿院齋舒調居士

妻

明治5年4月26日没
貞普齋薰実念大姉

二代 伝左衛門

(文政12年生)

明治35年4月12日没 行年94才

正心院成誓道一法居士

エス

(文化8年生) 重須 土屋家女

明治11年10月7日没 行年68才

至誠院実誓妙緑貞松大姉

三代 伝十郎

(天保11年生)

昭和4年5月11日没 行年90才

宝寿院朝誓和順龍湖居士

きよ

(弘化4年生)

西浦河内 海勢家女

昭和11年11月17日没 行年90才
天光院清誓月窓妙浄大姉

三代 文作

明治5年9月16日生

昭和40年1月13日没 行年94才

峻徳院博誓尚明寿翁居士

いく

明治16年2月11日生

三島久保町伊伝 村上家女

昭和46年3月31日没 行年89才

慈恵院郁誓陽春妙媼大姉

四代 一知

明治43年12月19日生

すのえ

明治42年10月11日生

田方郡下大見 小川家女

。本略系図は、家系図覚、大川家過去帳、大川家文書および大川一知氏の御教示により作成した。

〔三津村金指家（屋号金久）略系図〕

某

元和7年2月18日没
喜尾宗歆居士

某

寛文元年9月21日没
怡庵玄心居士

弥左衛門尉吉富

天和3年9月2日没
寒岳宗江居士

妻

寛文5年9月21日没
晚秋妙参大姉

妻

寛文7年12月2日没
寒樹妙巖大姉

久左衛門

元禄6年5月8日没
一峰寒松居士

弥左衛門安吉

元禄4年6月5日没
全智即心居士

某

享保5年7月6日没
月岑義光居士

妻

享保10年10月27日没
玄嶺妙要大姉

妻

享保17年8月6日没
春岩英山大姉

妻

春岩英山大姉

久左衛門

明和2年9月6日没
蘭庭義声信士

儀右衛門

明和5年4月6日没
松嶽道栄居士

※儀右衛門

妻

宝曆12年12月1日没
破顔妙鏡大姉

妻

松嶽道栄居士

妻

久左衛門

嘉永元年6月27日没
維芳院海翁清晏居士

柳

文政13年11月25日没
定授院恵光金戒大姉

儀右衛門英豊

嘉永2年1月20日没
即成院鄺道祖然居士

沢子

田方郡田中村吉田 菅沼家女
明治5年4月没
芳隣院南堂寿山大姉

儀右衛門英繁

幼名滝次郎長じて良輔
明治29年4月18日没
寿相院破峰宗堅居士

徳子

駿東郡中郷村御園 遠藤家女
明治34年5月1日没
実相院古鑑妙性大姉

弥左衛門英光

大正5年5月15日没
緑樹院慈山浄光居士

ひな

重須土屋家(屋号浜) 女
大正9年1月29日没
緑海院観芳久音大姉

勝見

明治26年8月13日生
昭和46年8月21日没 行年79才
金剛院景山尊勝居士

よし子

明治32年11月20日生
駿東郡中郷村長伏 下山家女

博夫

大正11年12月9日生
喜久枝
大正14年11月21日生
沼津市原 庄司家女

。本略系図は、金指家過去帳、墓碑、金指家文書および金指博夫氏の御教示により作成した。ただし、過去帳は菩提寺の浄因寺が元禄と弘化年間に火災に遭っているため、完全なものではない。したがって不明確な点がある。
※過去帳には見えないが、この時期の文書に出てくる。
。単に「妻」とだけ記してあるのは、当主の没年時と同年代の何人かの「大姉」号の女性との夫婦の組合せが確定できないもの。

〔三津村松本家系図〕

某

天明4年12月23日没

勘七

文政9年6月2日没

妻

寛政6年2月27日没

後妻

文政7年8月3日没

喜兵衛

天保14年12月5日没

妻

慶応1年8月11日没

勘七

安政5年2月16日没

妻

安政5年8月7日没

勘七

明治31年5月24日没

妻

明治19年9月没

恵助

(天保12年生) 木負 相磯家より養子

まさ

明治19年10月2日没 行年46才

勘七

(安政3年生) 久料 久保田家より養子

子

昭和3年3月28日没 行年73才

弁策

(明治15年生) 葦山多田 与五沢家より養子

り養子

昭和34年3月2日没 行年78才

則衛

明治41年9月29日生

綾子

明治43年生

葦山 石井家娘

むら

(元治1年生)

昭和6年8月31日没 行年68才

菊枝

(明治20年生)

湯ヶ島 井上家より養女

昭和39年10月18日没 行年78才

。本系図は、浄因寺過去帳、松本家文書、墓碑および松本則衛氏の御教示により作成した。ただし、浄因寺は過去一度火災に遭っており、現存の過去帳は後に復原されたものなので、必ずしも正確でない点がある。殊に古い時代については資料的に判明しえない。

〔長浜村大川家 (屋号北方) 略系図〕

某

元和3年2月17日没

了玄

正保2年6月4日没

妙了

忠左衛門尉吉廉

延宝3年3月28日没

高善院了貞日覚信士

明曆3年3月17日没

清信院了泉信女

治部左衛門

宝永5年8月15日没

玉洞院宗仙日翁信士

延宝7年8月6日没

体具院妙本信女

忠左衛門尉治郎兵衛

享保19年6月1日没

了岳院宗保日灌信士

延享5年4月26日没

真珠院法入日意信女

治部左衛門

宝曆9年11月没

覚翁院了智日玄信士

元文3年9月4日没

深達院妙了日相信女

明和9年7月11日没

正覚院妙成日了信女

治部左衛門

天明3年8月没

大善院宗向日昭信士

天明3年6月19日没

覚成院妙了日正信女

治部左衛門

(天明6年生)

文化3年3月21日没

究竟院縁達日芳信士

行年21才

忠左衛門

文化10年3月16日没

嶺静院徳窓信士

次郎兵衛

(安永元年生)

嘉永3年10月19日没

清光院道祐日体信士

行年79才

後妻

(寛政元年生)

文政5年6月1日没

常住院妙体日清信女

行年34才

(寛政9年生)

嘉永7年2月10日没

莊嚴院妙祐日身信女

行年58才

忠左衛門金孝

(文化4年生)

明治4年6月6日没 行年65才

金泰院明孝日清信士

らく

文政元年8月11日生

西浦足保村真野家女

天保4年12月入籍

明治20年7月2日没 行年70才

清言院妙泰日光信女

治郎兵衛

(天保9年生)

明治16年7月20日没 行年46才

松貞院道和日定信士

いと

天保14年8月20日生

田方郡青羽根村堀井家女

安政4年2月6日入籍

大正10年6月7日没 行年79才

厚道院妙貞日円信女

恒太郎

文久3年12月12日生

昭和2年4月10日没 行年65才

大乘院勸修日恒居士

とめ

慶応1年2月18日生 長浜 菊池家

女 大正14年1月11日没 行年60才

蓮乘院精勤日留大姉

次郎

明治24年8月4日生

昭和40年10月12日没 行年75才

安立院智晃日治居士

まち

明治31年10月10日生

長岡町大田家女

昭和41年5月20日没 行年67才

寿楽院妙光日立大姉

恒次

大正14年5月3日生

嘉代子

昭和5年9月21日生

三島市青木 増島家女

。本略系図は、大川家文書、墓碑、曼陀羅、位牌、戸籍謄本、住本寺(日蓮宗)過去帳および大川恒次氏の御教示により作成した。

〔長浜村小川家(屋号酒屋)略系図〕

※酒屋大先祖

某

妻 安永8年7月没
専阿木念法子

享保14年4月25日没
善仏夏雲信女

喜平次

妻 天明6年10月29日没
乘蓮院到阿宝岸信士

天明元年9月28日没
晴雲院光式妙秋信女

喜右衛門

妻 文化4年9月6日没
洞阿浄兼信士

天明2年7月19日没
月窓珠光信女

喜右衛門

妻 弘化3年1月17日没
顯阿道意信士

文化11年8月29日没
音式妙樂信女

喜平次

妻 文久2年11月15日没
善阿諦念信士

文久3年3月23日没
詮式妙称信女

喜右衛門

妻 明治7年1月8日歿
常阿照念信士

明治15年8月4日没
清心院浄式明性信女

喜助

妻 明治44年11月22日没
覺心院敏阿喜法信士

弘化2年12月7日生
静浦村口野 足立家女
大正2年2月14日没 行年69才
敏喜院光式貞政信女

喜作

妻 明治6年4月10日生
昭和17年6月23日没 行年69才
随喜院音阿諦了信士
修善寺町堀切 野中家女

明治32年8月8日没
華台院秋式法音信女
後妻とり 田方郡宇佐美 竹本家女
昭和10年12月14日没
嶺台院喜式登利信女

貞次

妻 明治34年11月3日生
明治34年生

錦田村山田 杉本賢作女
昭和10年9月2日没 行年35才
快樂院敏式妙喜信女
後妻てる 沼津市三本松原 一杉仙蔵女
明治35年4月9日没

敏郎

大正13年10月4日生

澄江

大正14年7月26日生

修善寺町熊坂 管尾良平女

。本略系図は、安養寺過去帳および小川貞次氏の御教示により作成した。
。過去帳に「酒屋大先祖」と記してある。

〔重須村土屋家(屋号浜)略系図〕

某

法性院妙円日具

某

門志院心鉄日里

某

発心院幡喜日堪居士

某

文禄5年11月9日没
清光院寛玄日幽居士

※六兵衛

元和7年8月7日没
雲秋院方阿哲西居士

伊左衛門

妻
万治3年4月4日没
教林院其阿宗円居士
宝永5年11月9日没
最勝院養式貞安大姉

兵右衛門

妻
寛文13年3月9日没
徹心宗悟居士
延宝5年8月8日没
江山妙湖大姉

幸八良

妻
宝永2年9月17日没
自性院善巖悟心居士
享保17年3月31日没
花香院露散妙珍大姉

義太夫

妻
延享2年2月27日没
玄光院但阿一学居士
元禄10年11月26日没
松久院光式珠清大姉

伊左衛門

妻
延享4年6月10日没
了諦院覚阿円休居士
寛保3年6月22日没
光秋院妙照日等大姉
明和8年5月13日没
蓮華院妙染月在大姉

幸助

妻
安永9年11月4日没
覚照院琢阿五境居士
天明2年5月29日没
観量院覚式貞讚大姉

兵右衛門

前名惣右衛門
妻
文化12年11月24日没
清照院光阿雪山居士
宝曆3年10月19日没
即心院是式妙雪大姉

後妻

兵右衛門

天保14年3月没

唯誠院寿阿松翁居士

妻

天保4年4月15日没

至誠院経式貞観大姉

※兵右衛門

嘉永7年12月15日没

淨国院光阿妙明居士

妻

清蓮院光仏明浄大姉

俊助

(文化8年生)

明治17年8月4日没

玲光院照阿清海居士

妻

(文化14年生)

元治元年5月17日没

珠光院願式智海大姉

雅号清海

一平

天保6年8月16日没

真城院入阿義卿居士

こと

天保8年7月16日没

真妙院桂林貞昌大姉

後妻みね

天保14年3月20日没

大正9年5月18日没

秋光院峰式貞円大姉

伊八郎

養子 嘉永2年8月10日生

昭和3年9月15日没 行年80才

淨還院元和無念居士

そと

安政2年1月2日生

昭和2年9月17日没 行年73才

素還院恵式妙性大姉

需

明治6年3月21日生

昭和11年10月2日没 行年64才

賢学院而阿義道居士

松野

明治13年10月24日生

昭和26年5月18日没 行年72才

本覚院誓式乘願大姉

荘平

順養子 昭和19年4月8日没

ちろ子

明治30年2月2日生

蕪山法成谷井家女

昭和50年10月25日没 行年79才

浩一

昭和2年6月26日生

ひろ子

昭和5年1月3日生

伊東市玖須葉 佐藤家女

。本略系図は、土屋家文書、光明寺(時宗)過去帳、位牌、墓碑および光明寺御住職中居良光氏の御教示により作成した。

。※この代に長浜村住本寺(日蓮宗)より重須村光明寺に檀那寺を変えた。

。※※彼の子供伊左衛門が、当時絶家していた屋号松葉の土屋家を再興している。

〔木負村相磯家(屋号上の大屋)略系図〕

筑後徳兵衛

寛永14年6月16日没

栄長院日住居士

妻

寛永14年6月3日没

昌福院妙皓禅尼

半左衛門

明暦3年4月1日没

随徳院日縁居士

妻

万治5年2月2日没

寛春院法受大姉

徳兵衛

正徳2年10月9日没

信受院円理日深居士

妻

享保14年12月18日没

深信院妙理日円大姉

半左衛門

延享元年5月9日没

顕性院諦応日心居士

妻

明和5年2月2日没

龍泉院妙応日玄大姉

徳兵衛

安永4年7月7日没

高林院還静日峯居士

妻

宝暦3年1月28日没

春庭院妙林日還大姉

半左衛門

天明4年9月27日没

理徹院盛意日生居士

妻

宝暦7年6月15日没

松林院妙栄日寿大姉

半左衛門

文政元年12月22日没

本是院顕寿日長居士

妻

文化9年4月17日没

漸行院妙精日進大姉

徳兵衛

文政3年5月28日没

遠沾院法雲居士

妻

享和3年5月15日没

夏雲院妙峯日顯大姉

半左衛門

西浦立保村渡辺家より養子

明治10年12月6日没

佑道院士敬日憲居士

妻

(享和2年生)

明治4年9月22日没

憲修院妙法日敬大姉

行年70才

半左衛門 梅霜

(文政4年生)

明治30年11月28日没 行年77才

善信院梅処日香居士

さだ

(天保元年生)

嘉永2年10月4日没 行年20才

献珠院妙昌日喜大姉

後妻くめ

(天保3年生)

明治11年2月7日没 行年46才

清蓮院妙華日法大姉

貞助

(弘化2年生)

修善寺 相原家より養子

大正15年8月1日没 行年82才

大宝院敬徳日貞居士

きん

(弘化3年生) 半左衛門長女

明治8年9月6日没 行年30才

宝珠院妙敬日達大姉

後妻きく

(安政5年生) きん妹

昭和12年11月14日没 行年80才

薰徳院妙菊日寿大姉

進

明治33年5月23日生

昭和52年10月1日没 行年78才

漸行院法定日進居士

きみ

明治39年3月29日生

長岡町小坂 大川家女

三郎

昭和7年3月31日生

茂子

昭和11年3月28日生

沼津市馬場 樋郡家女

。本略系図は、長福寺(日蓮宗)過去帳、相磯家文書および相磯三郎、きみ、茂子氏、長福寺御住職奥村隆祥氏の御教示により作成した。

〔久料村久保田家（屋号波止場）略系図〕

※元祖 伝右衛門

天和元年6月4日没
来岸宗無信士

伝右衛門

元禄10年8月3日没
碧嶺宗悟居士
貞享2年7月3日没
碧澗良悟信女

伝兵衛

寛延4年1月27日没
悦叟松禪上座
元禄16年8月10日没
月江妙秋信女

後妻

元文3年12月11日没
諦道智観大姉

伝兵衛

寛政元年6月22日没
禪要道関居士
天明8年1月26日没
徳宝惟光大姉

伝右衛門

文政5年6月24日没
别浴系伝居士
天明3年8月6日没
元東妙離大姉

伝兵衛

天保14年5月25日没
通翁宗心居士
天保8年6月17日没
松室寿貞大姉

後妻

天明8年10月26日没
蓮室妙雲大姉

後妻

弘化3年8月16日没
心源妙了大姉

伝右衛門

元治元年6月29日没

伝道憲戒居士

妻

足保村真野家女

明治20年4月24日没

伝室妙心大姉

伝右衛門

久連村大川家より養子

明治19年9月16日没

伝戒宗授居士

リカ

伝右衛門長女

明治29年12月18日没

普門院伝相智法大姉

伝兵衛

明治43年2月5日没

実相院大觀是法居士

くに

久連 大川家女

昭和21年6月2日没

即心院月潭妙印大姉

大三郎

沼津 山田家より養子

昭和17年12月6日没

本覚院太岳明三居士

つる

伝兵衛長女

昭和47年5月8日没

長照院鶴林妙寿大姉

寿男

明治42年12月16日生

大正6年3月3日生

栃木県宇都宮 黒嶋家女

輝江

敬男

昭和14年8月29日生

昭和18年8月1日生

西出 杉山家女

行江

。本略系図は、久保田家戒名軸、墓碑、福寿院（臨濟宗）過去帳および久保田寿男氏の御教示により作成した。
。※ 福寿院過去帳に「元祖」と記してある。

史料館所藏史料目錄 第二十九集
昭和五十三年九月 印刷発行

東京都品川区豊町一丁目十六番十号
国文学研究資料館内
編集者 国立史料館
発行者

東京都中野区中央四丁目六番十六号
印刷所 株式会社 三協社